

木ノ下中学校講堂解体工事

図 面 リ ス ト						図面番号凡例	
区 分	建 築		電気設備		機械設備		1 1 01
	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	機 工 種 図面番号
共 通	0101	特記仕様書	0201	特記仕様書	0301	特記仕様書	
	0102	案内図・配置図	0202	案内図・配置図・外構撤去図	0302	案内図・配置図	
					0303	機器表・器具表撤去	
講 堂	1101	仕上表・求積図・面積算定表	1201	1 階電灯・幹線・コンセント設備撤去図	1301	暖房・換気設備 タフト撤去図	
	1102	1 階平面図	1202	ギャラリー電灯・幹線・コンセント設備撤去図	1302	給排水衛生設備 配管撤去図	
	1103	ギャラリー平面図	1203	1 階火災報知設備撤去図	1303	排水槽、浄化槽 詳細撤去図	
	1104	屋根伏図					
	1105	立面図					
	1106	矩計図（1）					
	1107	矩計図（2）					
	1108	詳細図（1）					
	1109	詳細図（2）					
	1110	天井伏図					
	1111	建具リスト・建具表					
	1112	基礎伏図・共通事項					
	1113	2 階伏図					
	1114	R 階伏図					
	1115	基礎・地中梁・小梁リスト					
	1116	柱・大梁・スラブ・壁リスト					
機械室	2101	面積算定表・仕上表・平面図・屋根伏図・立面図・建具表	2201	電気設備撤去平面図	2301	機械室 平面・断面詳細撤去図	
	2102	断面詳細図					
	2103	構造詳細図					
	2104	煙突脚部仮設計画図					
	2105	煙突頂部仮設計画図					
渡り廊下	3101	仕上表・面積表・平面図・立面図・矩計図 既存校舎改修図	(2201)	(電気設備撤去平面図)			
	3102	軸組図・小屋伏図・部材リスト・建具表					
倉 庫	4101	仕上表・面積表・平面図・立面図・矩計図 屋根伏図・部分詳細図	(2201)	(電気設備撤去平面図)			
	4102	構造図・建具表					

令和 8 年 4 月

木ノ下中学校講堂解体工事実施設計業務

工事特記仕様書

I  工事概要

1.  工事場所

青森県上北郡おいらせ町上久保21-2, 21-3, 21-4, 22-2, 26-4, 26-5, 26-7

2.  敷地面積

33,582.21 ㎡

3.  工事種目

1) 講堂 鉄筋コンクリート造 平屋建

取りこわし 1棟

延べ面積 816.00 ㎡ (電気、機械設備共)

2) 渡り廊下 鉄骨造 平屋建

取りこわし 1棟

延べ面積 74.37 ㎡ (電気、機械設備共)

3) 機械室1 鉄筋コンクリート造 平屋建

取りこわし 1棟

延べ面積 38.00 ㎡ (電気、機械設備共)

4) 倉庫 鉄骨造 平屋建

取りこわし 1棟

延べ面積 119.00 ㎡ (電気、機械設備共)

5) 駐輪場 鉄骨造 平屋建

取りこわし 2棟

4.  指定部分

有 ☐ 無 ☐ 対象部分 ( )

指定部分工期 年 月 日

5.  工事範囲

すべての躯体(捨てコンクリートまでとし、砂利地業は除く)及び仕上げ材すべてとする。

II  解体工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。  
図面、本特記仕様書及び解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

(2) 本特記仕様書の表記  
1) 項目は、○印の付いたものを適用する。  
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。  
3) 特記事項に記載の《 》内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
4) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
5) 特記事項に記載の[ ]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項目

①章

○適用基準

1) 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。  
建築工事標準詳細図（令和4年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

※石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。  
調査範囲（※施工範囲全て ○図示）  
貸与資料（○アスベスト関係材料調査票 ・既存図面）

・分析による石綿含有建材の調査  
分析対象  
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

分析方法

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3または JIS A 1481-4
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所

サンプル数 1箇所あたり3サンプル  
採取箇所 ・図示

・産業廃棄物広域認定制度

※ 解体工事施工技士

②章

○騒音・粉じん等の対策

騒音・粉じん等の対策  
・防音パネル ・防音シート ○養生シート  
設置範囲及び高さ  
・図示（ / 図による）

○足場等

「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省 平成21年4月24日）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

・山留めの撤去

鋼矢板等の抜き後の処理  
※直ちに砂等で充填する

③章

○杭の解体

杭  
・行う ○行わない  
杭の解体工法  
・引抜き工法 ・粉砕による解体

・工作物（建築物以外）

さく、照明設備等の附属物の解体  
・行う（ / 図による）

・樹木等

樹木の伐採抜根及び移植  
・行う（ / 図による）

○地下埋設物埋設配管

地下埋設物及び埋設配管の解体  
○行う（ / 図による）

・PCB含有シーリング材の撤去方法

※「標準施工要領書（日本シーリング工業業協同組合連合会/日本シーリング材工業会）」による。  
（撤去範囲 ※図示 ・ ）

○解体後の整地

解体後の埋戻し及び盛土  
○行う ・行わない  
整地高さ  
・現状GL ○外構設計計画図よりーGL600  
埋戻し及び盛土の材料  
○山砂の類  
○現場の建設発生土の中の良質土  
・再生コンクリート砂  
埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。  
解体後の地均し  
○基礎部分等の撤去範囲の地均しを行う  
・敷地全体の地均しを行う  
・敷地の地均しを行わない

《3.13.1》

⑤章 特別管理産業廃棄物の処理等

○施工計画調査

《5.1.2》

材料名	厚さ(mm)	調査を行う範囲
※図示		※図示 ○工事対象範囲
		※図示 ・工事対象範囲
		※図示 ・工事対象範囲
		※図示 ・工事対象範囲

⑥章 アスベスト含有建材の除去及び処理

・石綿粉じん濃度測定

《6.1.3》

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計 点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計 点
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計 点
・	測定5		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計 点
・	測定6	処理作業後(シート養生中)	処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点
・	測定7		処理作業室内	・計 点
・	測定8		処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内 調査対象室外部の付近

測定方法  
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計） パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定 ・測定	25	10	120
・測定	47	10	240

・石綿含有吹付け材の除去

除去対象範囲 ・図示  
工法 ・※6.3.2(1)  
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置  
※湿潤化 ・固化  
除去した石綿含有吹付け材等の処分  
・埋立処分（管理型最終処分場）  
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

《6.3.2、3》

・石綿含有保温材等の除去

除去対象範囲 ・図示  
工法 ・破砕して除去 ・原型のまま手ばらし  
除去した石綿含有保温材等の飛散防止  
※湿潤化 ・固化  
除去した石綿含有保温材等の処分  
・埋立処分（管理型最終処分場）  
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

《6.4.1》

○石綿含有成形板の除去

除去対象範囲 ○図示  
除去した石綿含有成形板の処分  
○石綿含有せっこうボード  
※埋立処分（管理型最終処分場）  
○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板  
○埋立処分（安定型最終処分場）  
○中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  
作業場所周辺養生  
・行う ・行わない

《6.5.1》

・石綿含有仕上塗材の除去

除去対象範囲 ・図示  
工法 ・集じん装置付き超高压水洗工法（ 100Mpa 以上）  
・湿式集じん装置付きディスクグラインダー工法  
・乾式集じん装置付きディスクグラインダー工法  
・剥離剤（薬品）工法  
・超音波クレン工法  
  
除去した石綿含有仕上塗材の処分  
・埋立部分（安定型最終処分場）  
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

《6.6.1》

○石綿含有の設備資機材の除去

アスベスト含有の設備資機材の処理については、取りこわし特記仕様書（電気設備の部）及び（機械設備の部）による。

《 》

その他

○建設副産物の処理

取りこわしにより発生する建設副産物は、以下の施設での受入れとして積算している。  
○ 特定建設資材廃棄物  

名 称	施設名称	施設所在地	備 考
コンクリート塊	(有)ト-ア 六戸セター	上北郡六戸町大字大落瀬字下久保235-2	
アスファルト、コンクリート塊	日本道路振興部中央737	上北郡六戸町大字大落瀬字坪毛155	
建設発生木材	(有)ト-ア 六戸セター	上北郡六戸町大字大落瀬字下久保235-2	

  
○ 最終処分する建設廃棄物  

名 称	施設名称	施設所在地	備 考
非飛散性77ハ 1ト	青森県産業廃棄物処理事業協同組合最終処分場	青森市大字鶴ヶ坂字田川177-218	

  
・ 処理に注意を要する建設廃棄物  

名 称	施設名称	施設所在地	備 考
CCA処理木材			
ひ素・カドミウム含有石膏ボード			
石膏ボードの処理			

  
・ 特別管理産業廃棄物  

名 称	施設名称	施設所在地	備 考
廃油			
廃酸			
廃アルカリ			
ダイオキシン含有廃棄物			

  
・ アスベスト含有建材  

名 称	施設名称	施設所在地	備 考

  
・ 特殊な建築副産物  

名 称	施設名称	施設所在地	備 考

年 月 日

R8. 4.

担 当

工 事 名 称

木ノ下中学校講堂解体工事

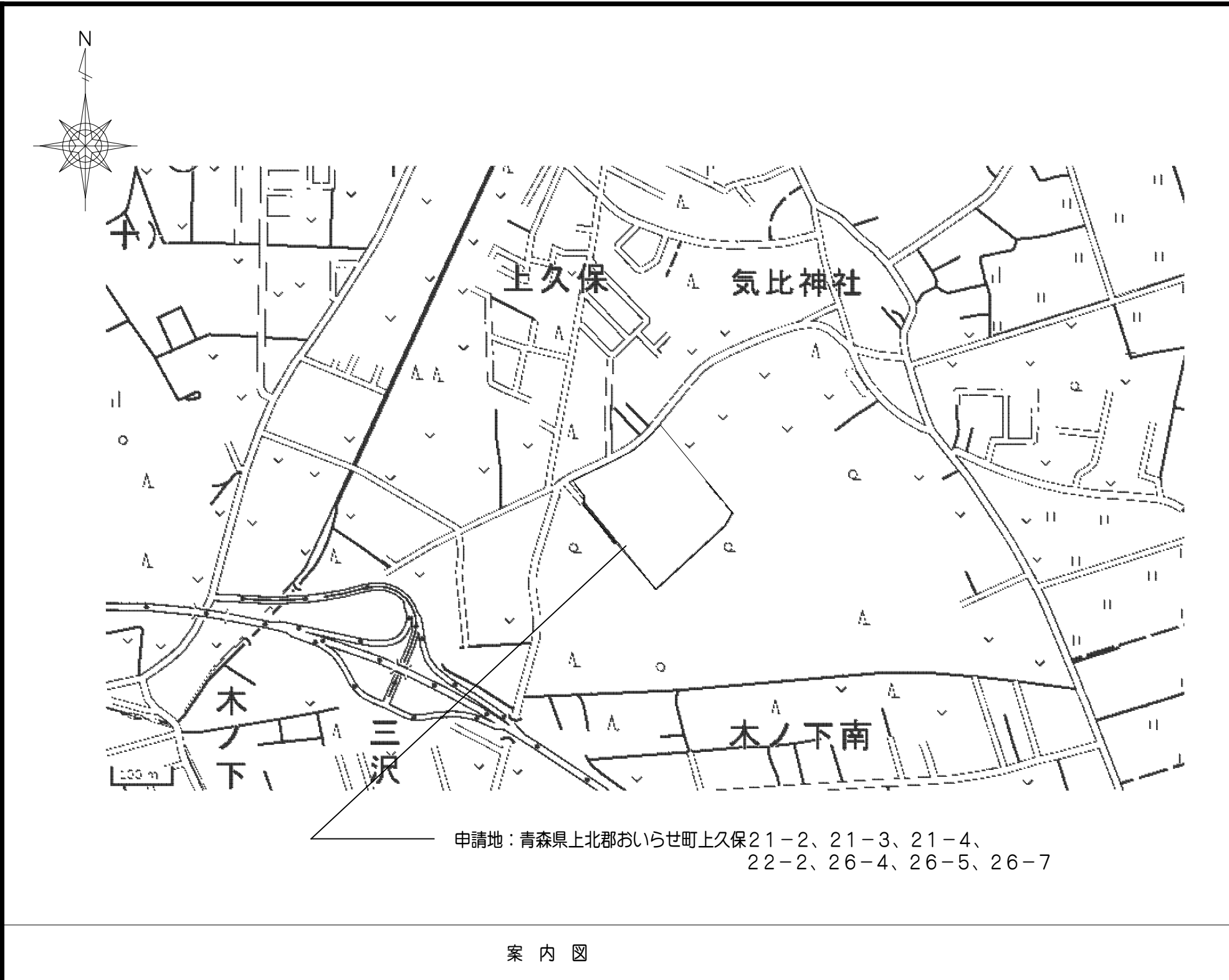
図 面 名

特記仕様書

No.

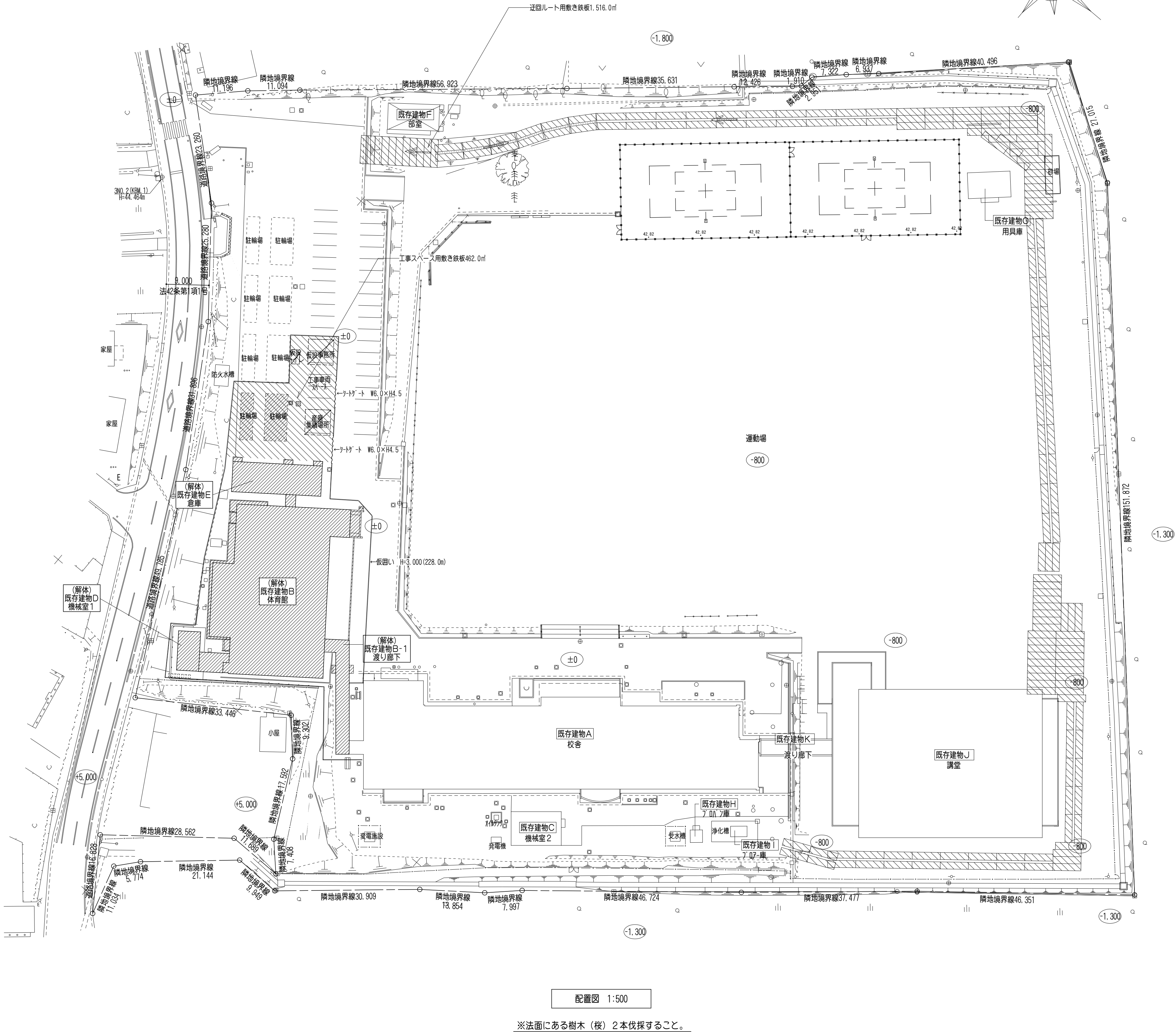
0101

建



案内図

建物概要									
機No.	建物名称		構造	耐火構造等種別	解体建物		既存建物		最高軒高 (m)
					建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	
1	A	校舎棟	RC3	耐火			1,591.42	4,022.94	12.200
2	B	体育館	RC1	その他	816.00	816.00			9.400
	B-1	渡り廊下	S1	その他	74.37	74.37			3.630
3	C	機械室2	RC1	その他	73.50	73.50	73.50	73.50	7.680
4	D	機械室1	RC1	その他	38.00	38.00			4.100
5	E	倉庫	S1	その他	119.00	119.00			3.700
6	F	部室	S1	その他			58.00	58.00	3.700
7	G	用具庫	S1	その他			49.68	49.68	3.645
—	H	プロパン庫	CB1	その他			6.25	6.25	2.600
—	I	ブローアーク	RC1	その他			7.04	7.04	2.350
8	J	体育館	RC2	準耐火 (ロ-2)			1,469.38	1,528.05	13.900
9	K	渡り廊下	S1	耐火			44.55	44.55	2.350
計					1,047.37	1,047.37	3,299.82	5,790.01	
最終確認・検査済 (用具庫) : 確認済証: 令和 5年 9月15日 第R05確認建築上北0029号 検査済証: 令和 6年 2月 6日 第R05確認建築上北0042号									
最終確認 (講堂・渡り廊下) : 確認済証: 令和 6年 6月12日 第R06確認建築上北0008号									

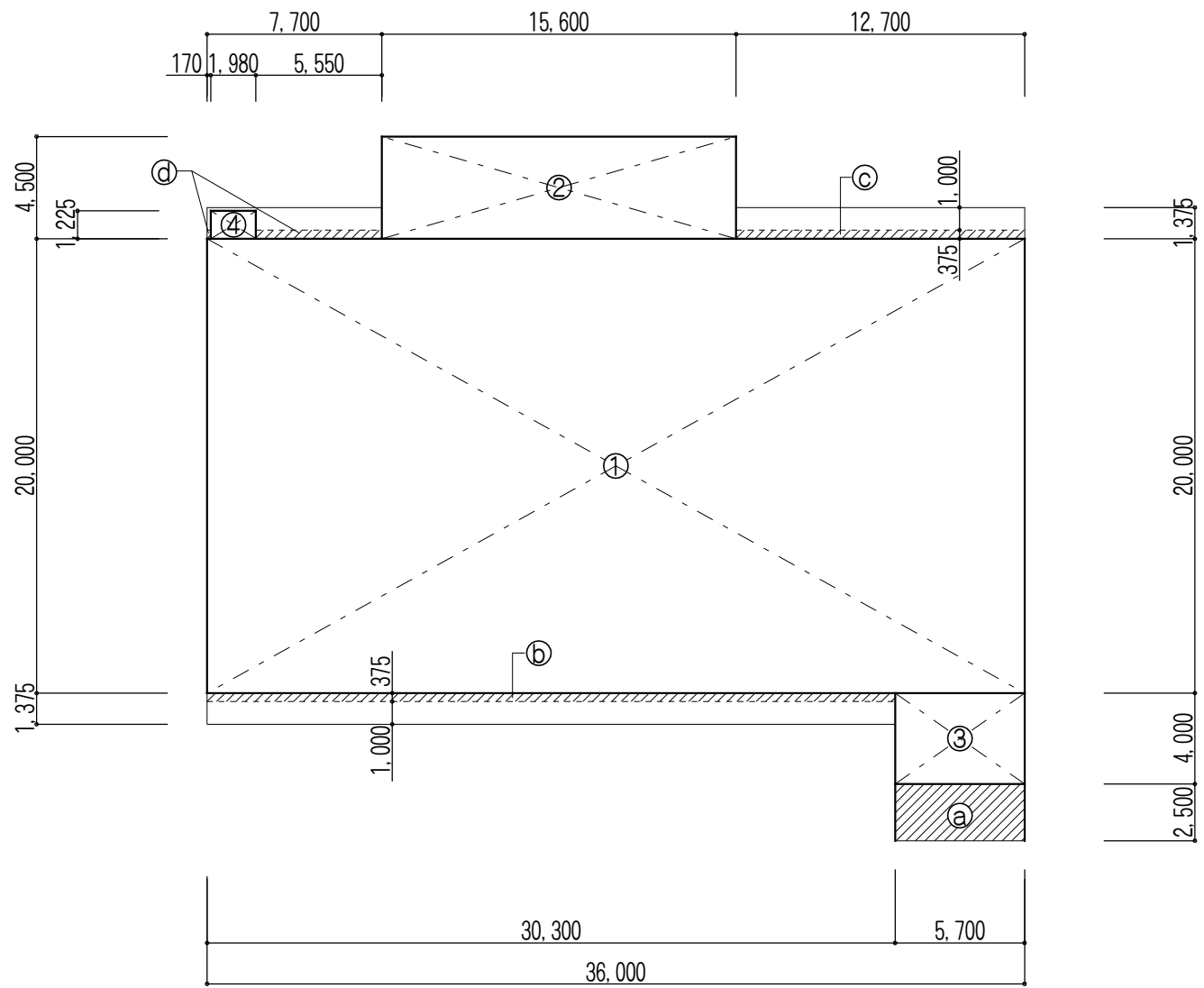


配置図 1:500

※法面にある樹木 (桜) 2本伐採すること。

外部仕上表					
本 体					
屋根	講堂：ｶﾞｰﾃﾞﾝ板 t=0.4 A号瓦葺葺、22kgｱｼﾞﾙﾄｰﾌﾟﾝｸﾞ、木毛ﾎﾞｰﾄﾞ t=15、押出発泡ｽﾎｰﾙ t=50GK、均しﾃｲﾙ t=15、ｺﾝｸﾘｰﾄ下地 t=135 軒先：ｶﾞｰﾃﾞﾝ板 t=0.4 平葺、22kgｱｼﾞﾙﾄｰﾌﾟﾝｸﾞ、耐水合板下地 t=12  下屋：押えｺﾝｸﾘｰﾄ t=60、絶縁ﾍﾞｰﾄﾞ、押出発泡ｽﾎｰﾙ t=30GK、ｱｼﾞﾙ防水層A-2工法、均しﾃｲﾙ t=15、ｺﾝｸﾘｰﾄ打設 t=135 伸縮目地 t=30、t=25、ｱｼﾞﾙﾄｰﾌﾟ4種充填、ﾙｰﾌﾄﾚｯﾄﾞ 100φ 鋼鉄製堅型 1ヶ所 笠木：ｽﾀﾝﾄﾞ加工 t=1.0	その他	大走り：砂利敷き t=60 柱梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ｱｸﾘﾙﾍﾞｰﾄﾞ吹付 建具：気密ﾍﾞｰﾄﾞ、ｶﾞﾗｽﾞ ﾎﾟｰﾄﾞ	石棉含有材料	アスファルト防水 石棉セメント板 t=5 石棉セメント板 t=4 有孔石棉セメント板 t=4 ビニル床タイル ビニル床シート
軒裏	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ｱｸﾘﾙﾍﾞｰﾄﾞ吹付				
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ｱｸﾘﾙﾍﾞｰﾄﾞ吹付 打継部ｺｰﾅｰ 充填				
基礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し H=500				
ｶﾞｰﾃﾞﾝ	床：ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ貼 壁：ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ貼 天井：石棉ﾎﾞｰﾄﾞ t=5 目透貼り VP ﾎﾞｰﾄﾞﾍﾞｰﾄﾞ：ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ貼				
外部出入口	床：磁器質ﾀｲﾙ貼 100角 段鼻：磁器質ﾌﾞﾗｯｸﾞﾀｲﾙ貼				

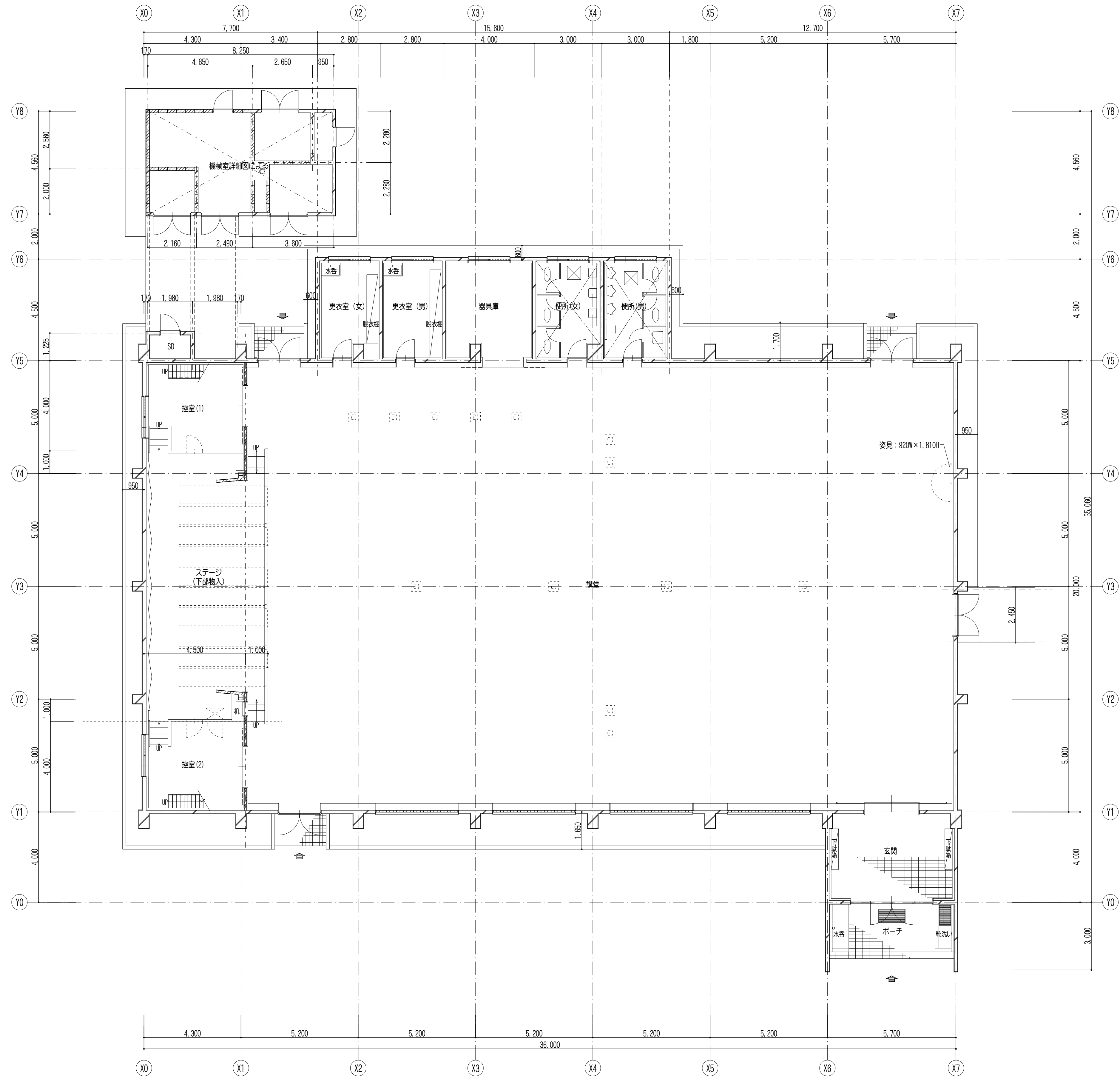
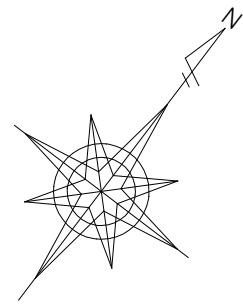
外部仕上表						
	床	巾木	壁	天井	天井高さ	その他
玄関	ﾚﾝｶﾞﾀｲﾙ張 一部 長尺塩ビﾍﾞｰﾄﾞ張 t=2.0	ﾍﾟﾗﾝﾌﾞ ﾎﾟﾝｸﾞ t=25 H=200 一部 木製 SOP H=100	ﾌｵﾝ合板 t=5.5 (目透し) SOP	吸音用石膏ｶﾞｰﾄﾞ t=9 (目透し) EP ｶﾞｰﾄﾞｰ：石膏ｶﾞｰﾄﾞ t=9 (目透し) EP	2.400～2.500	下足箱、上り框：ﾍﾟﾗﾝﾌﾞ ﾎﾟﾝｸﾞ 100×100
講堂	積層ﾌｵｰﾐﾝｸﾞｶﾞｰﾄﾞ張 t=15 ポリウレタン樹脂塗 下地型枠用合板張 t=12	木製 SOP H=100	ｽﾍﾞｰﾞ側：ﾌｵﾝ合板 t=5.5 (目透し) SOP 腰壁：ﾌｵﾝ合板 t=12 (目透し) SOP H=1.900 背面折壁・側面：穿孔合板 t=5.5 (目透し) SOP	穿孔合板 t=5.5 (目透し) SOP (ｸﾞﾗｽｶｰﾄﾞt=25 16K充填) 及び ｴﾍﾞｰ合板 t=5.5 (目透し) SOP 下り天井下端：吸音用軟質繊維板張 t=9 側面：穿孔合板 t=5.5 (目透し) SOP 梁型下端：穿孔合板 t=5.5 (目透し) SOP (ｸﾞﾗｽｶｰﾄﾞt=50 10K充填) 側面：穿孔合板 t=5.5 (目透し) SOP		各競技ｺｰﾄﾞｲﾝ、ﾊﾞｽｹｯﾄﾎｰﾙ、ｸﾞｯﾎｰﾙ、吊橋、各競技支柱口、姿見鏡、防球ﾍﾞｰﾄﾞ、暗幕 (ｶﾞﾗｽ、ｶｰﾅｰﾙ共) ﾘｰﾌｵｰﾌﾞ、中央ｸﾞﾗｽﾞ 外用下り天井、壁名札
ステージ	同上	同上	ﾌｵﾝ合板 t=5.5 (目透し) SOP	吸音用石膏ｶﾞｰﾄﾞ t=9 (目透し) EP ｶﾞｰﾄﾞｰ：石膏ｶﾞｰﾄﾞ t=9 (目透し) EP	4.500～5.500	
控室(1)・(2)	同上	同上	同上	同上	3.000	階段、ｸﾞﾗｽﾞ、暗幕 (ｶﾞﾗｽ、ｶｰﾅｰﾙ共)、ｽﾍﾞｰﾞ下棚
器具庫	同上	同上	同上	石膏ｶﾞｰﾄﾞ t=9 (目透し) EP	2.400	脱衣棚、水呑
更衣室(男)・(女)	長尺塩ビﾍﾞｰﾄﾞ貼 t=2.0 下地型枠用合板 t=12捨貼	同上	同上	石棉ﾎﾞｰﾄﾞ t=4 (目透し) VP 一部 有孔石棉ﾎﾞｰﾄﾞ t=4 VP	2.400	ｶﾞﾗｽ合板ﾌﾗｯｸﾞﾊﾟ 裨ｽｸﾘｰﾝ、香煙：人造研出、床下点検口、床下配管ﾎﾞｰﾄﾞ
便所(男)・(女)	モザイクタイル張		磁器質ﾀｲﾙ張 75角	同上	2.435	手摺 SOP H=1.100、暗幕 (ｶﾞﾗｽ、ｶｰﾅｰﾙ共)
ギャラリー	塩ビﾀｲﾙ張 t=2.0	木製 SOP H=100	穿孔合板 t=5.5 (目透し) SOP 一部 ｴﾍﾞｰ合板 t=5.5 (目透し) SOP	ｷﾞﾗｽｶｰﾄﾞ張出部天井：ﾌｵﾝ合板 t=5.5 (目透し) SOP		



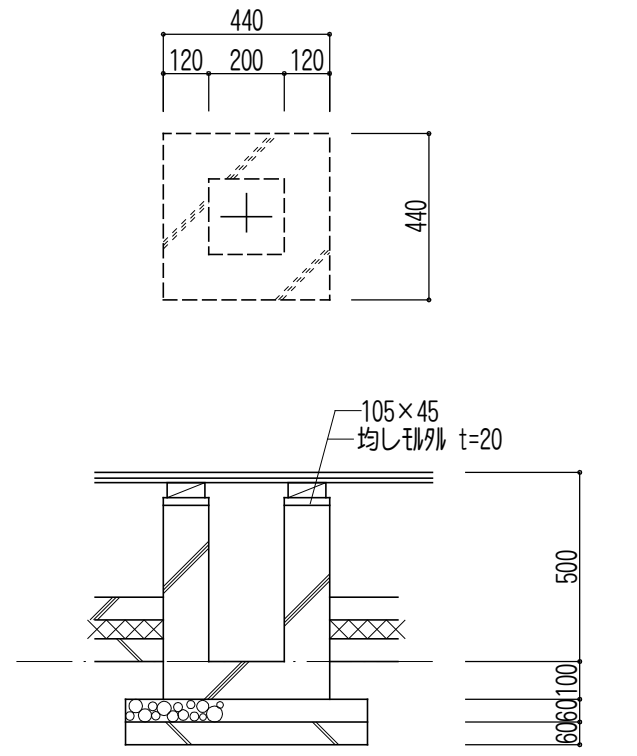
求積図 1:300

面積算定表		
No	計 算 式	計
①	36.00 × 20.00	720.00
②	15.60 × 4.50	70.20
③	5.70 × 4.00	22.80
④	2.00 × 1.30	2.60
a	5.70 × 2.50	14.25
b	30.30 × 0.375	11.3625
c	12.70 × 0.375	4.7625
d	5.72 × 0.375	2.145
延べ面積 ① ～ ④		815.60 m <sup>2</sup>
建築面積 ① ～ ④ + a ～ d		848.12 m <sup>2</sup>

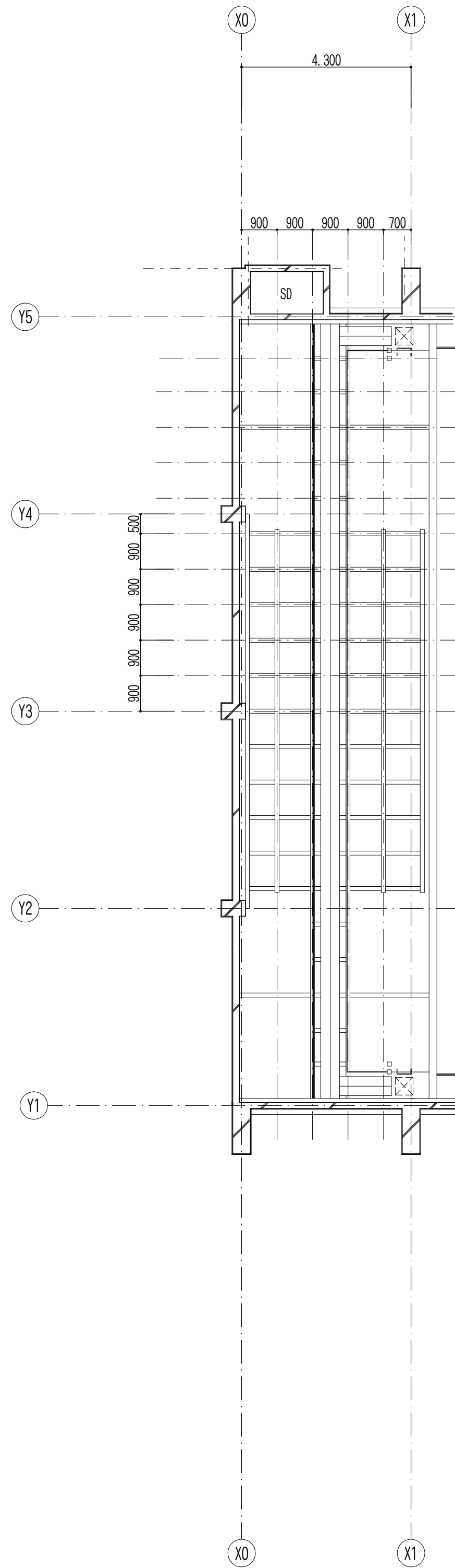




1階平面図 1:100


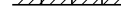



凡 例	
	鉄筋コンクリート壁
	コンクリートブロック壁
	木造
	床下配管等 外部分を示す
	床下点検口 600角
	体育機器基礎 12ヶ所

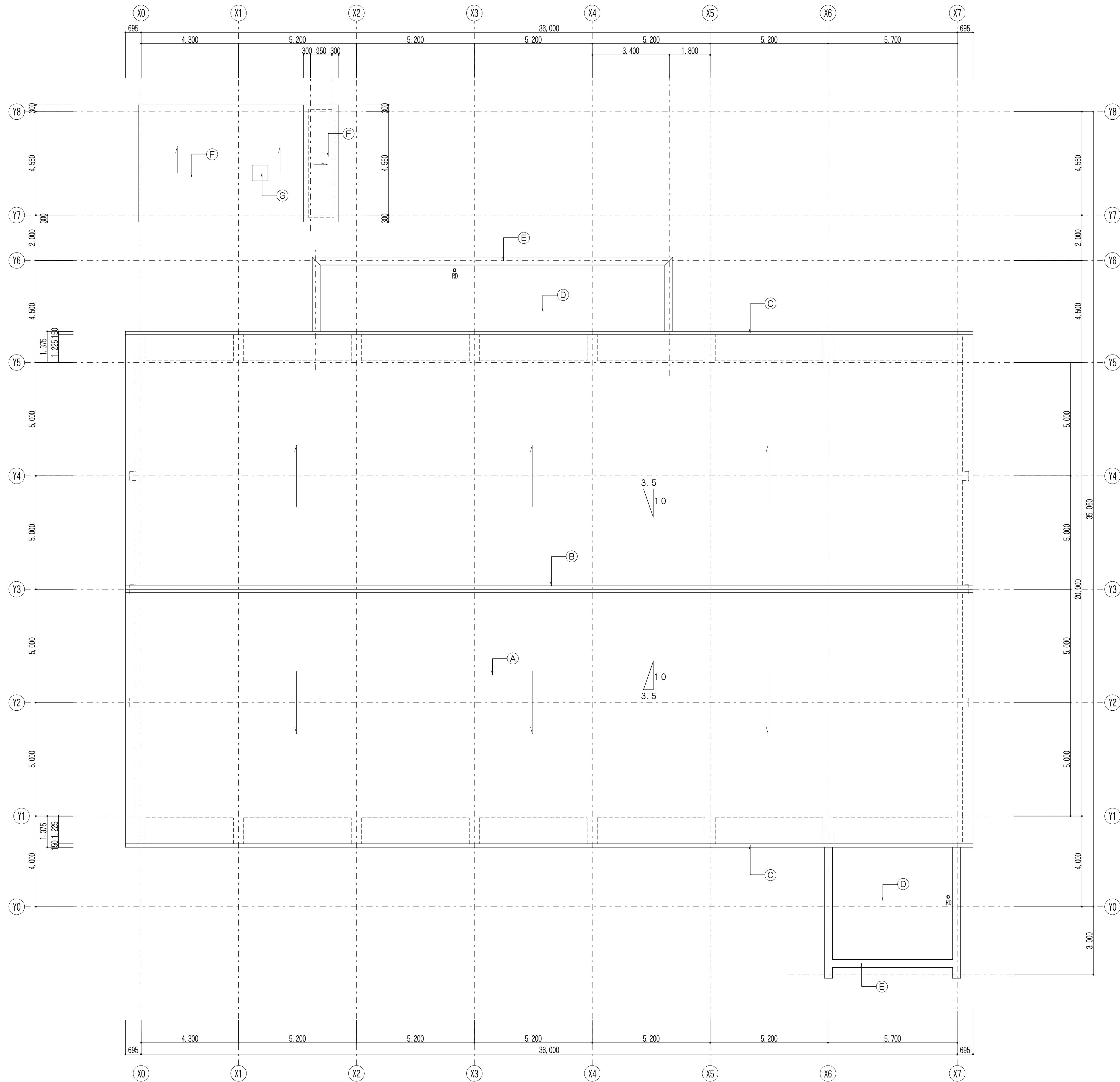
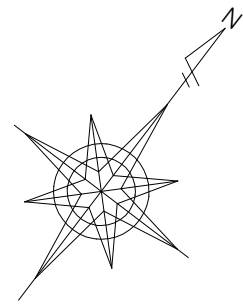


Architectural floor plan of the 1st floor. The plan is defined by a grid system with columns X0 through X7 and rows Y0 through Y8. Key features and dimensions include:

- Top Section (Y7-Y8):** Contains a mechanical room (機械室) and a staircase (SD) with dimensions 4,300, 7,700, 3,400, 1,800, 5,200, 5,200, 5,200, 12,700, and 5,700.
- Central Hall:** A large open space with a central area labeled '吹抜' (atrium) and a 'ギャラリー' (gallery) at the bottom. Dimensions for the hall are 5,000, 5,000, 5,000, 20,000, 5,000, 5,000, and 36,000.
- Bottom Section (Y0-Y1):** Features a staircase (SD) and a 'ギャラリー' (gallery) with dimensions 4,300, 5,200, 5,200, 5,200, 5,200, 5,200, and 5,700.
- Structural Elements:** Columns are marked at grid intersections. Beams and walls are shown with solid lines. Dashed lines indicate structural boundaries and openings.

凡 例	
	鉄筋コンクリート壁
	コンクリートブロック壁
	木造

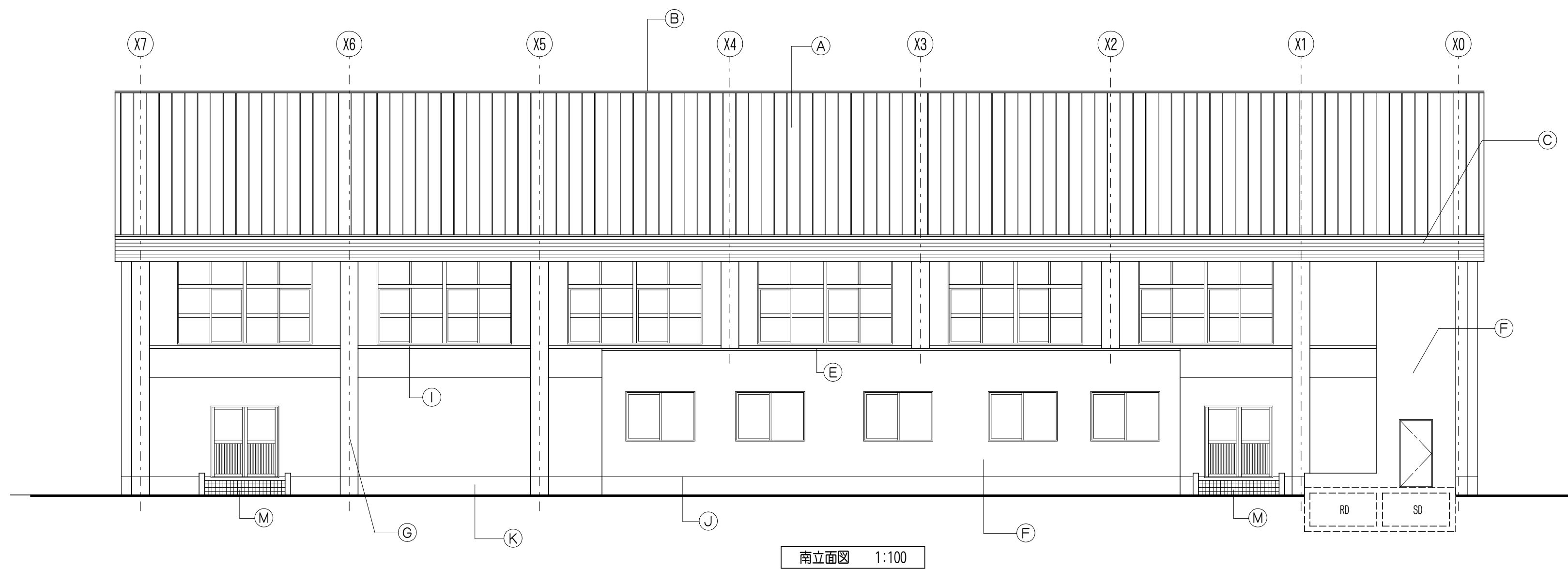
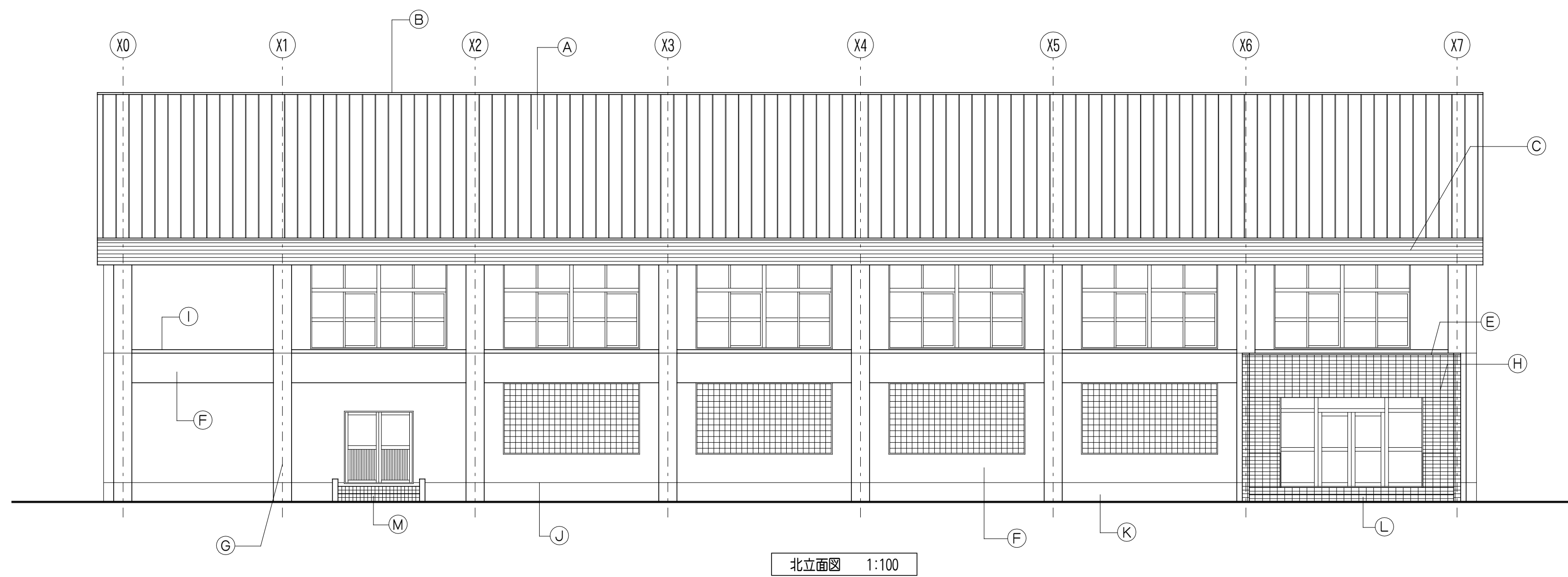
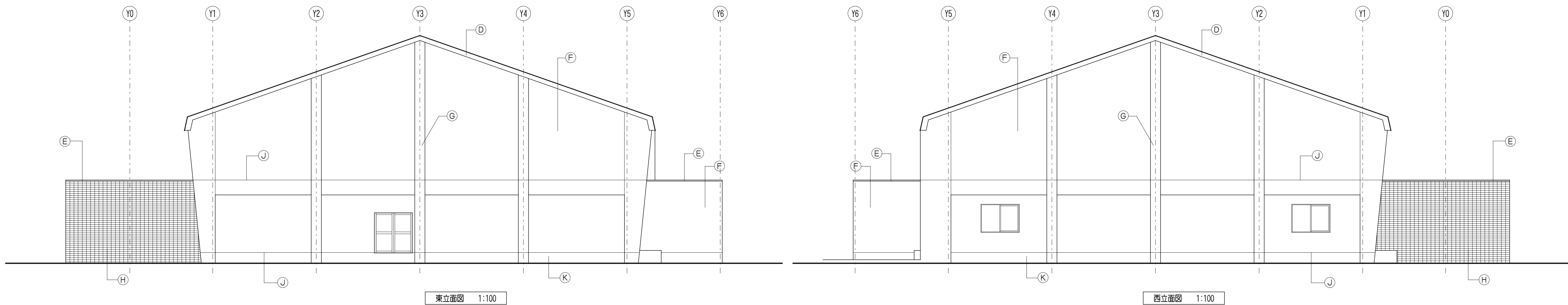
No. 1103 / 建



屋根伏図 1:100

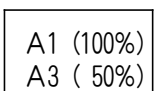
凡 例	
(A)	長尺材-鉄板 t=0.4 瓦棟葺、アスファルト-コンクリート 940、木毛砂利 t=15 押出発泡スチロール t=50、均し砂利 t=15
(B)	構包み：材-鉄板 t=0.4
(C)	軒先：材-鉄板 t=0.4 平葺、アスファルト-コンクリート 940、耐水合板 t=12
(D)	押出コンクリート t=60、総縁サト、押出発泡スチロール t=30、 アスファルト防水層A-2工法、均し砂利 t=15
(E)	笠木：スチール t=1.0加工
(F)	サト防水 t=1.5 (9M-仕上)、均し砂利 t=15
(G)	障壁：スチール (SUS304) t=2.5 800角

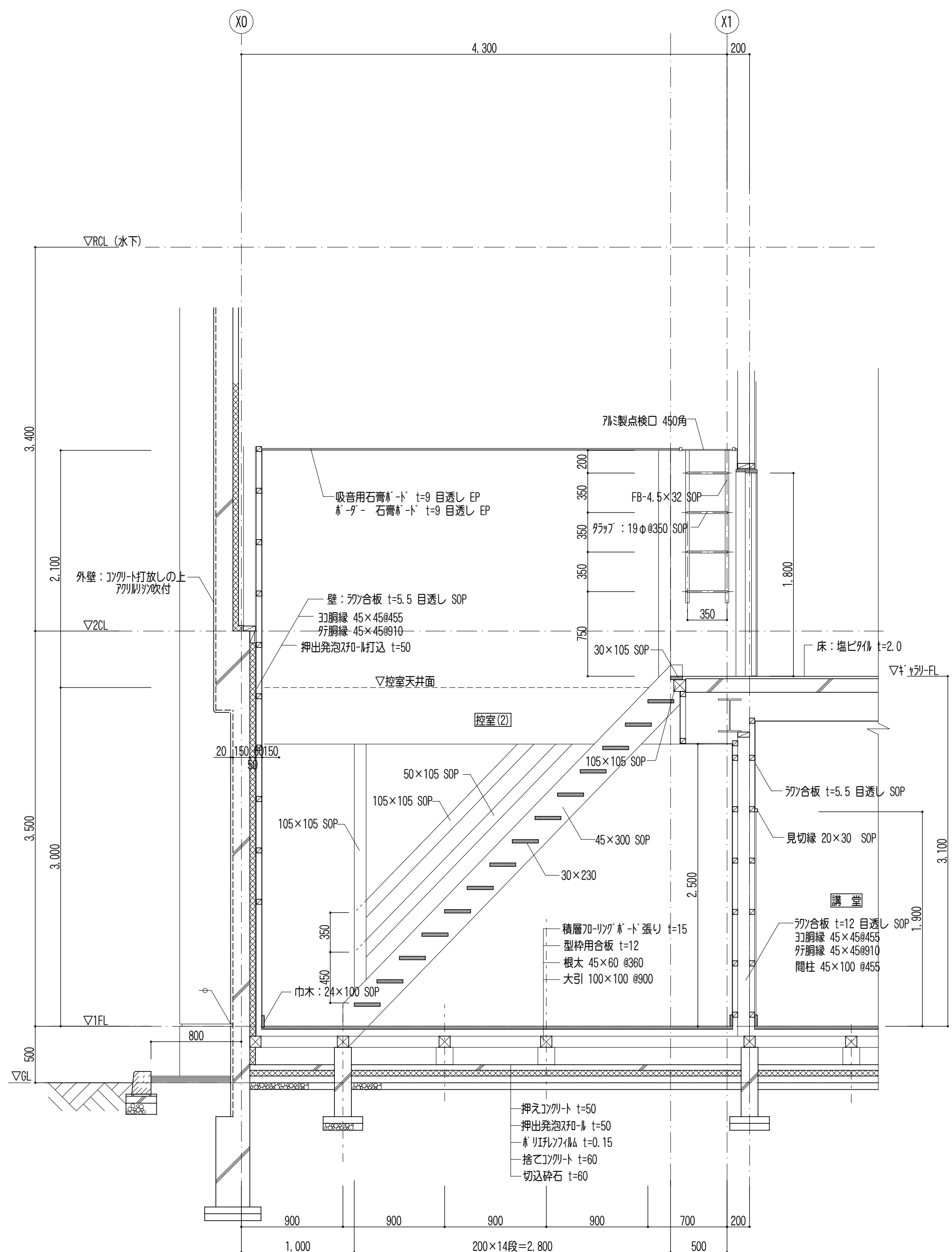
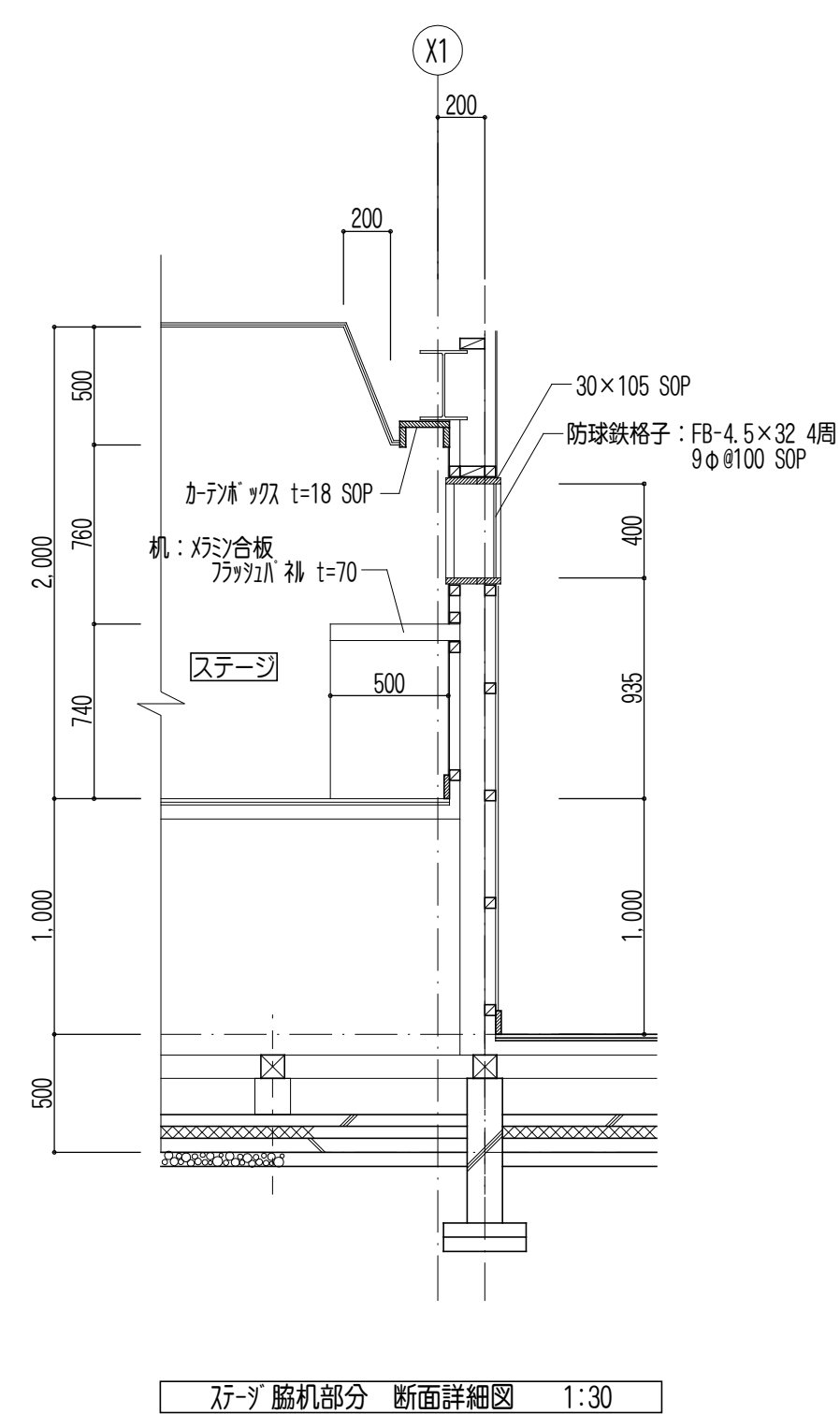
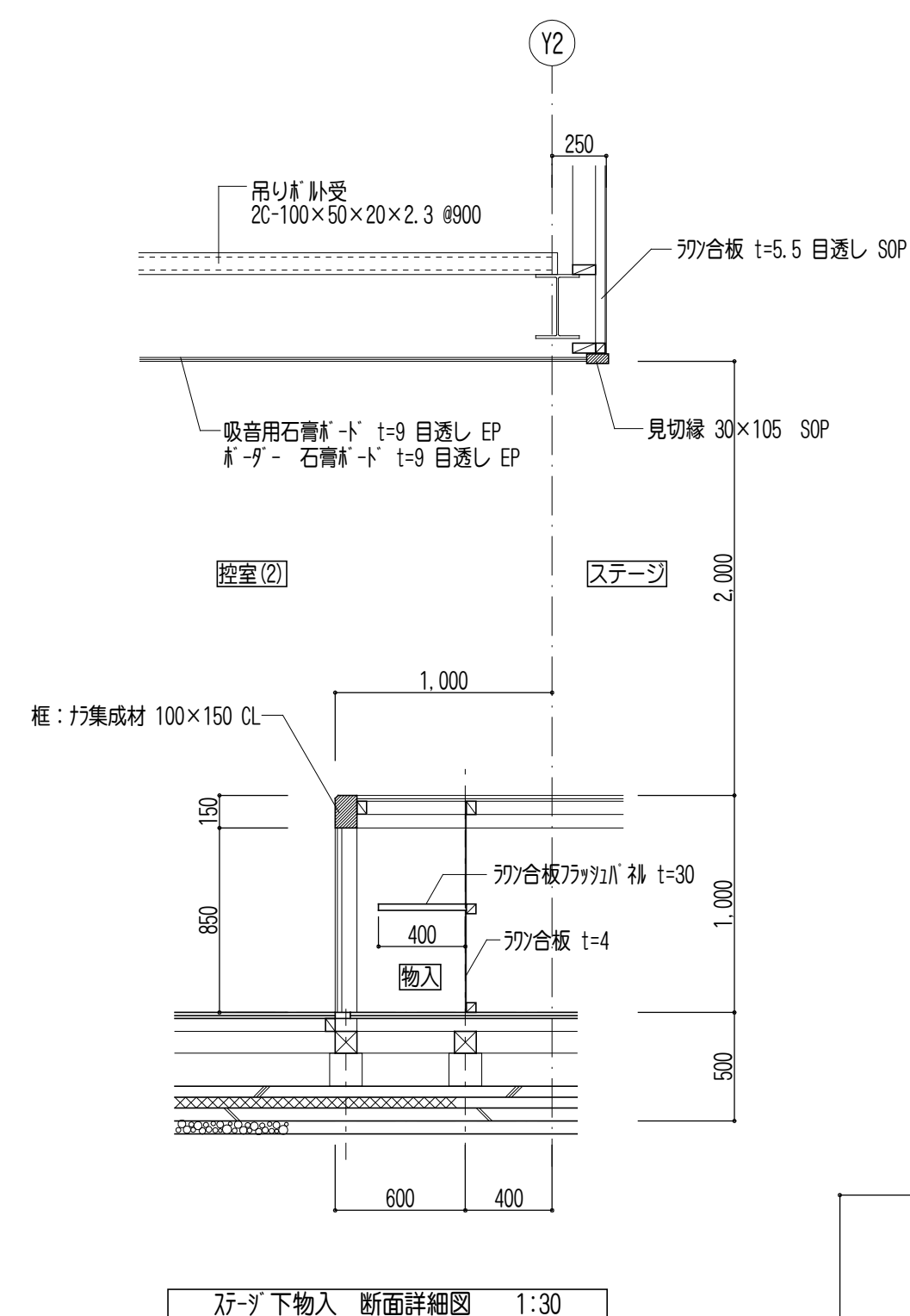
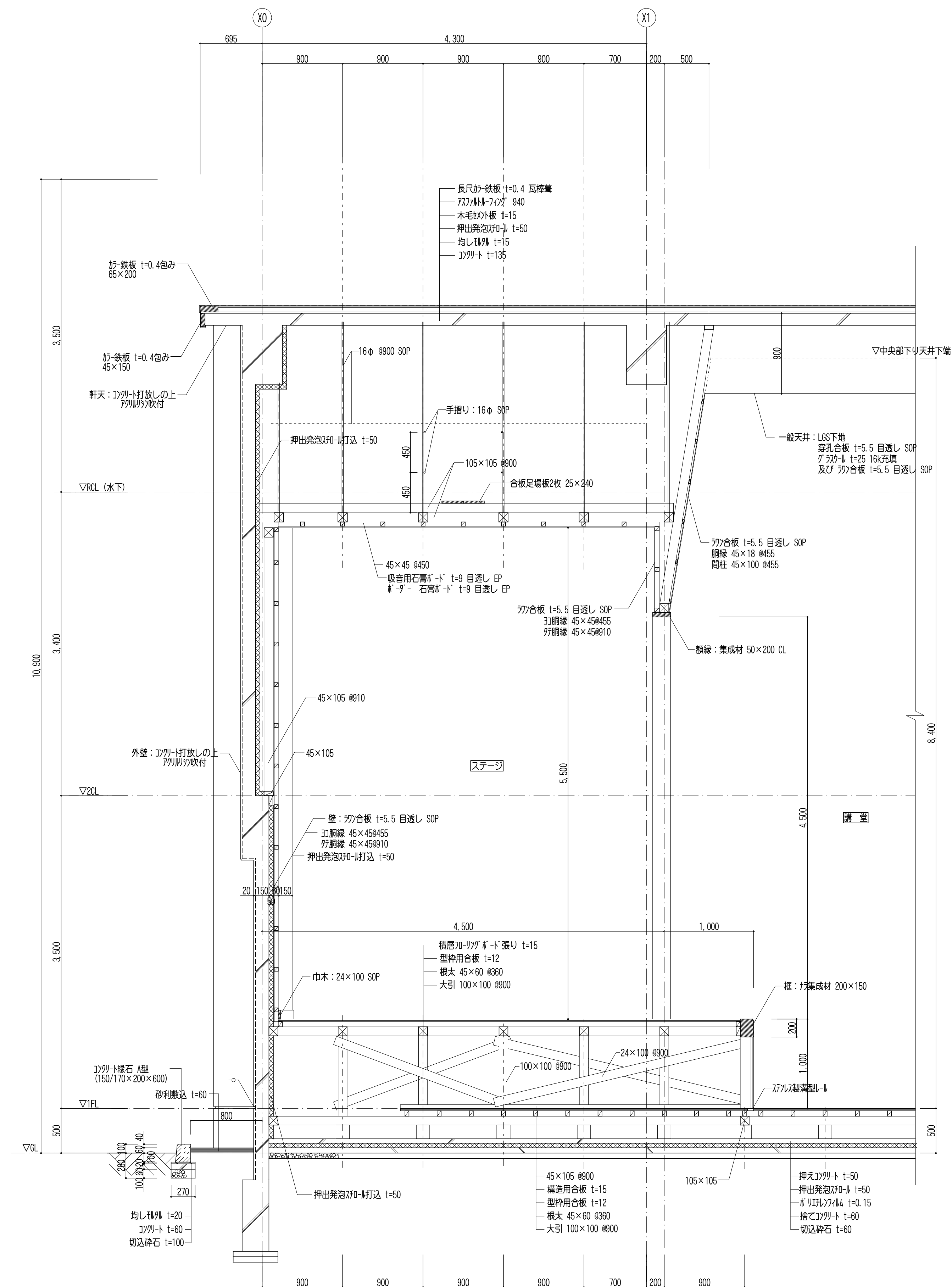
総尺  
A1 (100%)  
A3 (50%)

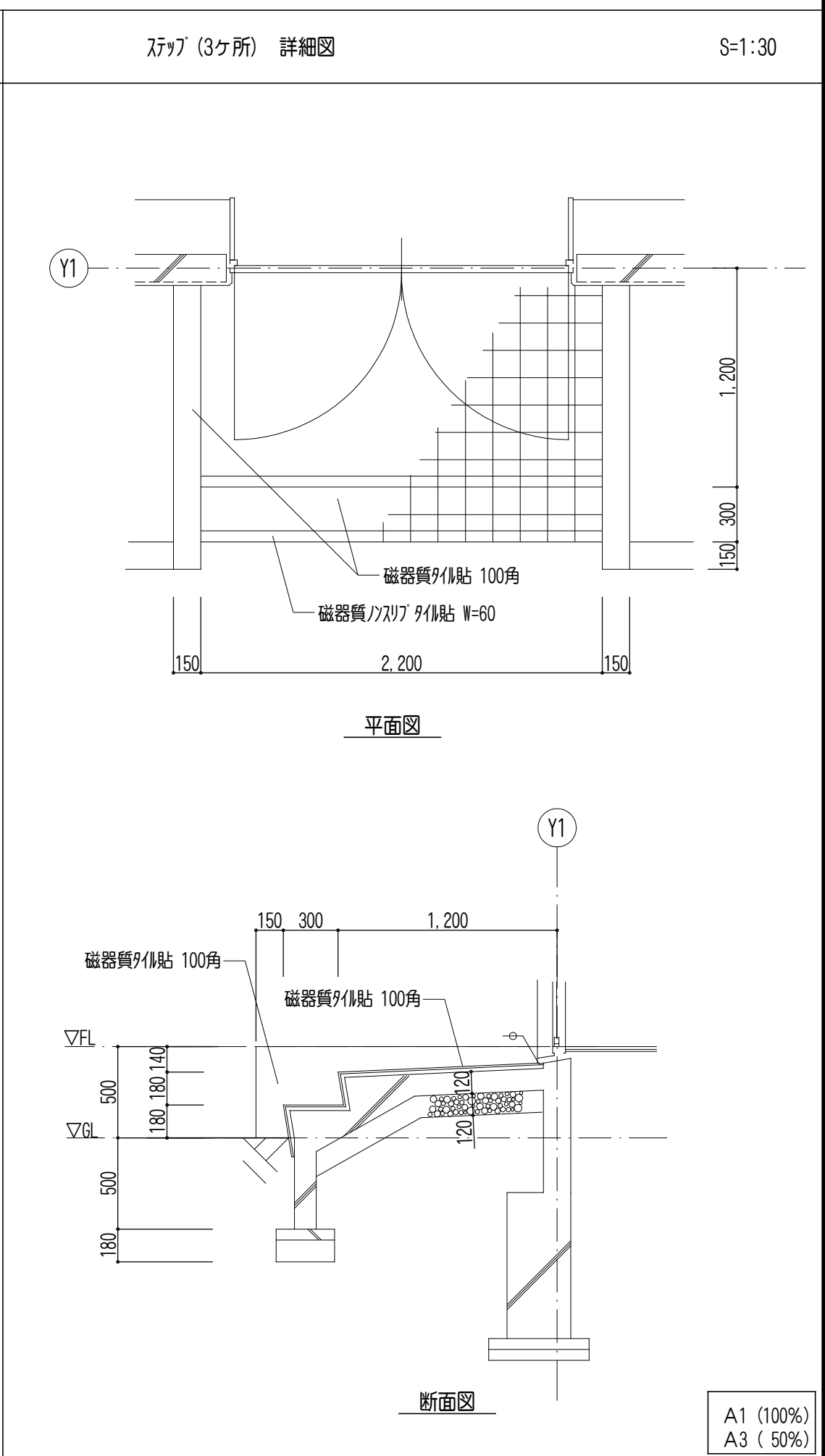
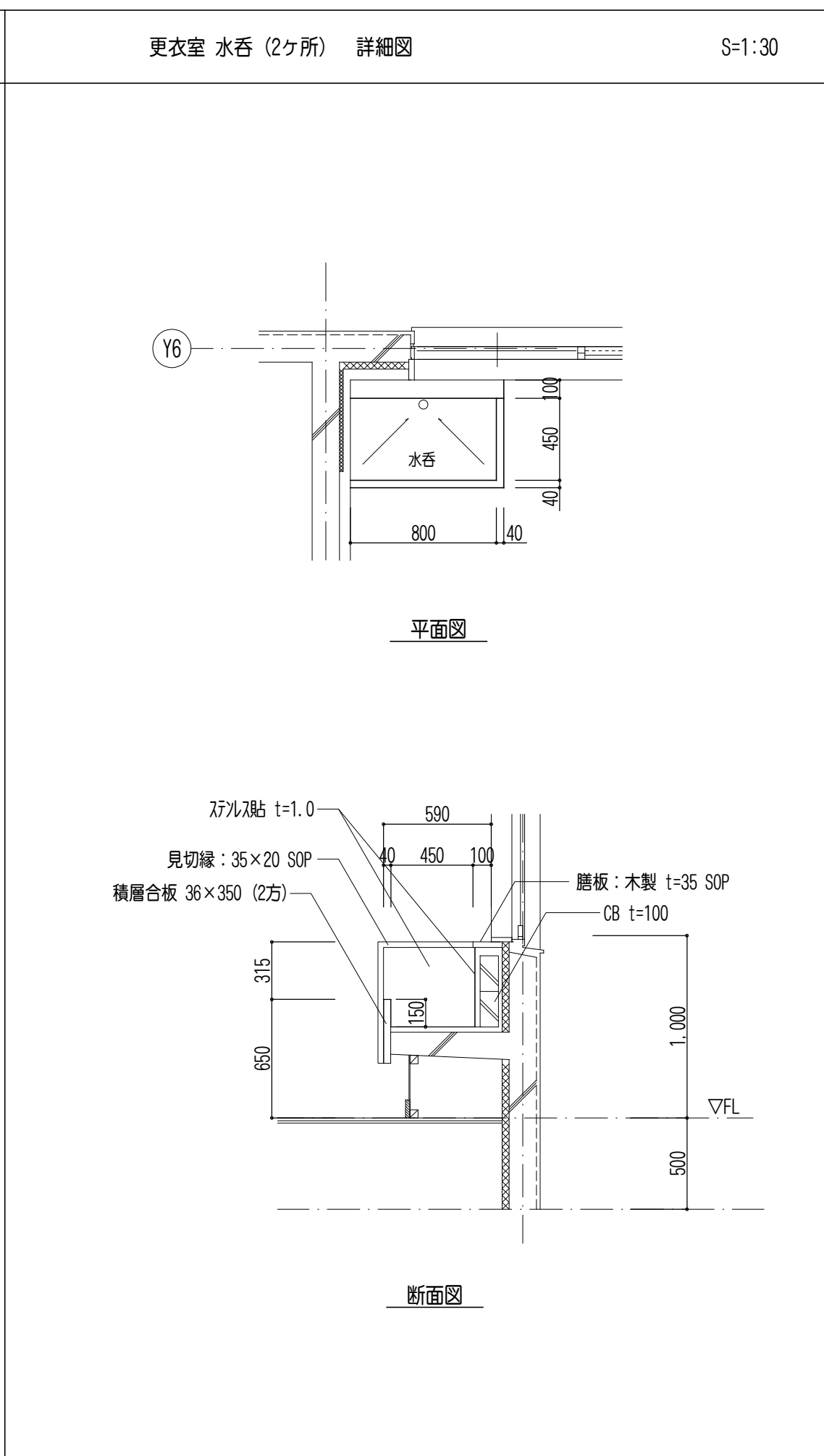
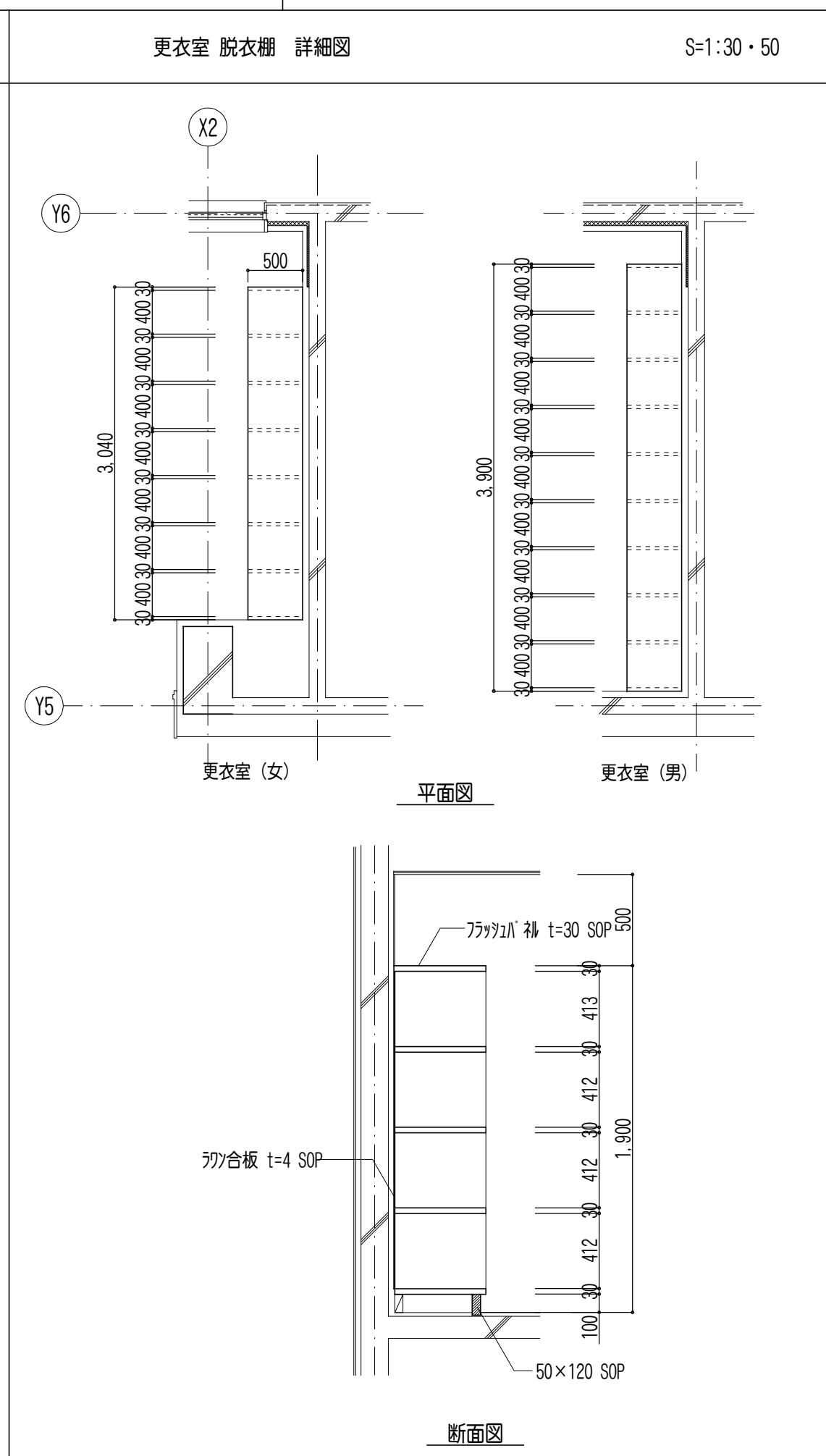
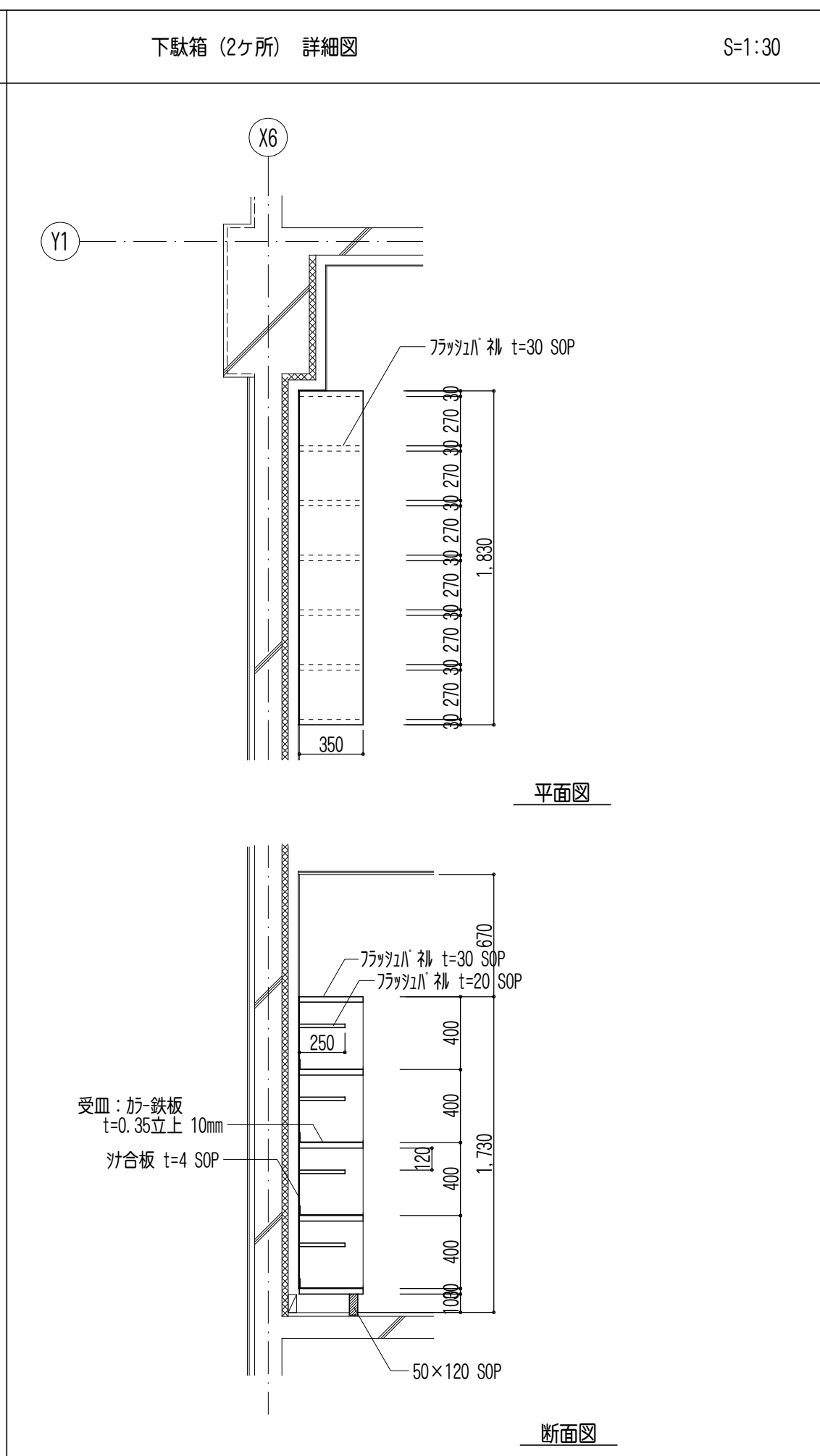
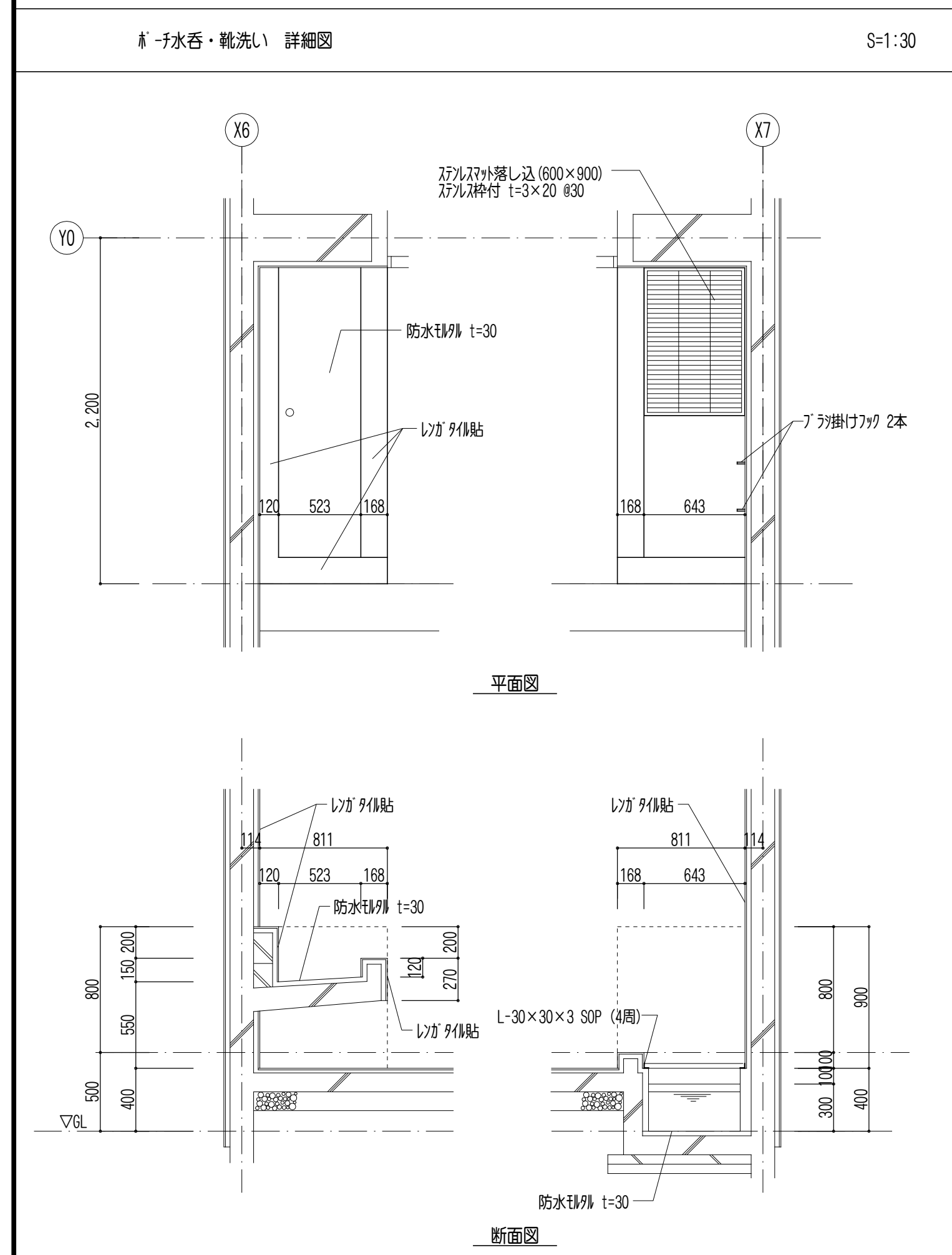
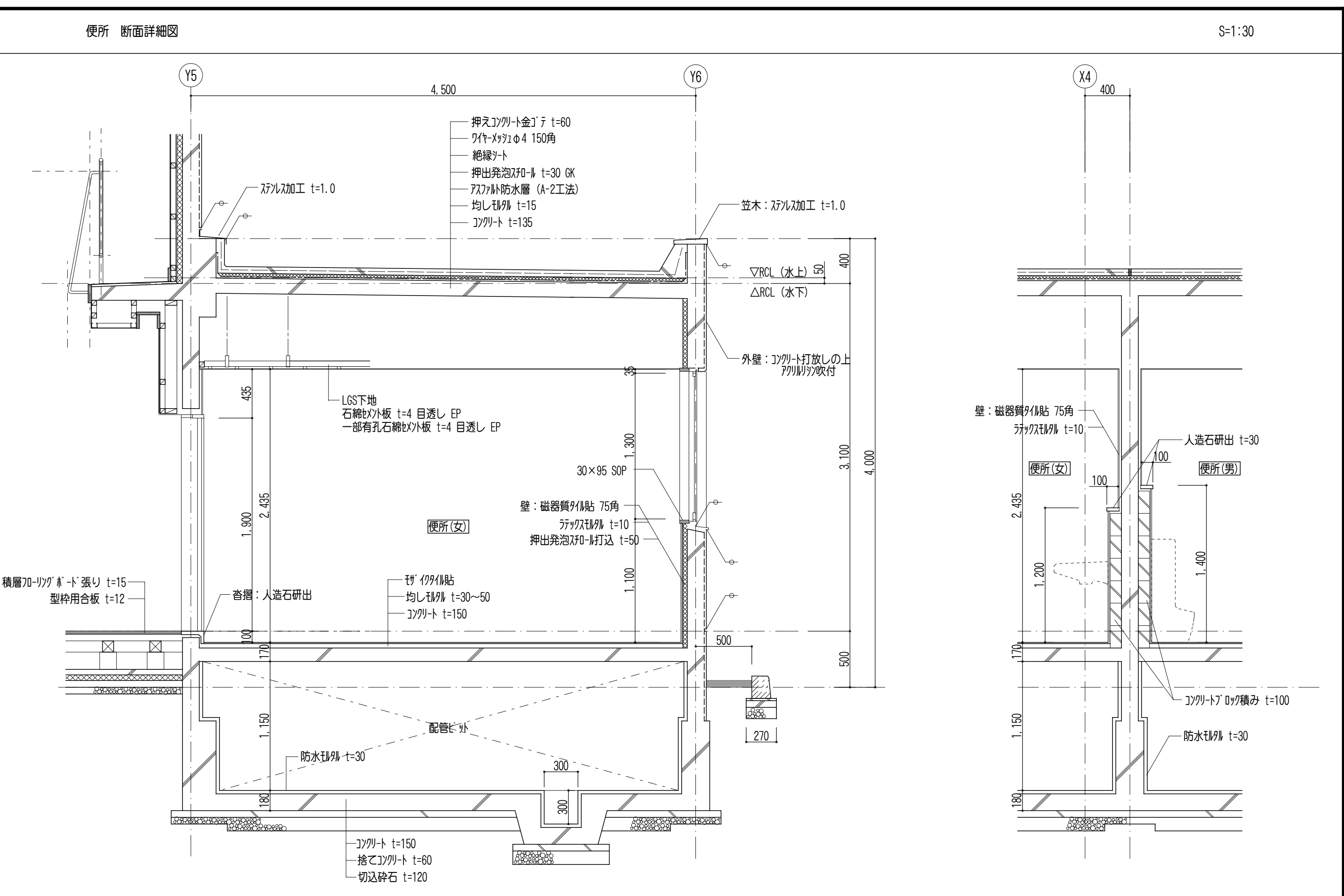
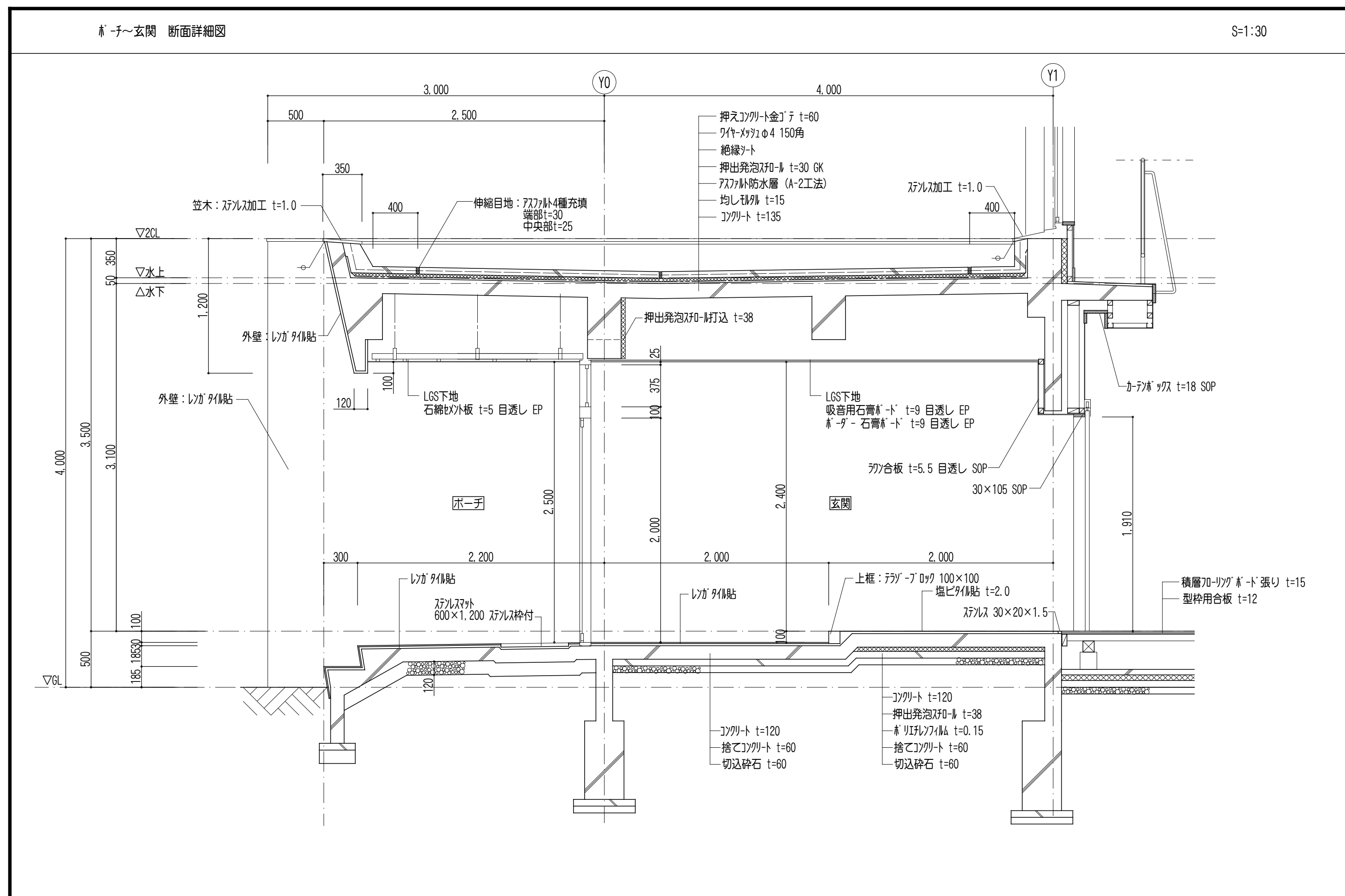


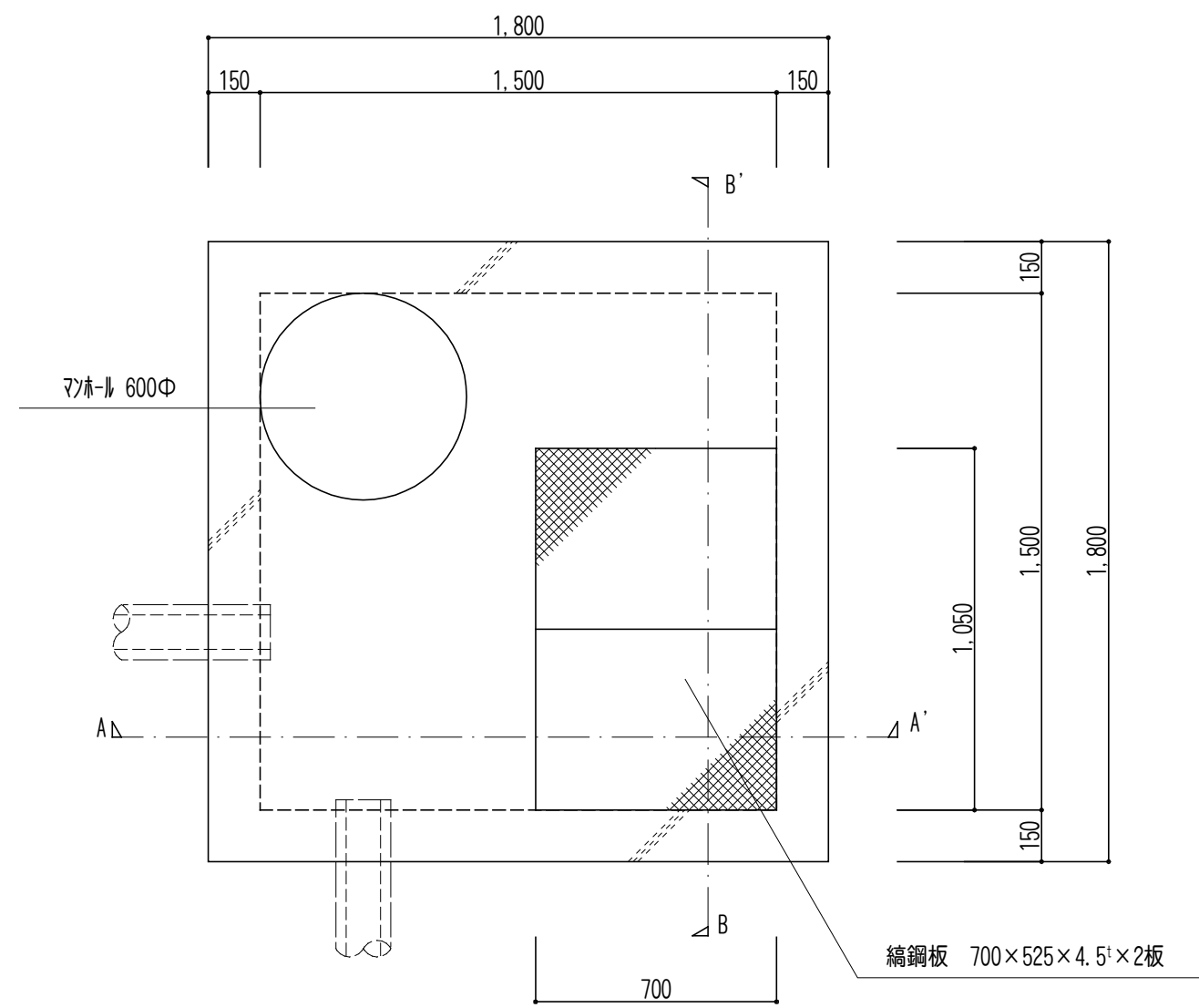
凡 例	
(A)	屋根：長尺が-鉄板 t=0.4 瓦棒葺
(B)	横包み：が-鉄板 t=0.4
(C)	軒先：が-鉄板 t=0.4 平葺
(D)	破風：が-鉄板 t=0.4
(E)	笠木：スルス t=1.0加工
(F)	外壁：コケルト打放しの上 アクリル珪吹付
(G)	柱型：コケルト打放しの上 アクリル珪吹付
(H)	外壁：レガタ貼
(I)	水切：スルス t=1.0加工
(J)	打継目地
(K)	基礎：コケルト打放し仕上
(L)	床：レガタ貼
(M)	床：100角磁器質タイル貼



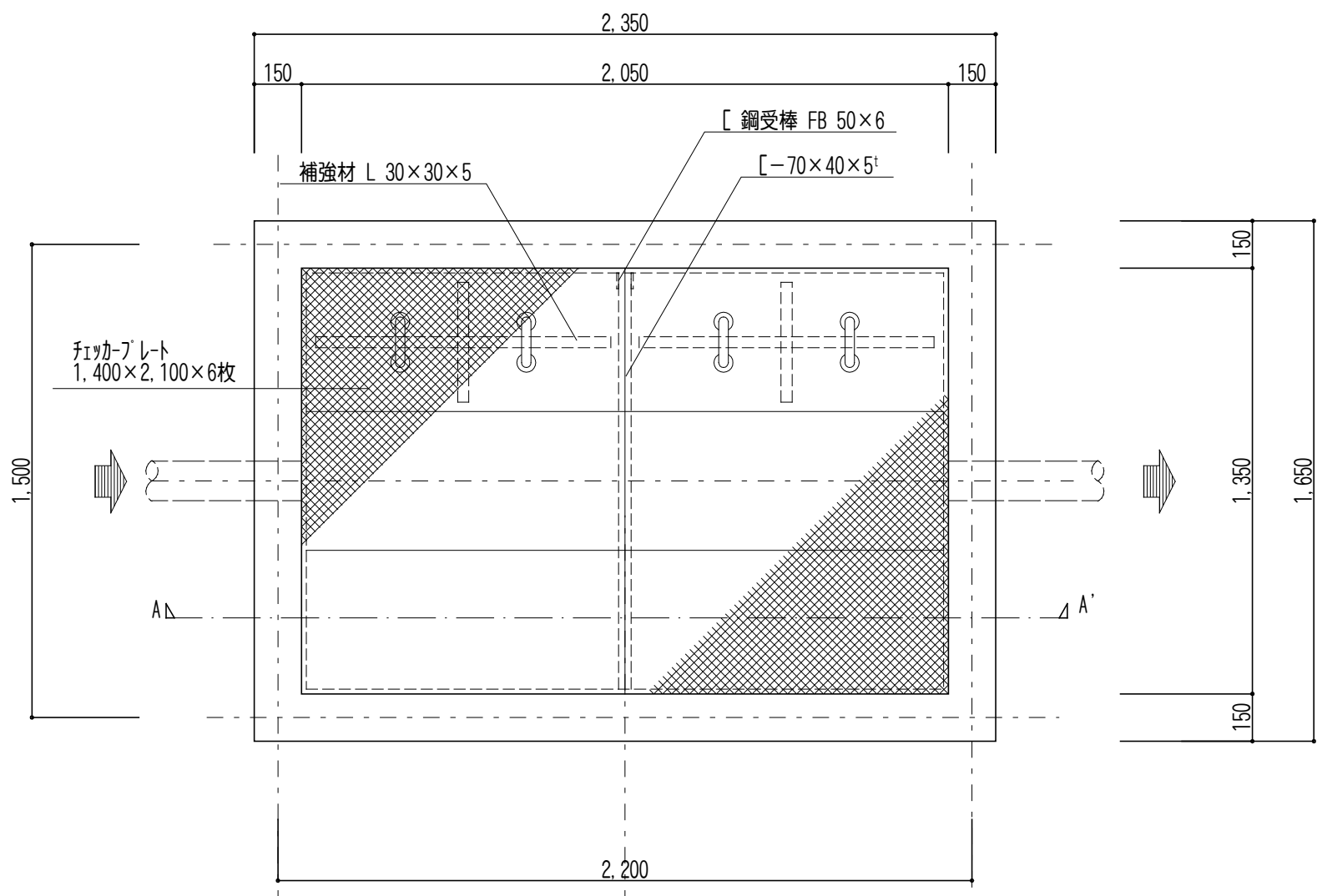




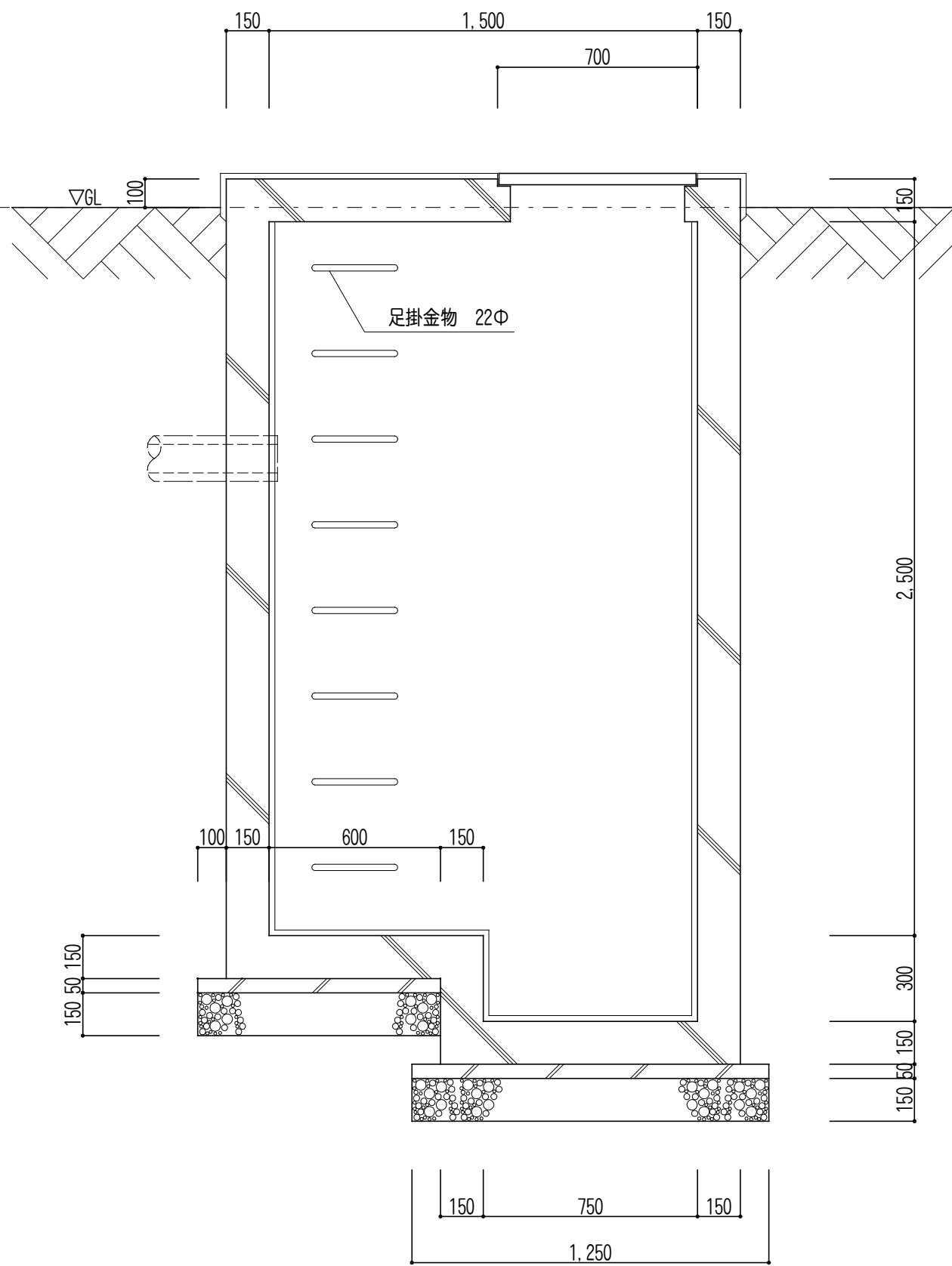




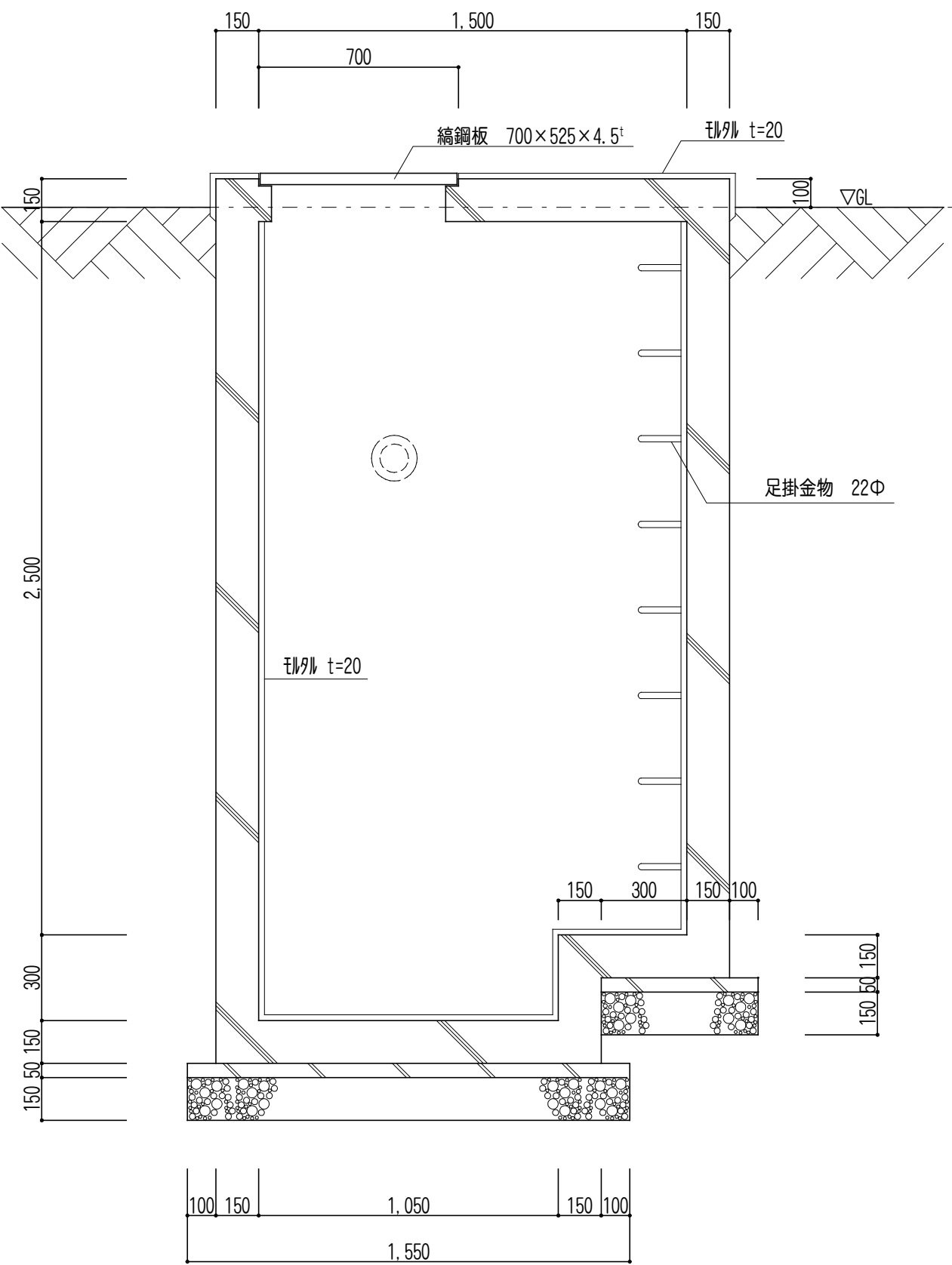
平面図



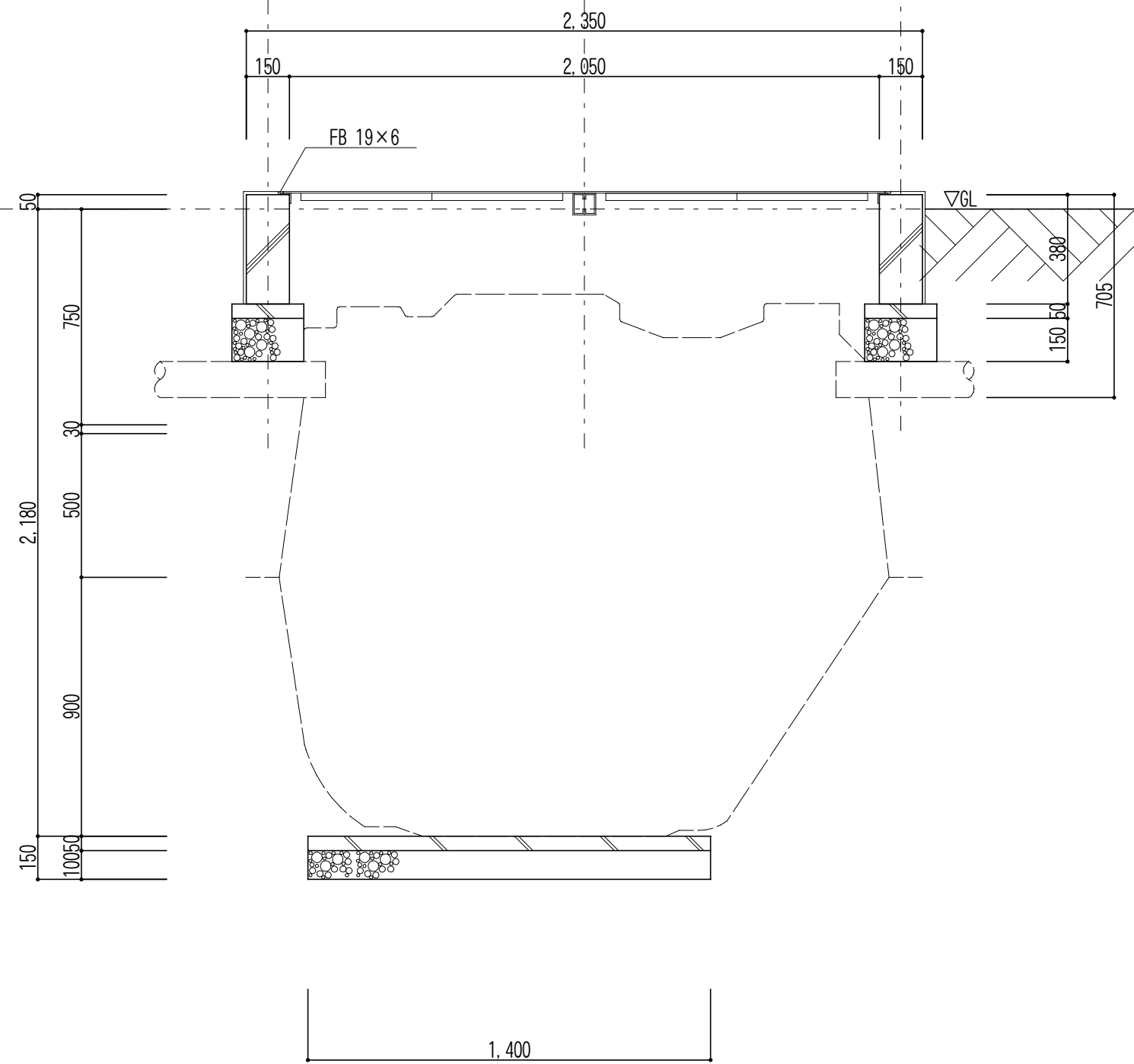
平面図



A-A'断面図

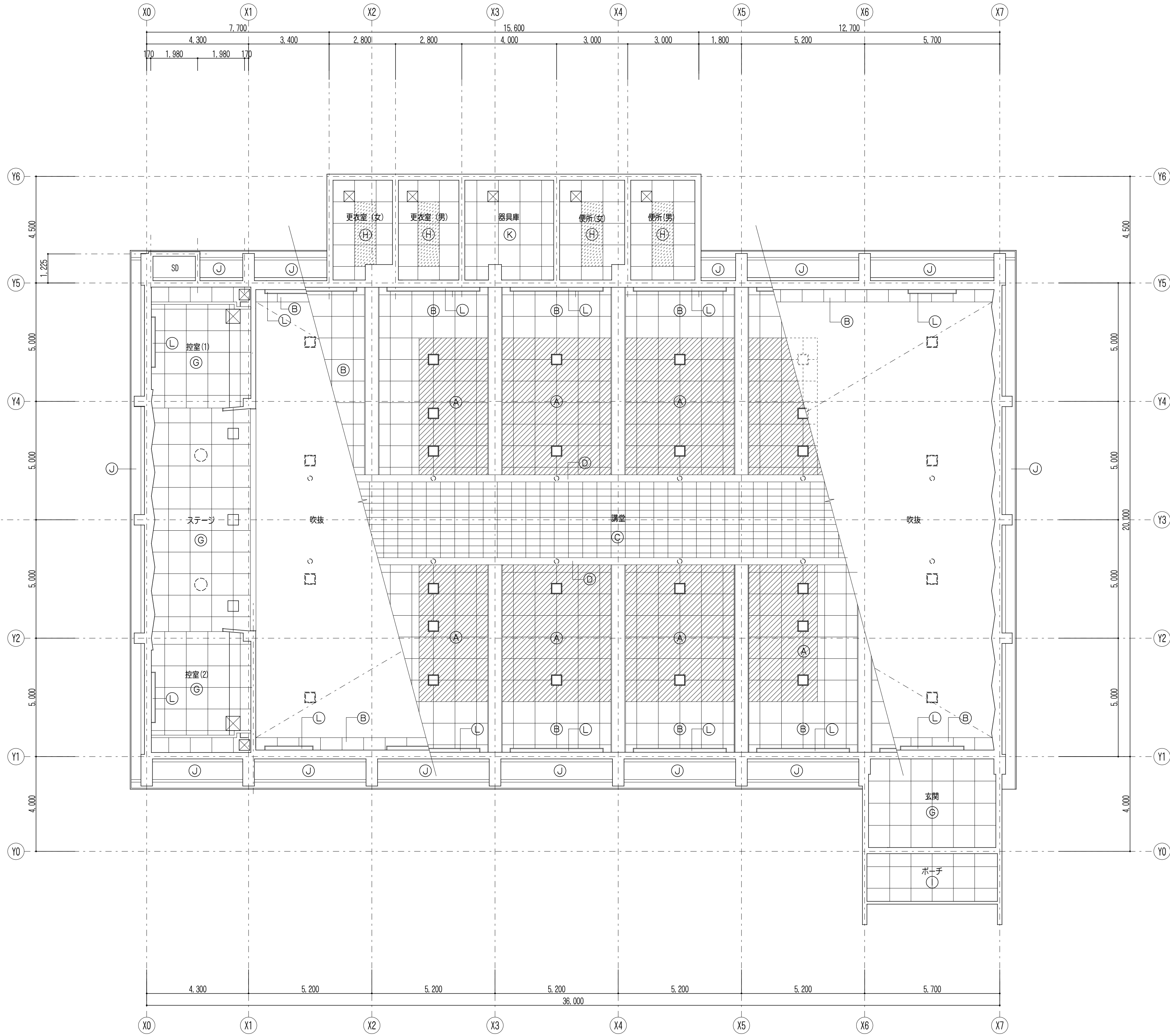
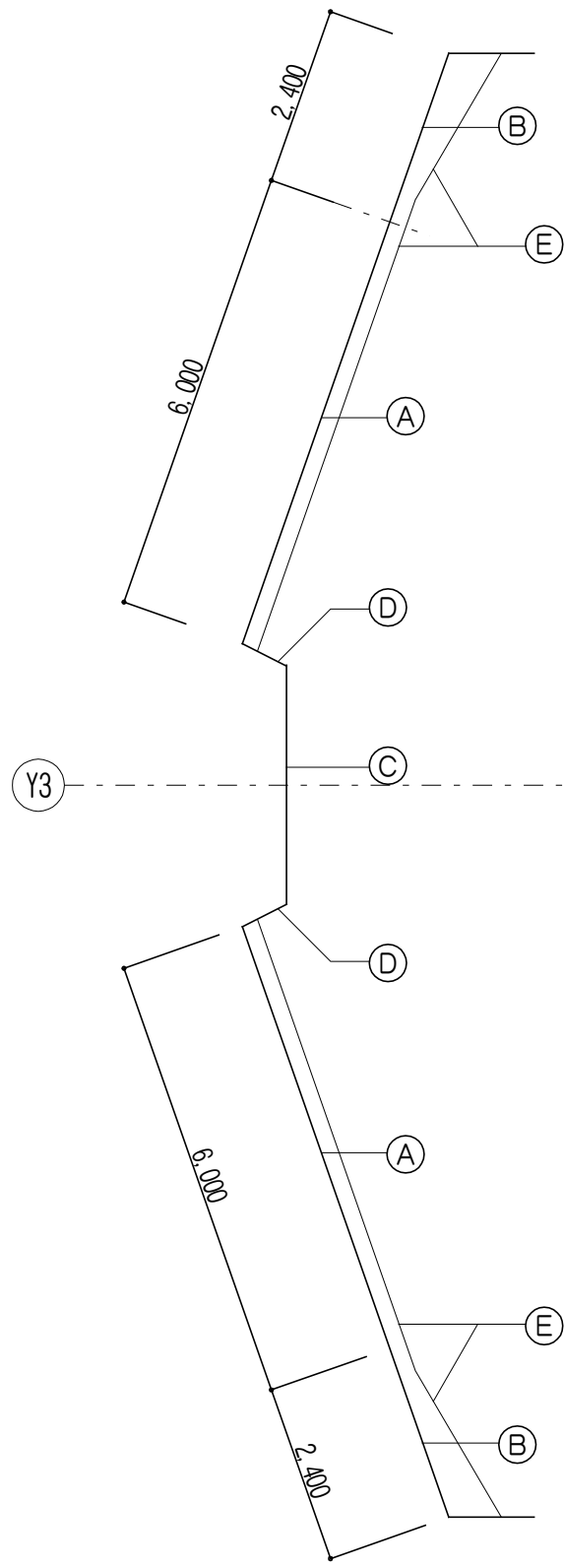
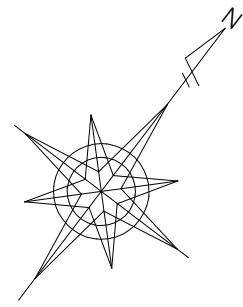


B-B'断面図



材料仕様	
本体	強化PFR
第一か ー	//
第二か ー	//
消毒室	//
流入管	硬質塩化ビニル
流出管	//
その内その他部品	硬質塩化ビニル・PFR等
モーター	鋳鉄
点検口蓋	//

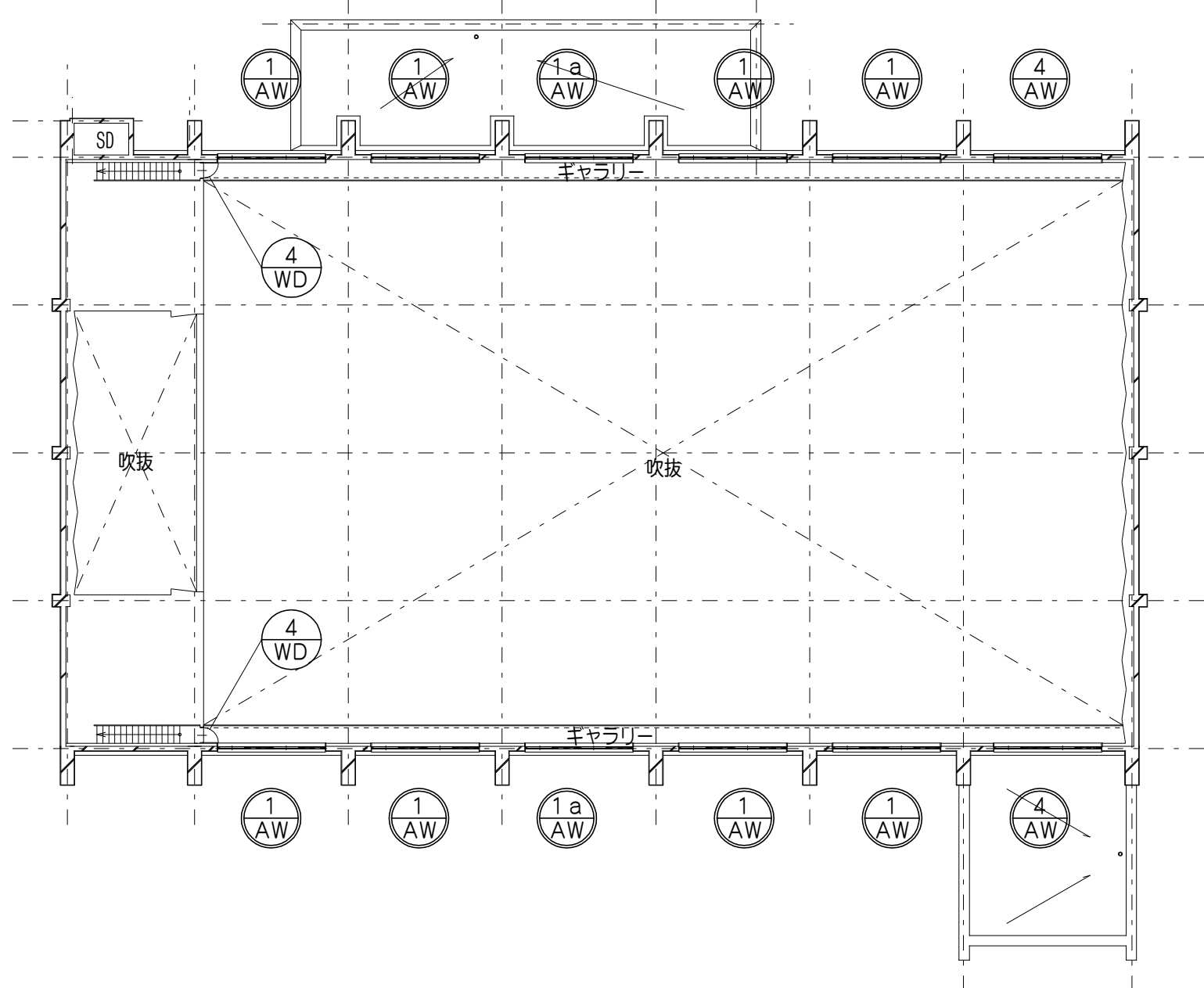
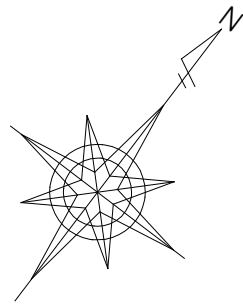
容量表	
初浄化槽 AR-N30 48人槽	
ばっ気槽	2.4186 m³
沈殿室	0.5871 m³
消毒室	0.0407 m³
総容積	3.0444 m³



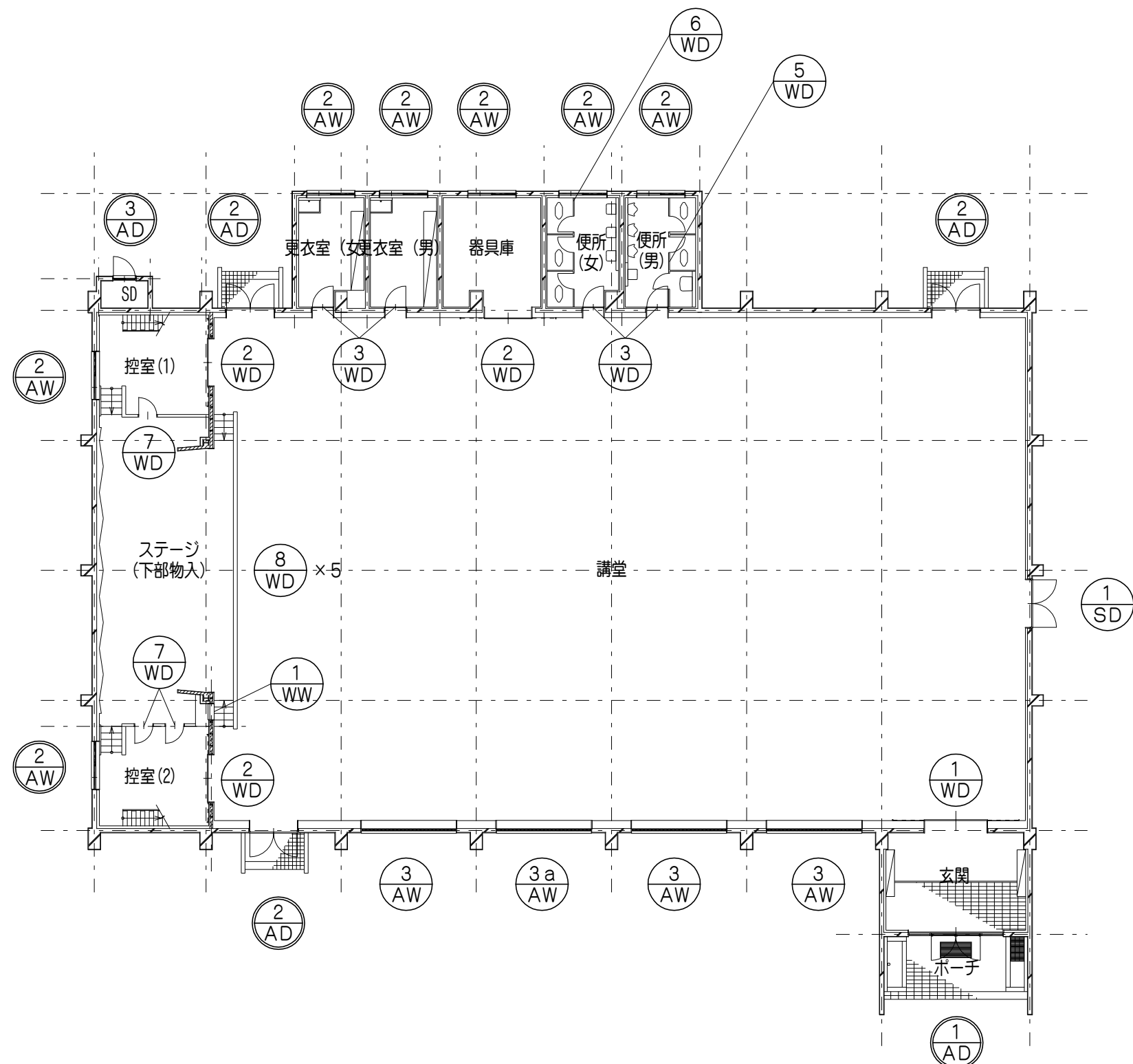
天井伏図 1:100

凡 例	
記 号	仕 上
(A)	穿孔合板 t=5.5 (目透し) OP (ｸﾞﾗｽｸﾞﾗｽ t=25 16K充填)
(B)	ﾌｵﾝ合板 t=5.5 (目透し) OP
(C)	吸音用軟質繊維板張 t=9
(D)	穿孔合板 t=5.5 (目透し) OP
(E)	穿孔合板 t=5.5 (目透し) OP (ｸﾞﾗｽｸﾞﾗｽ t=50 10K充填)
(F)	梁型側面：穿孔合板 t=5.5 (目透し) OP
(G)	吸音用石膏ﾎｰﾄﾞ t=9 (目透し) EP 石膏ﾎｰﾄﾞ：石膏ﾎｰﾄﾞ t=9 (目透し) EP
(H)	石膏ﾎｰﾄﾞ t=4 (目透し) VP 斜線部分：有孔石膏ﾎｰﾄﾞ t=4 VP
(I)	石膏ﾎｰﾄﾞ t=4 (目透し) VP
(J)	ﾌｵﾝ打放し ｽﾀﾝﾄﾞｵﾌﾞｳｪﾙ
(K)	石膏ﾎｰﾄﾞ t=9 (目透し) EP
(L)	ｶｰﾁﾝｸﾞ
☒	天井点検口 600角 2ヶ所
☒	天井点検口 450角 7ヶ所 ※控室 南窓設け 2ヶ所
□	天井のぞき窓 450角 3ヶ
□	照明器具位置 450角 28ヶ所
○	天井吹出口 200Φ 12ヶ所
○	天井吹出口 530Φ 2ヶ所

総尺  
A1 (100%)  
A3 (50%)



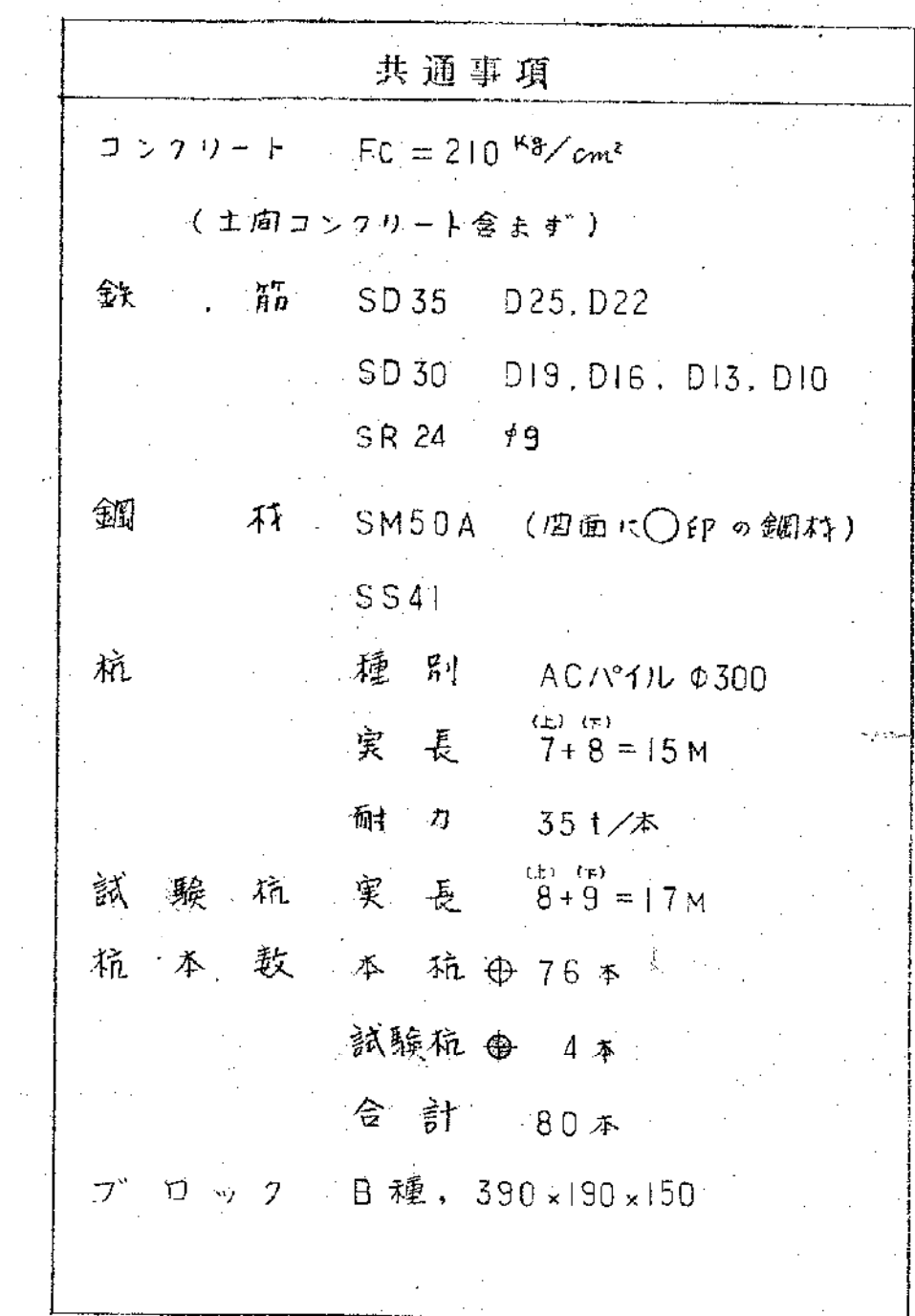
1階上部建具リスト図 1:100



1階建具リスト図 1:100

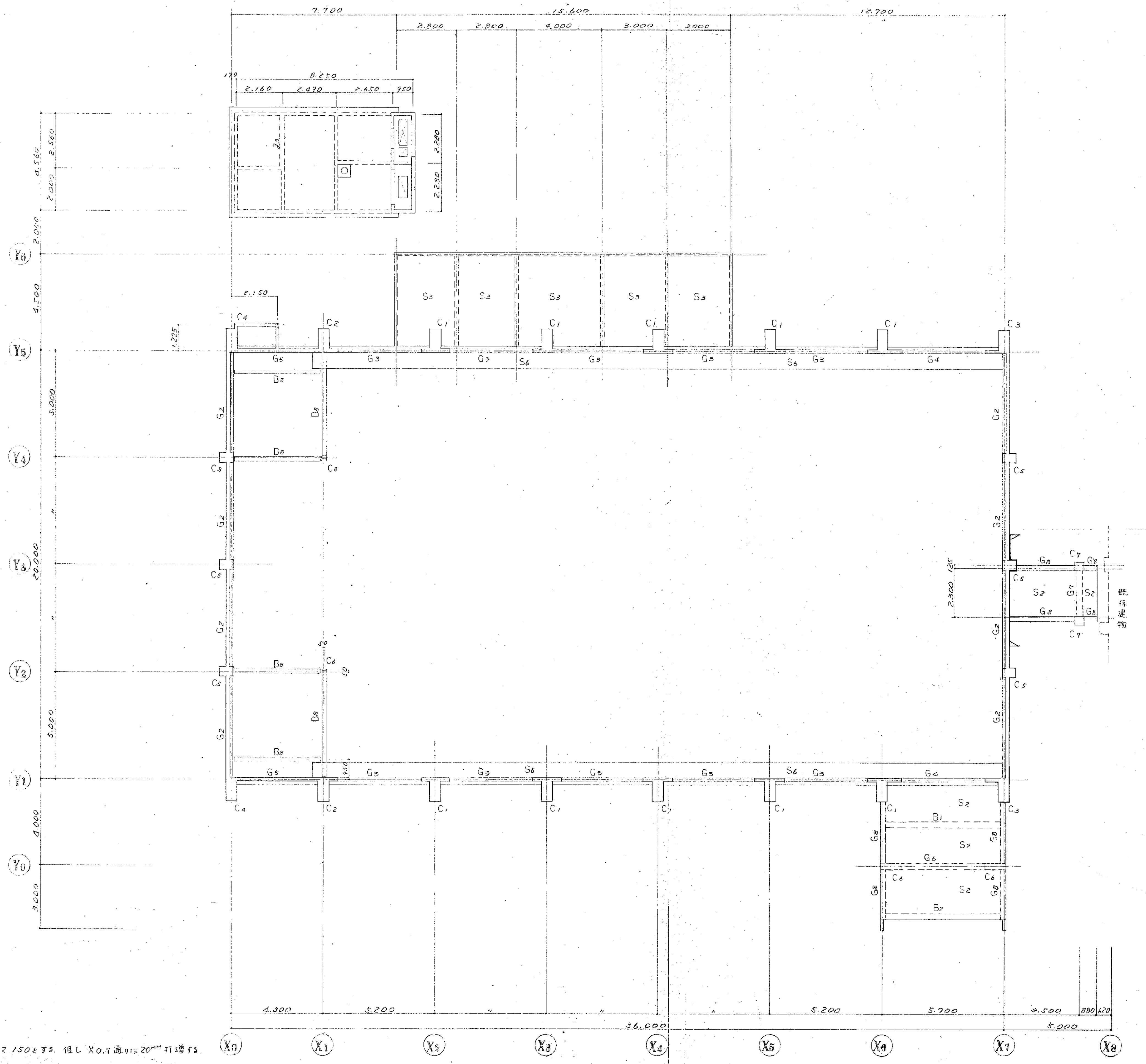
符号・本数	①SD 1ヶ所		①AD 1ヶ所	②AD 3ヶ所	③AD 1ヶ所
姿図					
使用場所	講堂		玄関	講堂	サブライダクト
形 式	スチール製煙感連動防火戸		アルミ製両開戸、袖・ランマ嵌め殺し窓	アルミ製両開戸	アルミ製片開フラッシュ戸
仕上・見込	OP 100		シルバー 100	シルバー 70	シルバー 70
硝 子	—		フロート t=5 腰：線入透明硝子 t=6.8	フロート t=5 腰：アルミパネル	—
備 考	—		—	鉄格子 Φ13 OP #100	—
符号・本数	①AW × 10ヶ所 ①aAW × 4ヶ所		②AW 7ヶ所 ③AW × 3ヶ所 ③aAW × 2ヶ所		
姿図					
使用場所	ギャラリー		器具庫、更衣室(男)・(女)、便所(男)・(女)、控室(1)・(2)	講堂	
形 式	アルミ製嵌め殺し窓付き二連片引窓		アルミ製片引窓	アルミ製嵌め殺し窓	
仕上・見込	シルバー 70		シルバー 70	100	
硝 子	フロート t=5		型板ガラス t=6.0	ガラスブロック 145×145×95	
備 考	—		—	—	
符号・本数	①WD 1ヶ所		②WD 3ヶ所	③WD 4ヶ所	④WD 2ヶ所
姿図					
使用場所	玄関		器具庫、控室(1)・(2)	衣室(男)・(女)、便所(男)・(女)	ギャラリー
形 式	木製両面フラッシュ引分ハンガー戸		木製両面フラッシュ引分ハンガー戸 ガラリ付	木製片開フラッシュ戸 額・ガラリ付	木製片開フラッシュ戸
仕上・見込	ラワン合板 t=4.0 OP 40		ラワン合板 t=4.0 OP 40	ラワン合板 t=4.0 OP 額：型板ガラス t=4.0 40	ラワン合板 t=4.0 OP 40
硝 子	—		—	—	—
備 考	—		—	鉄格子 ガラリ：木製 t=15 OP	—
符号・本数	⑤WD 1ヶ所 ⑥WD 1ヶ所		⑦WD 3ヶ所 ⑧WD 3ヶ所	①WW 1ヶ所	
姿図					
使用場所	便所(男)	便所(女)	控室(1)・(2)	ステージ下物入	ステージ
形 式	木製フラッシュパネルスクリーン	木製フラッシュパネルスクリーン	木製片開ガラリ戸	木製両面フラッシュ引違い戸	木製嵌め殺し窓
仕上・見込	ポリエステル化粧合板 t=3.0 下貼：ラワンベニヤ t=5.5 40	ポリエステル化粧合板 t=3.0 下貼：ラワンベニヤ t=5.5 40	36	ラワン合板 t=4.0 OP 36	—
硝 子	—	—	—	—	フロート t=3
備 考	—	—	ガラリ：木製 t=15 OP	—	鉄格子 Φ13 OP





基礎伏図  $S=1:100$   
コンクリート壁厚は全て150とする。

既存杭は残置とするため、施工者は既存杭の位置を施工図として、提出すること。

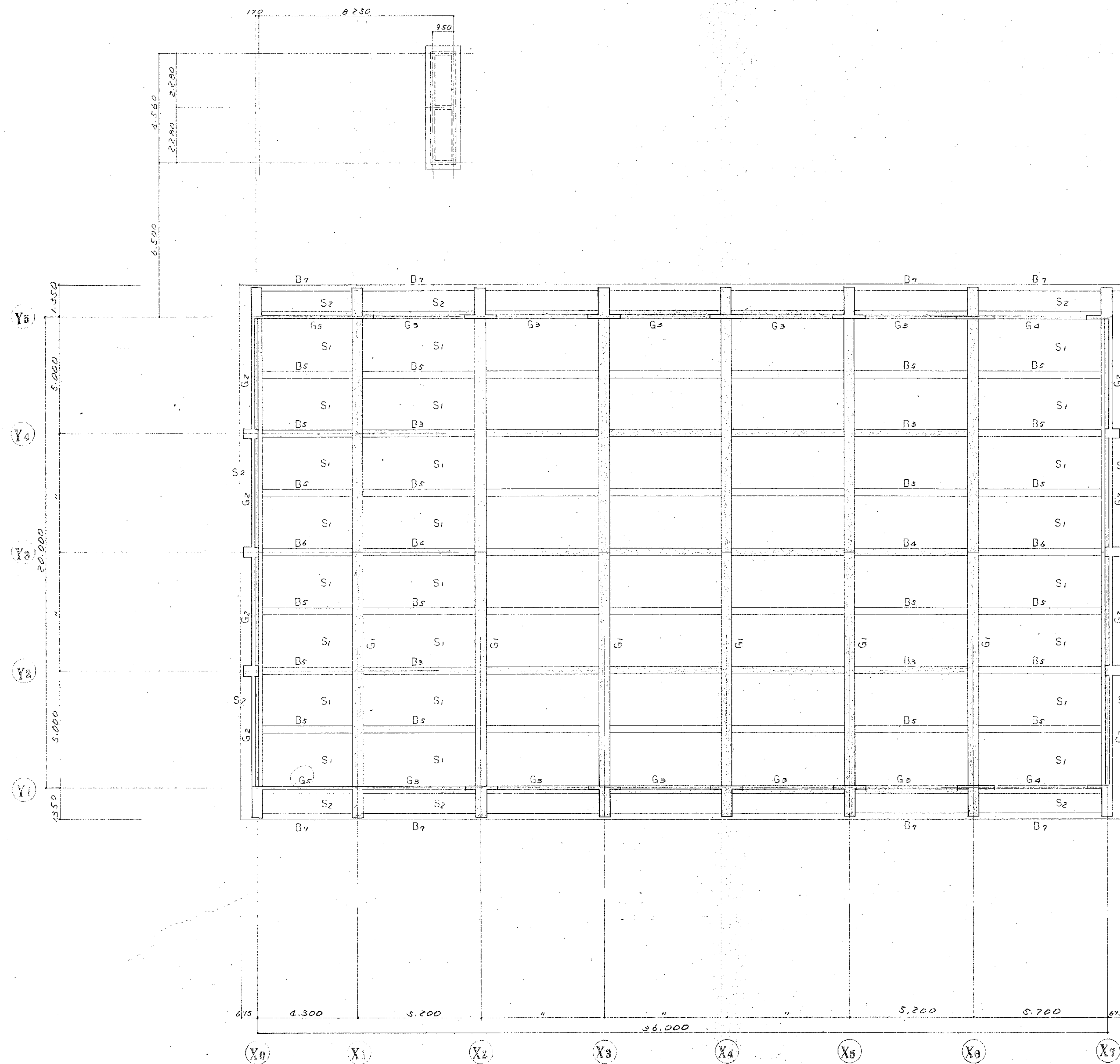


2階伏図

S=1:100  
コンクリート壁厚は全マ150とする。但しX0,Y通りは20mm増す。

縮尺  
A1 (100%)  
A3 (50%)

	年 月 日	R8. 4.			担 当	工 事 名 称	木ノ下中学校講堂解体工事	No.	1113	建
						図 面 名	【講堂】 2階伏図			



R 階 伏 図

S 1:100

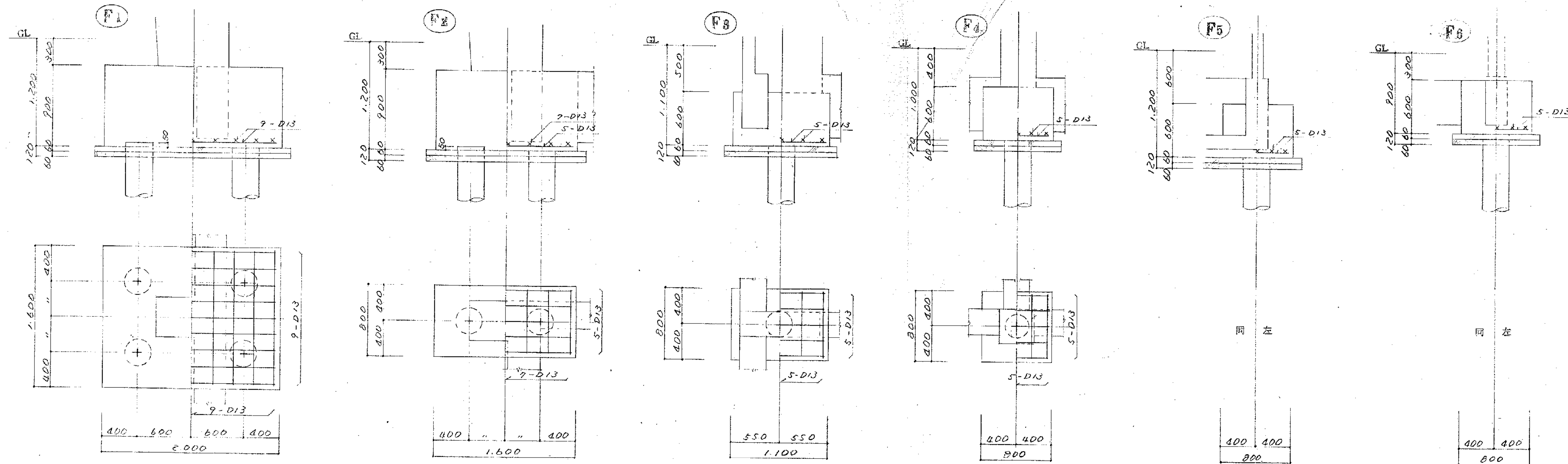
部材は鉄骨鉄筋コンクリートを示す

縮尺  
A1 (100%)  
A3 (50%)

		年 月 日				担 当	工 事 名 称	木ノ下中学校講堂解体工事	No.	1114 建
		R8. 4.					図 面 名	【講堂】 R階伏図		

基礎リスト

S=1:30



地中梁リスト

S=1:30

地中梁上端は全てGL-300とす。 幅止り筋 90-600φ

配号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5	FG6	FG7	FG8	FG9
位置	外端 中央	中央	外端 中央	中央	中央	中央	中央	中央	中央
断面									
上ハ筋	4-D25 3-D25	3-D25	5-D22 3-D22	3-D22	3-D22	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19
下ハ筋	4-D25 3-D25	3-D25	5-D22 3-D22	3-D22	3-D22	2-D19	2-D19	2-D19	2-D19
底筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
スタップ	90-200φ	90-200φ	90-200φ	90-200φ	90-200φ	90-200φ	90-200φ	90-200φ	90-200φ

小梁リスト

S=1:30

配号	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	B10
位置	端部 中央	端部 中央	中央	中央	端部 中央	端部 中央	中央	中央	中央	中央
断面										
主材			H-200,100,55,8	H-200,100,55,8						
上ハ筋	2-D19 2-D19	2-D19 2-D19	2-D19	2-D19	3-D19 2-D19	3-D19 2-D19	2-D19			
下ハ筋	2-D19 4-D19	2-D19 4-D19	2-D19	2-D19	2-D19 3-D19	2-D19 3-D19	2-D19			
スタップ	90-200φ	90-200φ	90-200φ	90-200φ	90-200φ	90-200φ	90-200φ			

総尺  
A1 (100%)  
A3 (50%)

年 月 日  
R8. 4.

担当

工事名称  
図面名

木ノ下中学校講堂解体工事  
【講堂】 基礎・地中梁・小梁リスト

No.

1115  
建

柱リスト

S=1:30

C1~C4の断面は詳細図参照のこと 鋼材の円○印はSM50Aを示す

階	記号	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8
2	断面	柱頭 柱脚 	特記無1場合へ C1 に同じ	柱頭 柱脚 	特記無1場合へ C3 に同じ				H
	主材	T-22x250							H-200x200x8x12
	腹材	R-9							
	主筋	8-D25		10-D25		8-D19			
	サブ筋	9φ-100φ		9φ-100φ		9φ-100φ			
	幅止ノ筋	9φ-600φ		9φ-600φ		9φ-600φ			
1	断面	柱頭 柱脚 	柱頭 柱脚 	柱頭 柱脚 	柱脚 	同上 			H
	主材	T-22x250	T-22x250						H-200x200x8x12
	腹材	R-9	R-9						
	主筋	10-D25	8-D25	16-D25	10-D25	10-D19	6-D19		
	サブ筋	9φ-100φ	9φ-100φ	9φ-100φ	9φ-100φ	9φ-100φ	9φ-100φ		
	幅止ノ筋	9φ-600φ	9φ-600φ	9φ-600φ	9φ-600φ	9φ-600φ	9φ-600φ		

大梁リスト

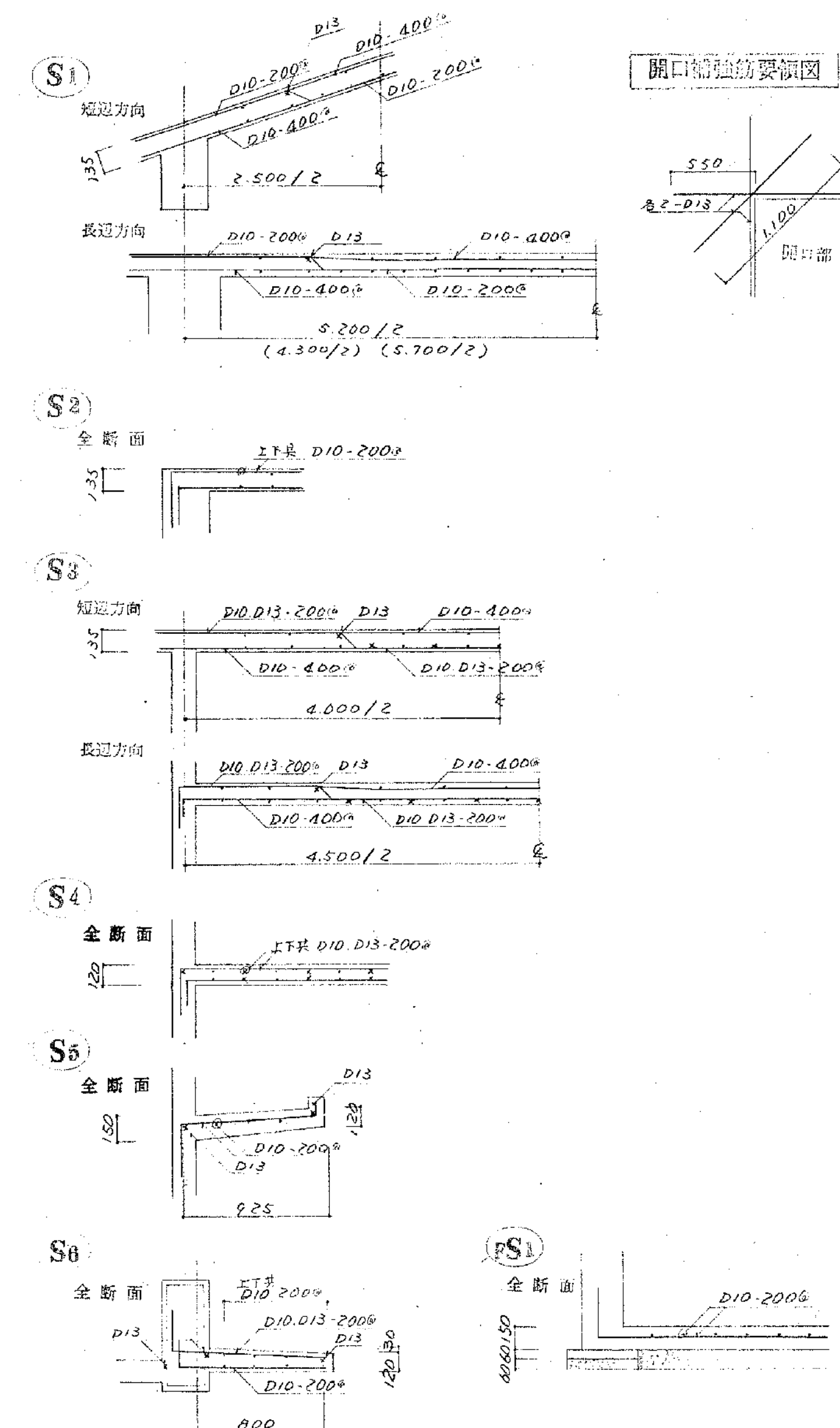
S=1:30

幅止ノ筋 9φ-600φ

階	記号	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8
	位置	端部 中央	全断面	端部 中央	X7端 中央 X8端	全断面	全断面	全断面	全断面
2	断面								
	主材	R-22x250		L-65x65x6					
	腹材	R-12		FR-7					
	上バ筋	2-D25	3-D22	2-D22	5-D22	2-D22			
	下バ筋	2-D25	3-D22	2-D22	2-D22	2-D22			
	腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10			
	スタップ	9φ-200φ	9φ-150φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ			
1	断面								
	主材			L-75x75x12					
	腹材			FR-12					
	上バ筋		3-D22	2-D25	5-D25	2-D25	3-D19	2-D19	2-D19
	下バ筋		3-D22	2-D25	3-D25	2-D25	3-D19	2-D19	2-D19
	腹筋		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10			
	スタップ		9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ

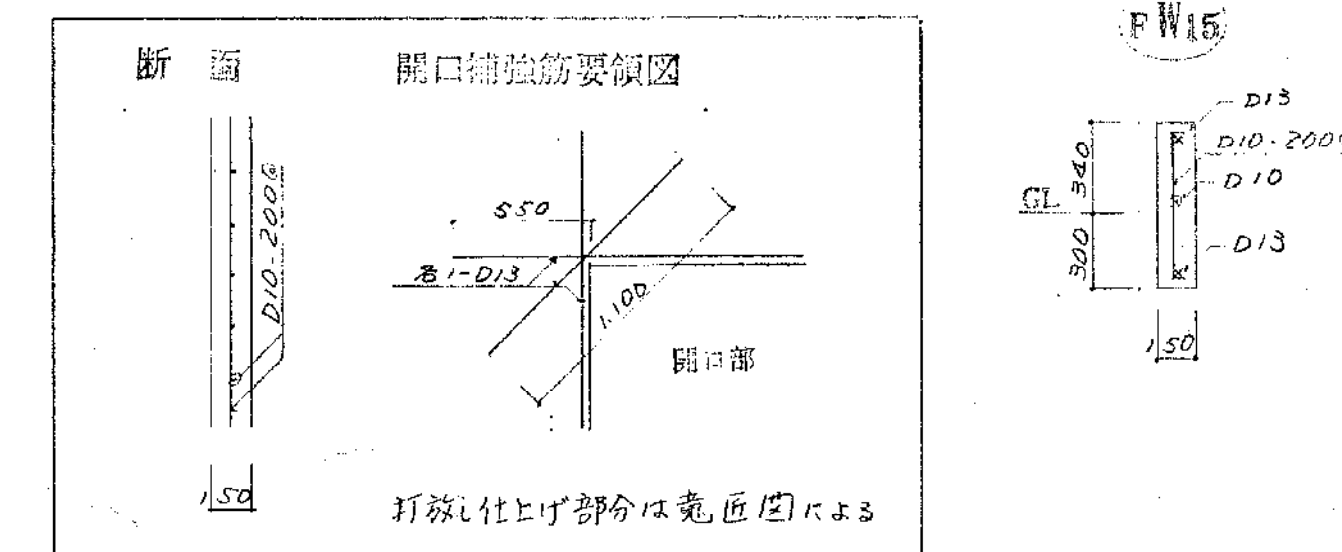
スラブリスト

S=1:30



壁リスト

S=1:30



年 月 日  
R8. 4.

担当

工事名称  
図面名

木ノ下中学校講堂解体工事  
【講堂】 柱・大梁・スラブ・壁リスト

No.

1116

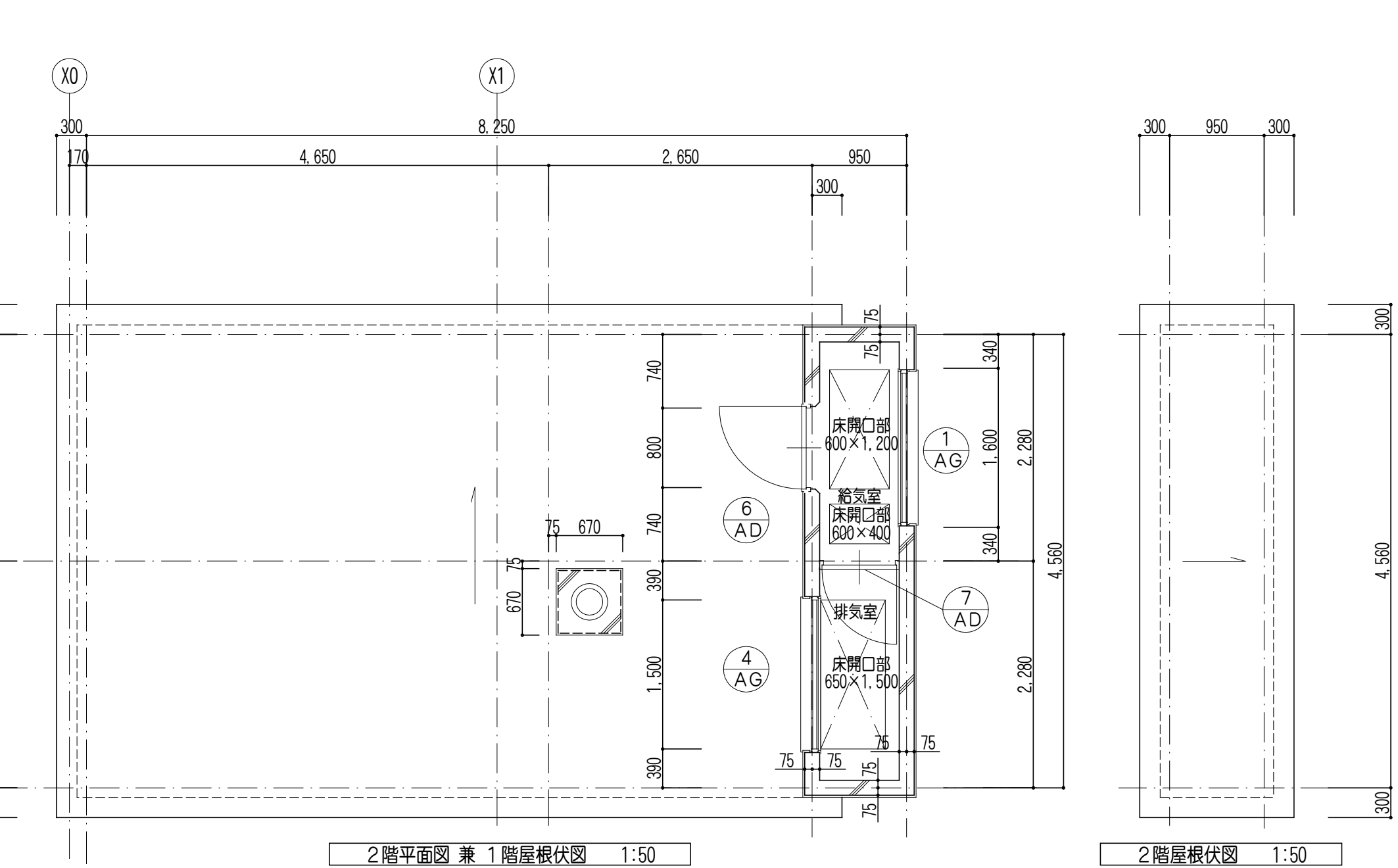
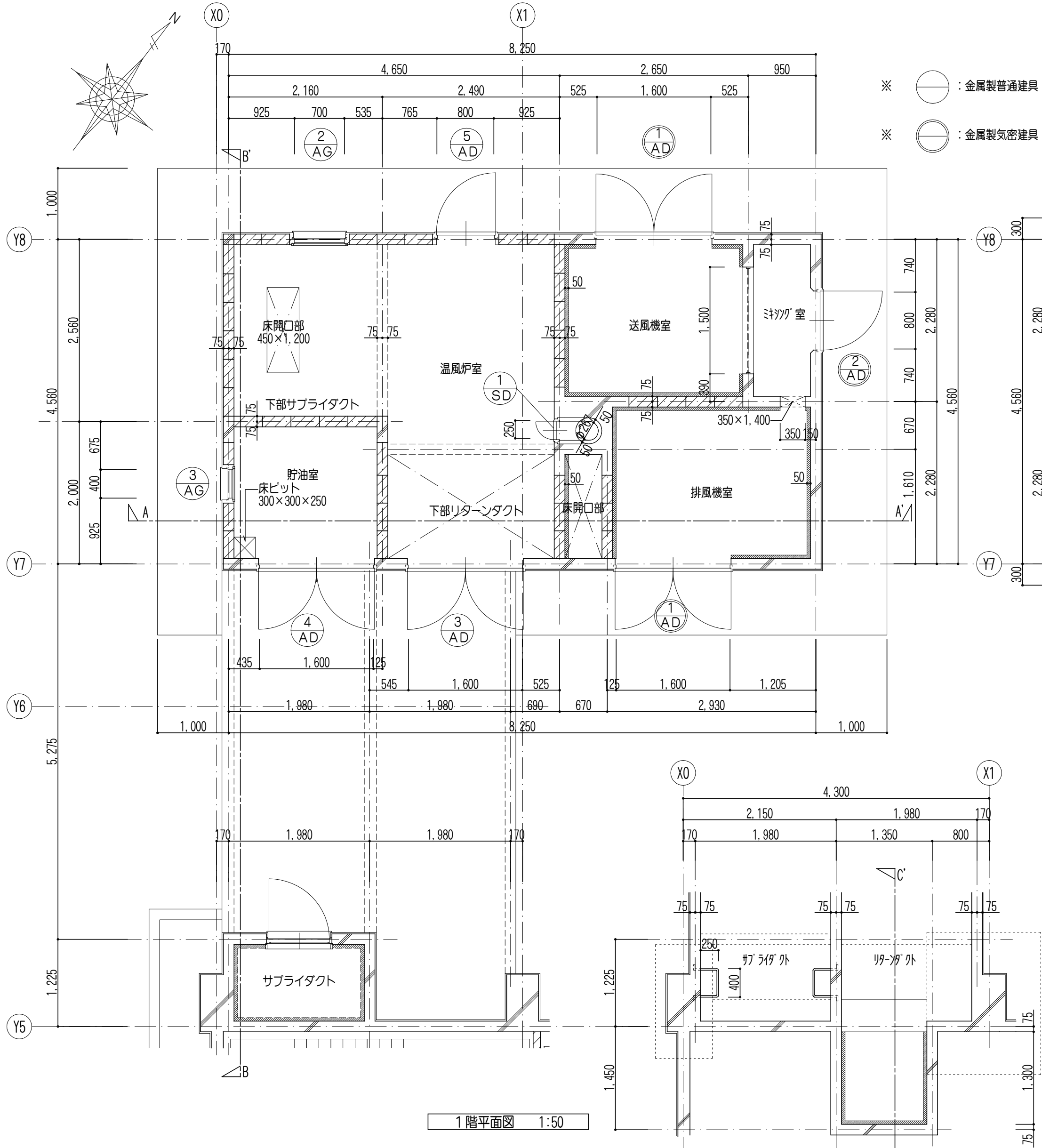
建

縮尺  
A1 (100%)  
A3 (50%)



外部仕上表	
犬走り	コンクリート金ゴテ
根廻り	モルタル金ゴテ
外 壁	コンクリート打放し アクリルリシン吹付
	コンクリートブロック t=150 化粧横 アクリルリシン吹付
軒 裏	コンクリート打放し アクリルリシン吹付
屋 根	シート防水 t=1.5 シルバー仕上 (均しモルタル下地 t=15) 末端押え：アルミ板 t=2.0×40 立上り押え：アルミ水切 H=100
建 具	アルミ製完全気密建具 アルミ製普通建具 アルミ製固定ガラリ
煙 突	コンクリート打放し アクリルリシン吹付

内部仕上表					
室 名	床	巾木	壁	天 井	備 考
温 風 炉 室	コンクリート金ゴテ	コンクリート打放し	コンクリートブロック t=150 化粧横	木毛セメント板 t=15 打込	
送 風 機 室	コンクリート金ゴテ	コンクリート打放し	コンクリートブロック t=15 + ロックウール t=50	コンクリート打放し	
排 風 機 室	コンクリート金ゴテ	コンクリート打放し	コンクリートブロック t=150 化粧横 + ロックウール t=50 コンクリート打放し + ロックウール t=50	コンクリート打放し	
ミキシング室	コンクリート金ゴテ	コンクリート打放し	コンクリート打放し	コンクリート打放し	
貯 油 室	防水モルタル金ゴテ t=30	防水モルタル金ゴテ H=100	コンクリートブロック t=150 化粧横	コンクリート打放し	防油堤
給 気 室	コンクリート金ゴテ	――	コンクリート打放し	コンクリート打放し	
排 気 室	コンクリート金ゴテ	――	コンクリート打放し	コンクリート打放し	
サブライダクト	木毛セメント板 t=15 + 押出発泡スチロール打込 t=38	木毛セメント板 t=15 押出発泡スチロール打込 t=38	コンクリート打放し	コンクリート打放し	タラップ Φ22 OP
リターンダクト	木毛セメント板 t=15 + 押出発泡スチロール打込 t=38	木毛セメント板 t=15 押出発泡スチロール打込 t=38	コンクリート打放し	コンクリート打放し	



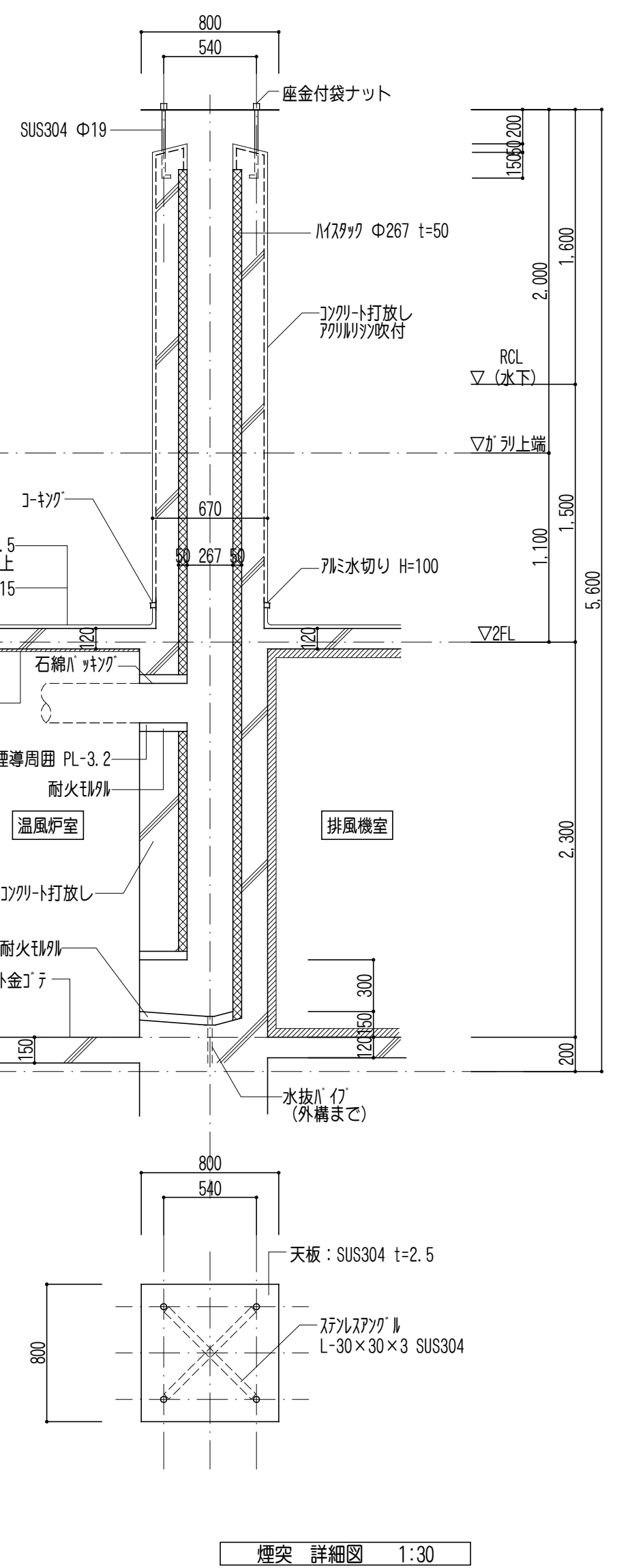
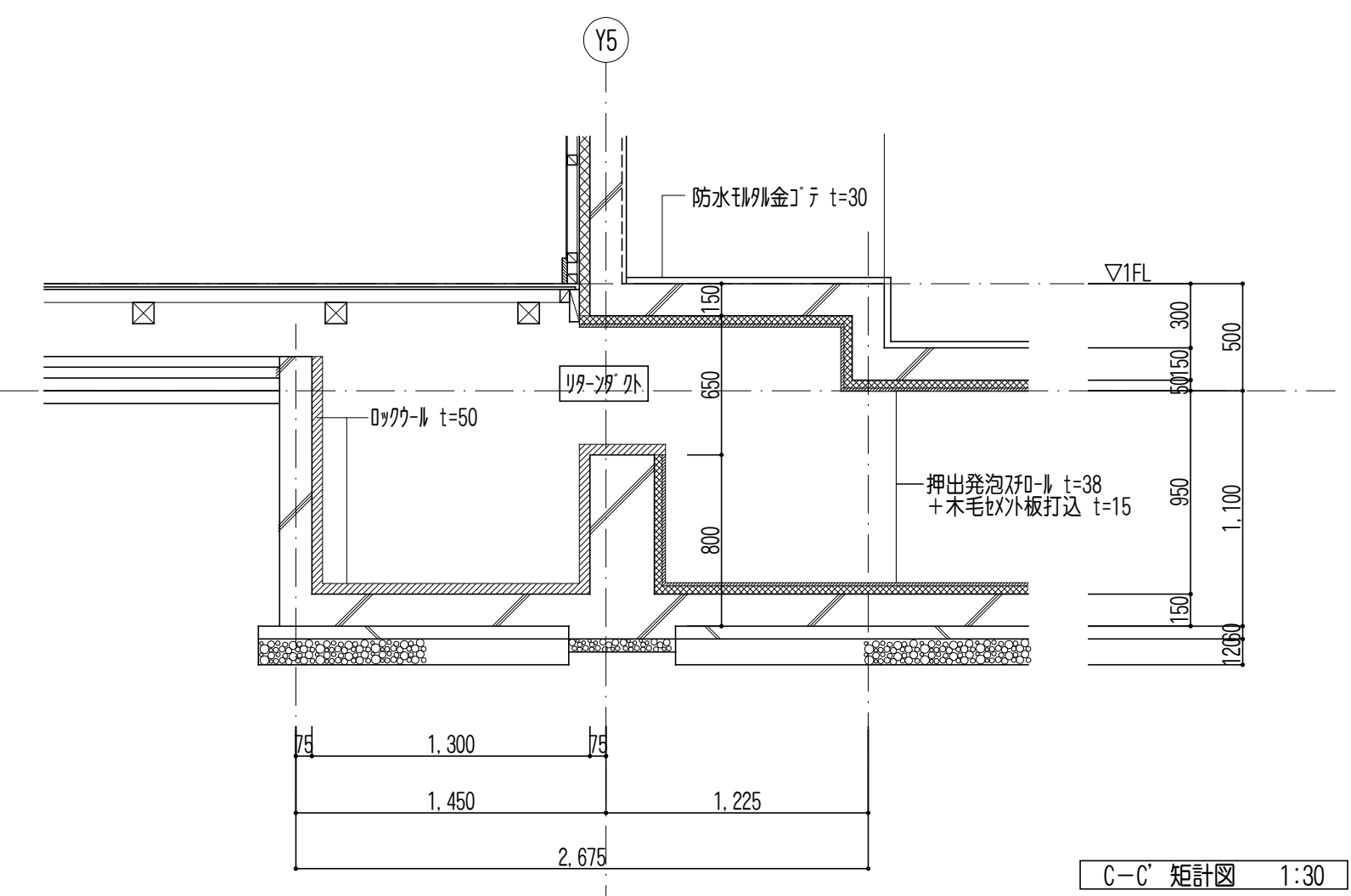
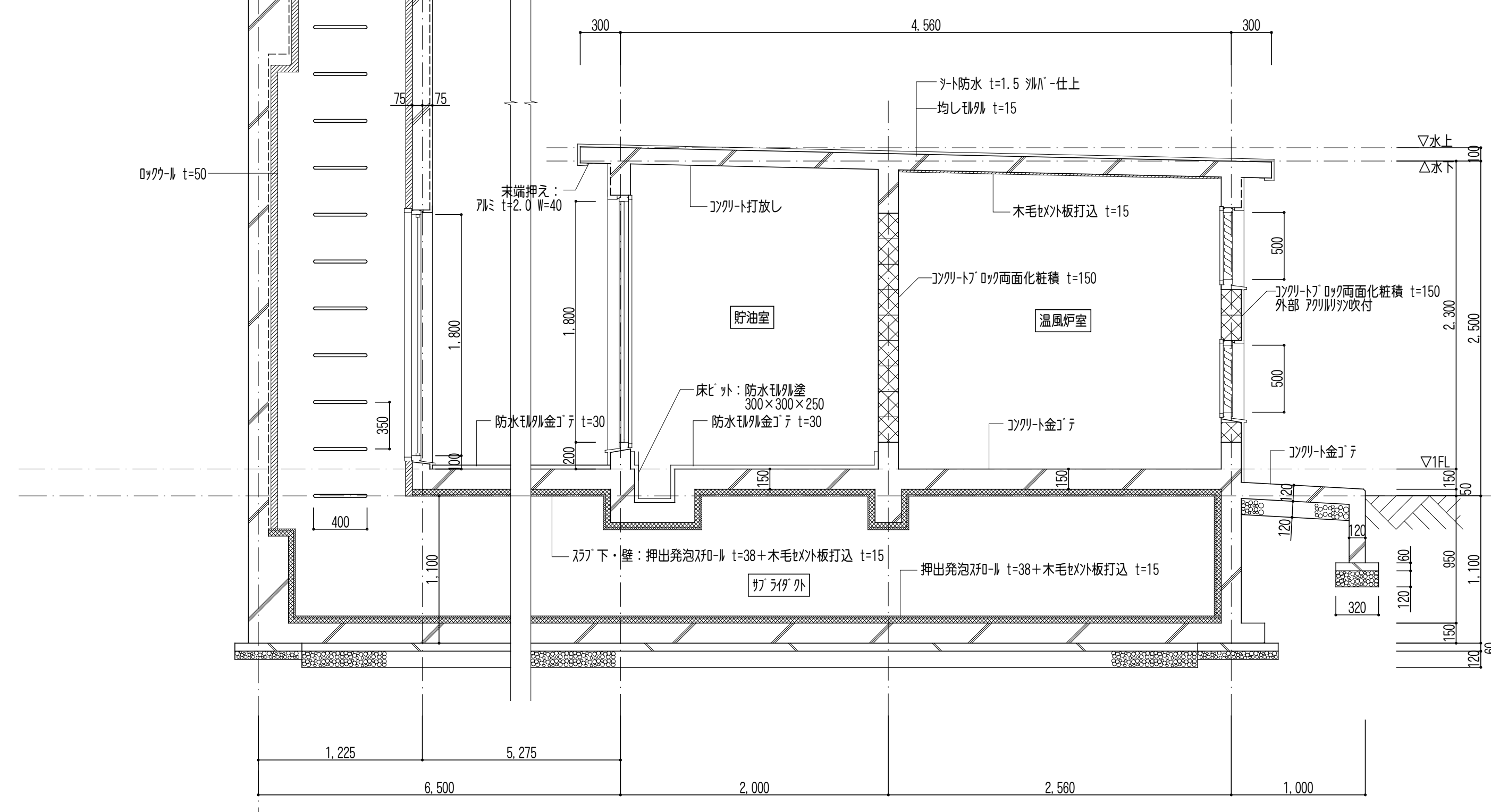
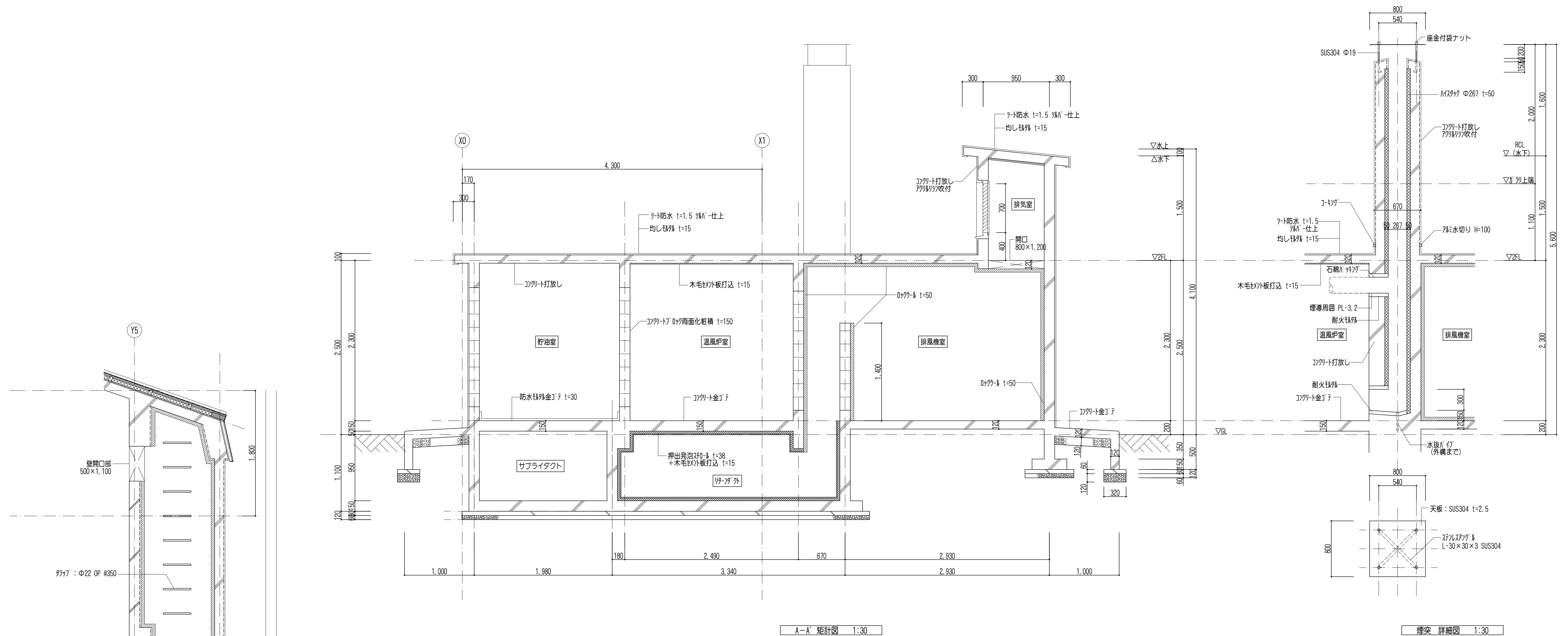
符号、本数	① AD	② AD	③ AD	④ AD	⑤ AD	⑥ AD
2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
※ 図						
使用場所	送風機室、排風機室	ミキシング室	温風炉室	貯油室	温風炉室	給気室
形 式	外：製両開きフラップ戸	外：製片開きフラップ戸	外：製両開き戸	外：製両開き戸	外：製片開き戸	外：製片開き戸
硝 子	――	――	ラウゲ- t=6.8 腰：外：単 複 t=2.0	外：単 複 t=2.0	ラウゲ- t=6.8 腰：外：単 複 t=2.0	外：単 複 t=2.0
仕 上	――	――	――	――	――	――
見 込	70	70	70	70	70	70
金 物	グレネーリ (錠付き)、グレネーリ、空扣、ヒッチロック、アースパナ	グレネーリ (錠付き)、グレネーリ、空扣、ヒッチロック、アースパナ	ヒッチロック、円筒錠、アースパナ、ラウゲ	ヒッチロック、円筒錠、アースパナ、ラウゲ	丁番、円筒錠、アースパナ	丁番、円筒錠、アースパナ
その他	付属金具一式	付属金具一式	付属金具一式	付属金具一式	付属金具一式	付属金具一式
符号、本数	⑦ AD	⑧ AG	⑨ AG	⑩ AG	⑪ AG	⑫ SD
1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
※ 図						
使用場所	給気室	給気室	温風炉室	貯油室	排気室	灰出し口
形 式	外：製両開き戸	外：製固定ガラリ	外：製固定ガラリ	外：製固定ガラリ	外：製固定ガラリ	鋼製片面フラップ戸
硝 子	外：単 複 t=2.0	防虫網網付	防虫網網付	防虫網網付	防虫網網付	OP
仕 上	――	――	――	――	――	――
見 込	70	70	70	70	70	70
金 物	丁番、円筒錠、アースパナ	付属金具一式	付属金具一式	付属金具一式	付属金具一式	輪吊丁番、打ち掛け錠
その他	付属金具一式	付属金具一式	付属金具一式	付属金具一式	付属金具一式	付属金具一式

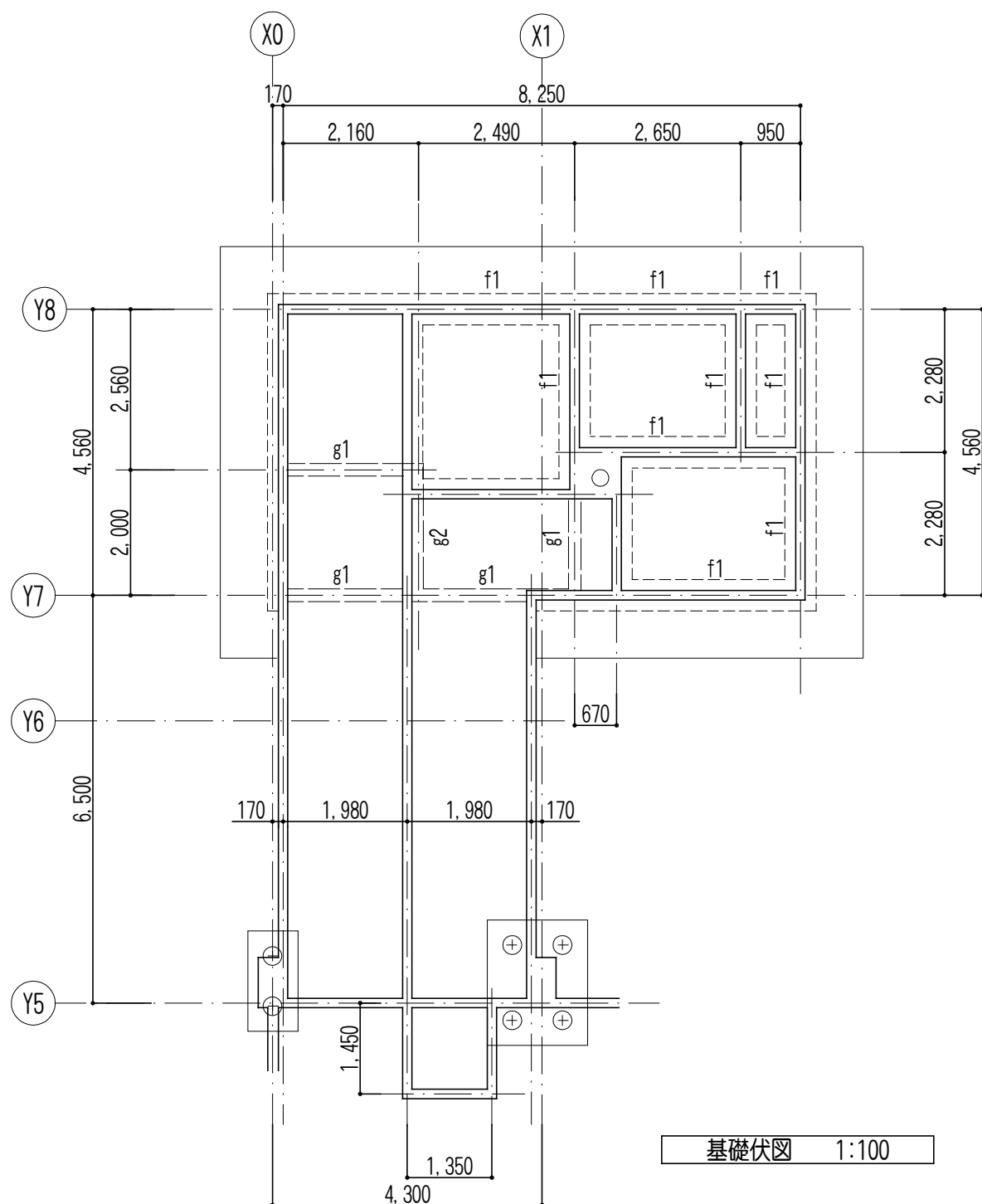
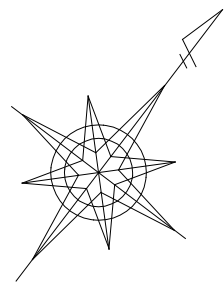
面積算定表		
No	計 算 式	計
①	8.25 × 4.56	37.62
延べ面積		37.62 m <sup>2</sup>
建築面積		37.62 m <sup>2</sup>

求積図 1:100

総尺  
A1 (100%)  
A3 (50%)

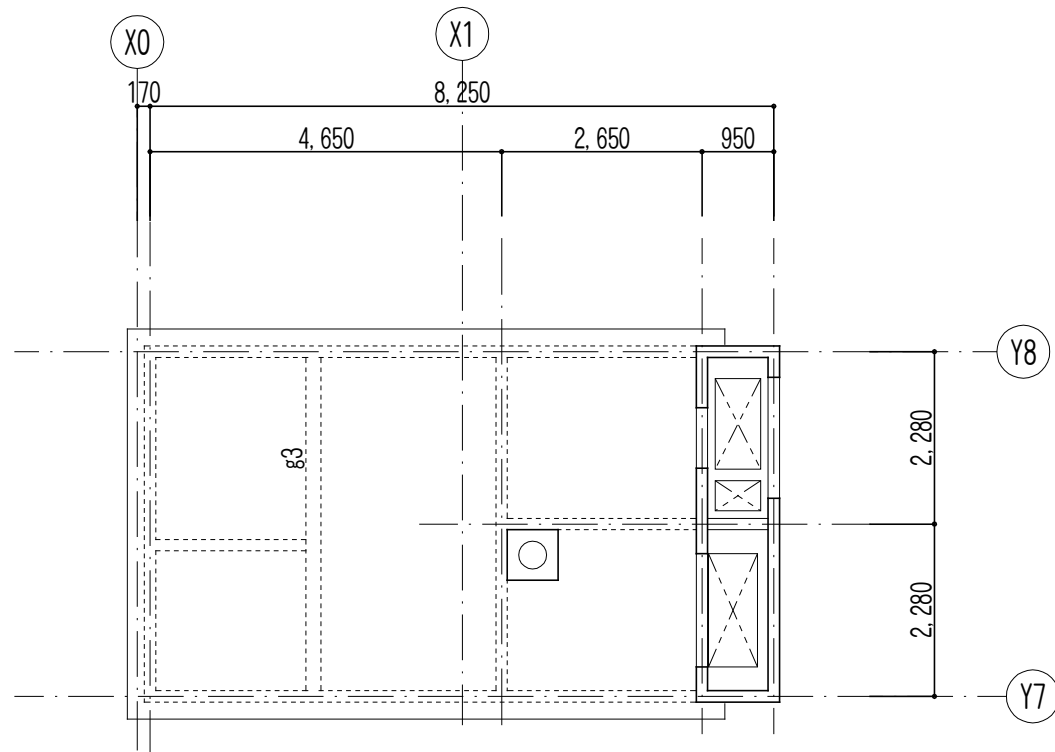




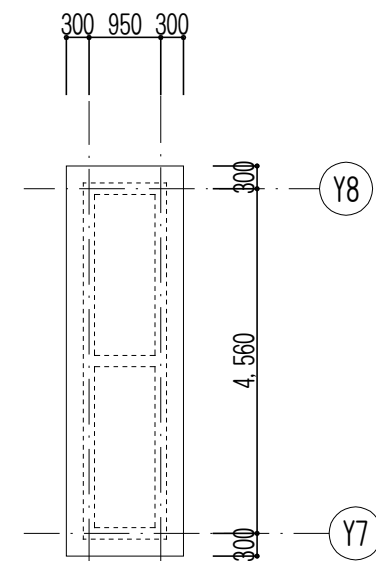


基礎伏図 1:100

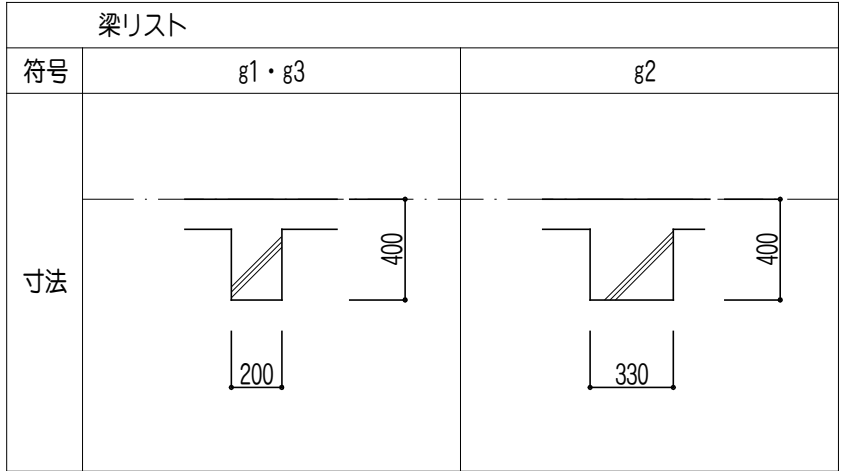
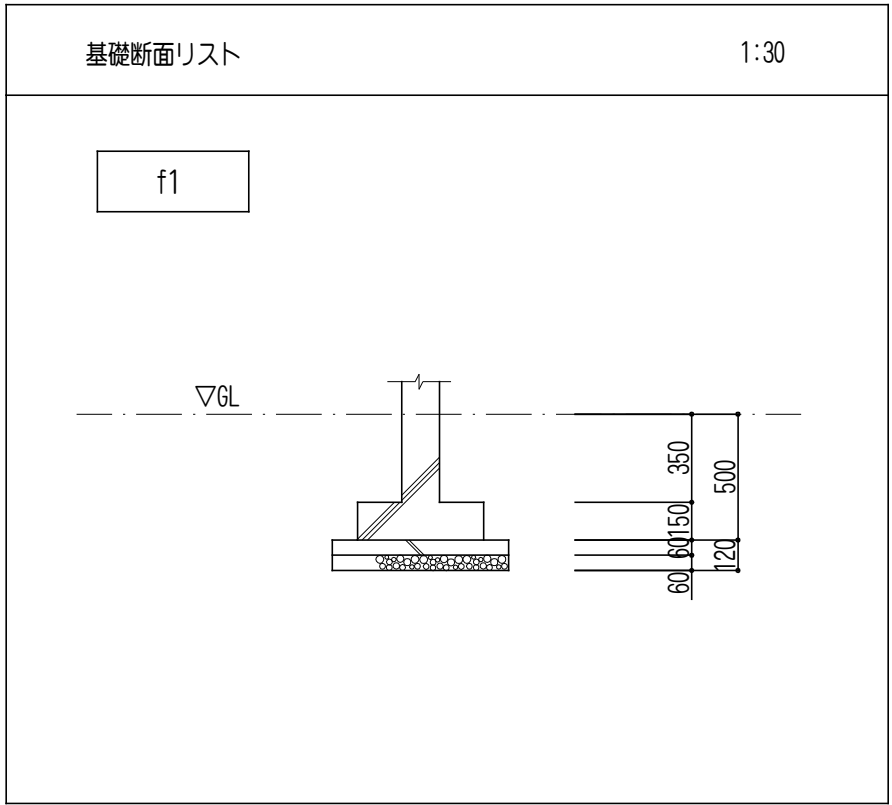
杭要領	
○	ACR Ⅱ 350Φ、5m、6本



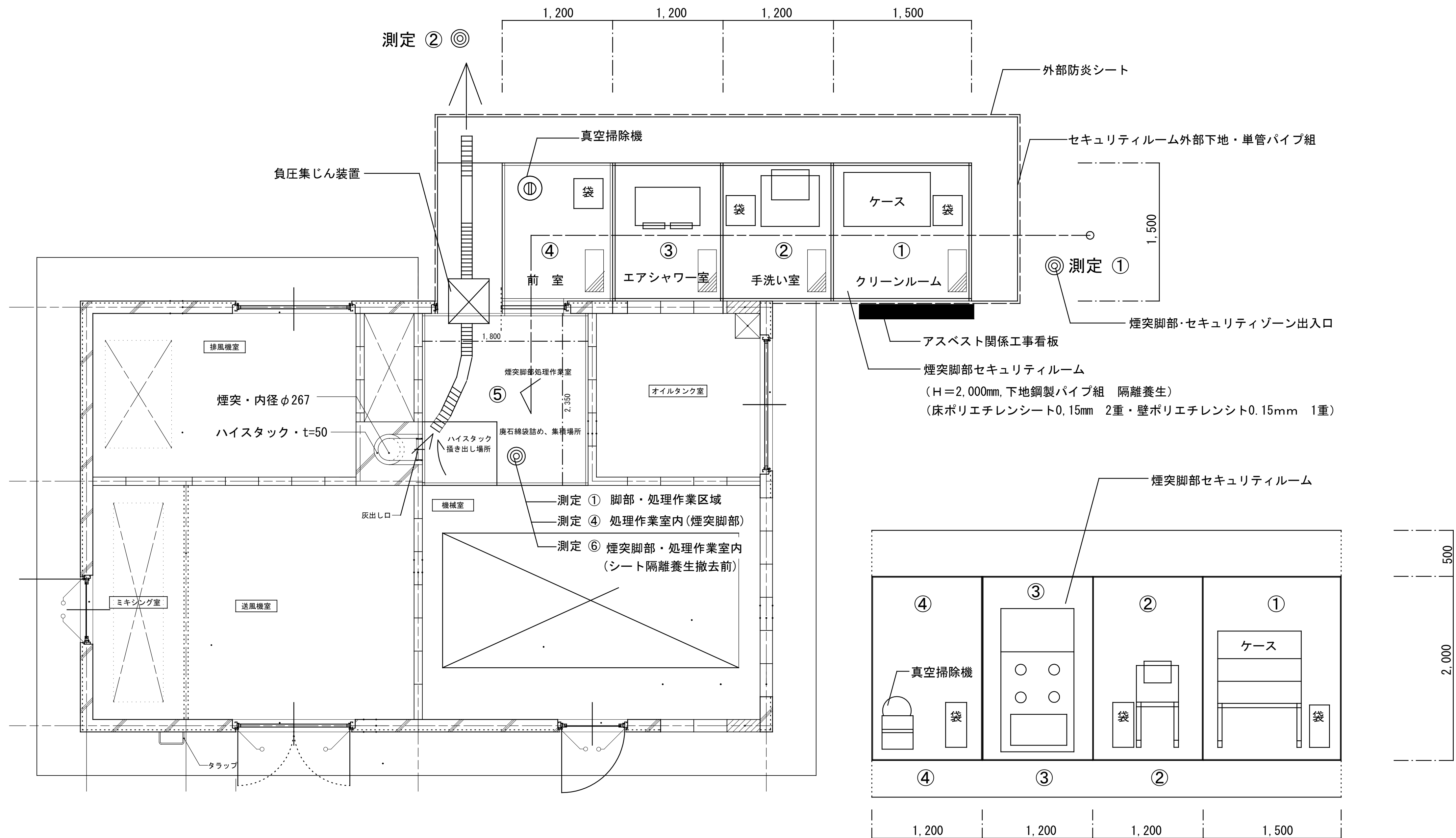
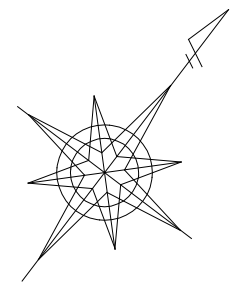
2階伏図 1:100



R階伏図 1:100



壁
コンクリート 0+7 B欄 390×190×150



凡例  
(セキュリティルーム詳細)  
(H=2,000mm, 下地鋼製パイプ組 隔離養生)  
(床ポリエチレンシート0.15mm 2重・壁ポリエチレンシート0.15mm 1重)

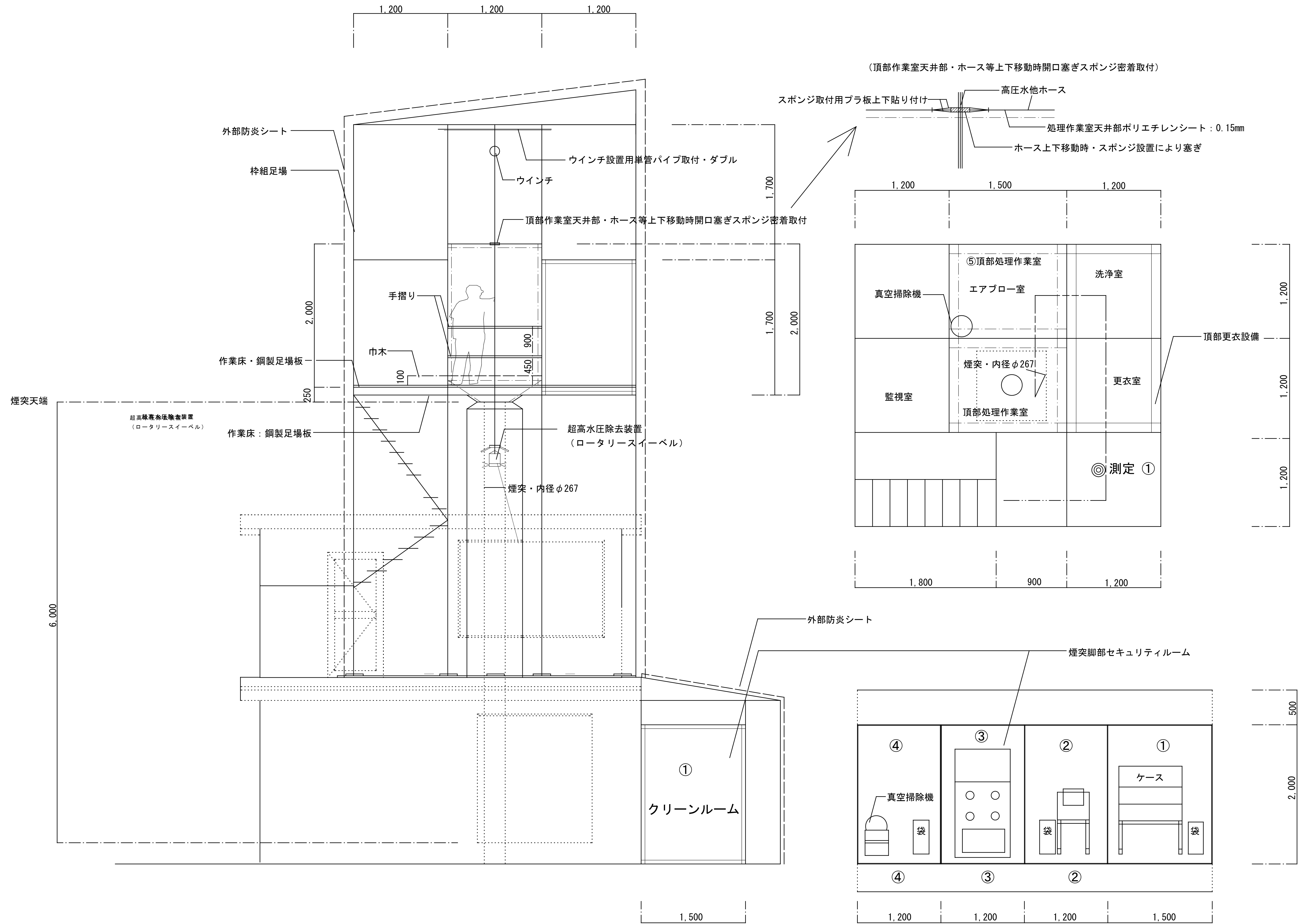
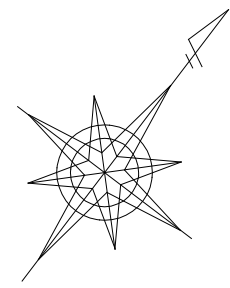
①	クリーンルーム
②	手洗い室
③	エアシャワー室
④	前 室
⑤	処理作業室

凡例

	石綿粉じん濃度測定詳細	
処理作業中	◎ 測定 ①	煙突脚部・頂部、セキュリティゾーン出入口
	◎ 測定 ②	負圧除じん装置の排出吹出し口
	◎ 測定 ③	処理作業室外・(敷地境界付近)
処理作業後	◎ 測定 ④	煙突脚部・処理作業室内(シート隔離養生撤去前)

煙突脚部仮設計画図 1/30

仮設計画不要



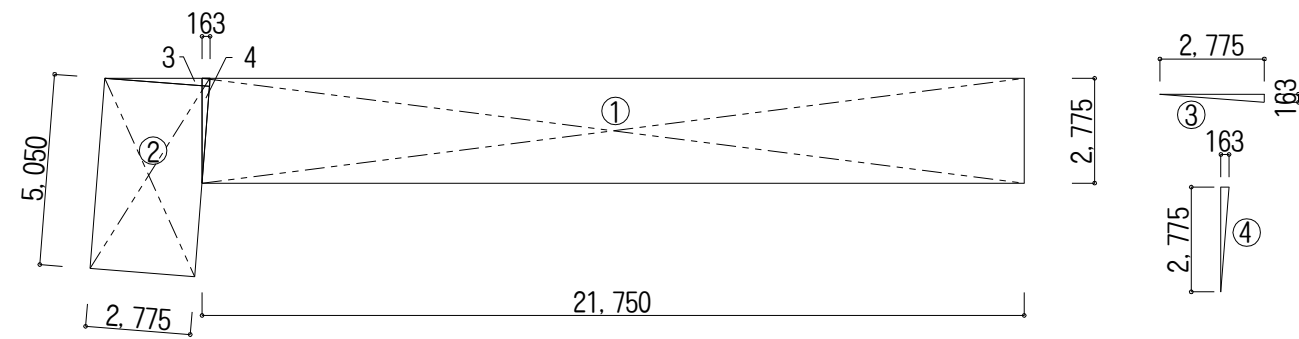
煙突頂部仮設計画図 1/30

仮設計画不要

総尺  
A1 (100%)  
A3 (50%)

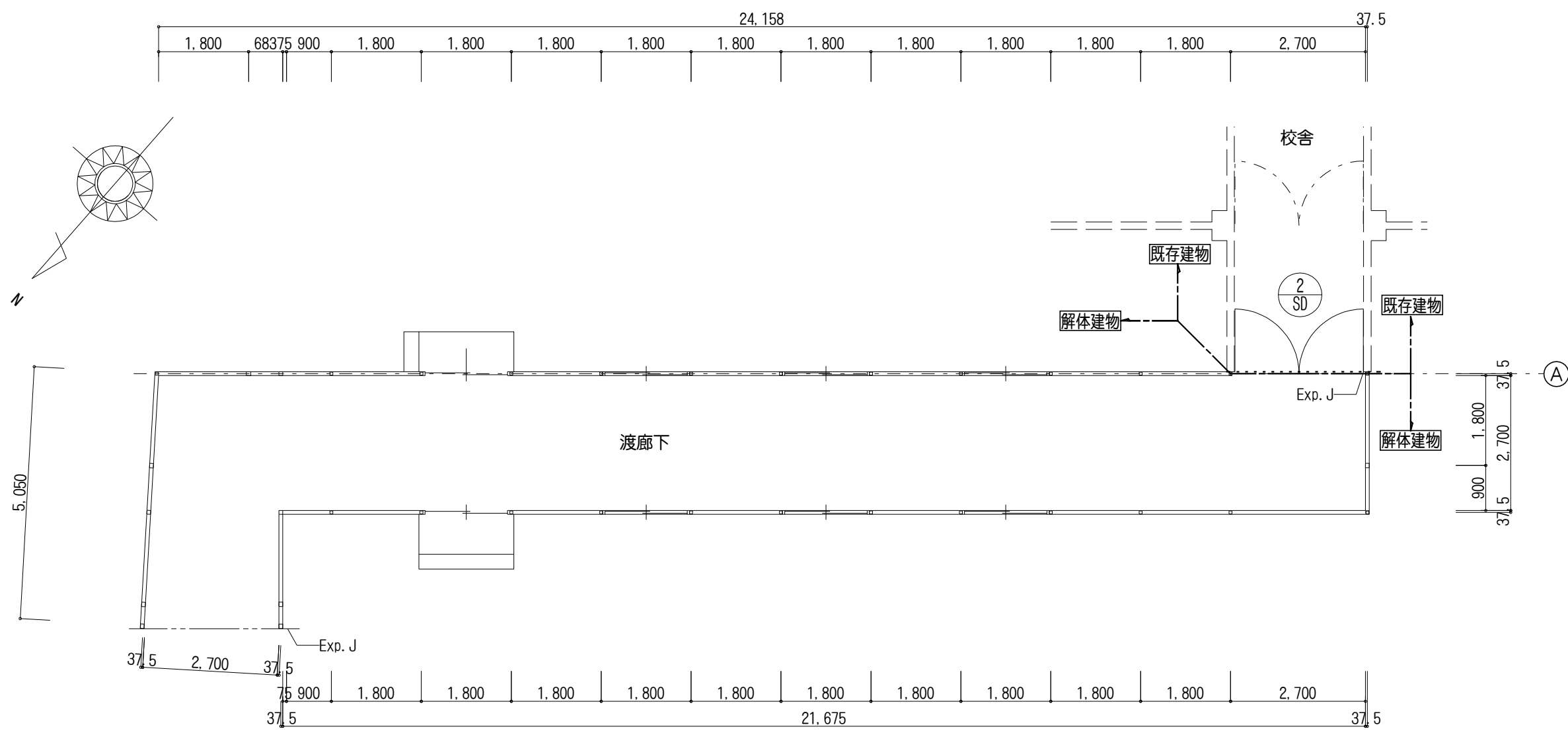
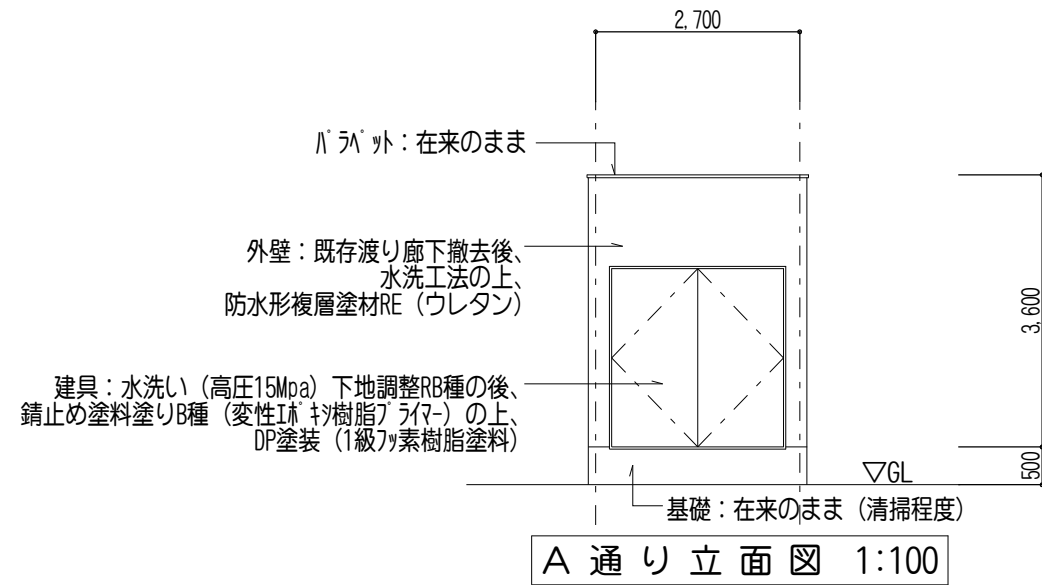
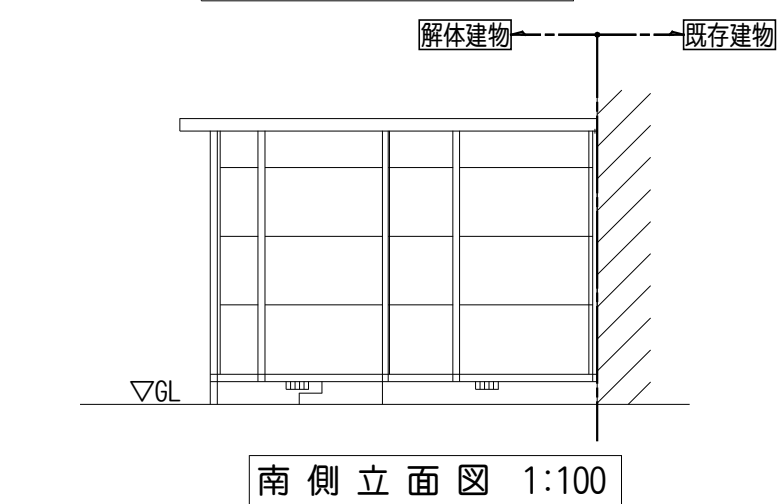
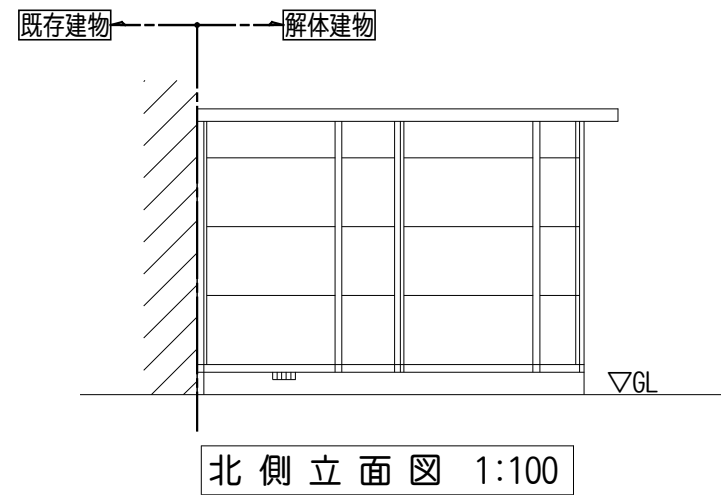
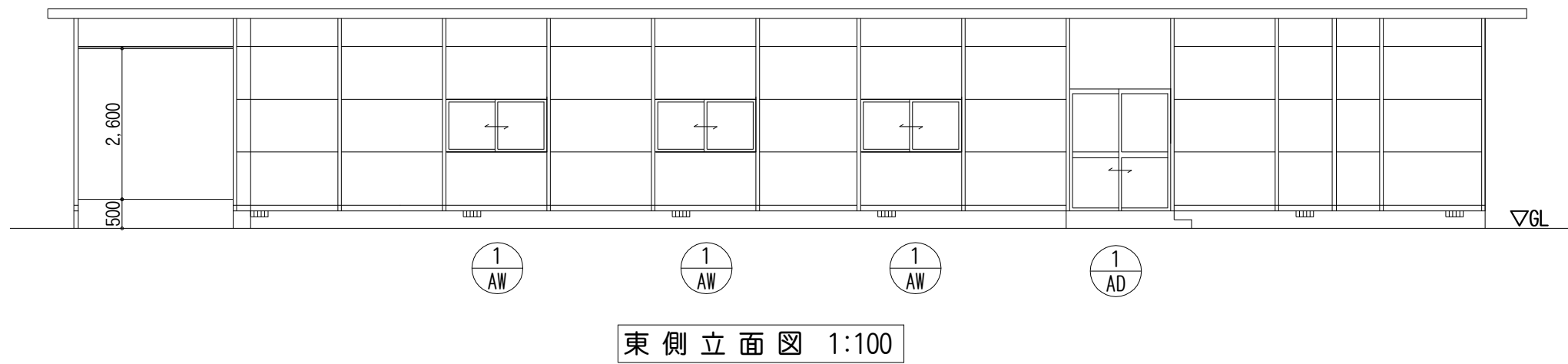
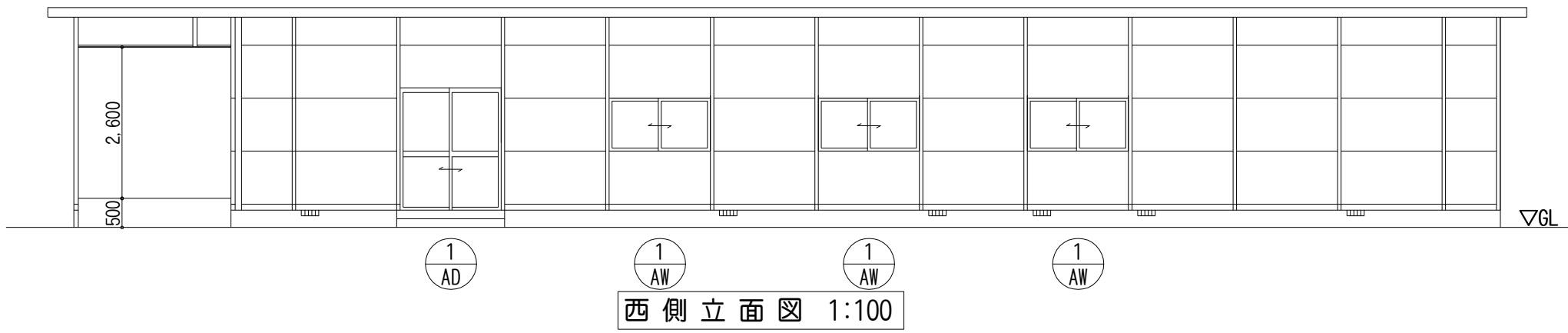
外部仕上表	
屋 根	ガルバリウム鋼板 t=0.6 折板葺 (キャップ付)
外 壁	イソバンドパネル
根廻り	コンクリート打放し

内部仕上表				
室 名	床		巾木	壁
渡り廊下	ラワン合板 t=12 下地 長尺塩ビシート t=2.0		木製巾木 OP塗	イソバンドパネル表
① AW	W1,680×H818×6	① AD	W1,680×H1,992×2	

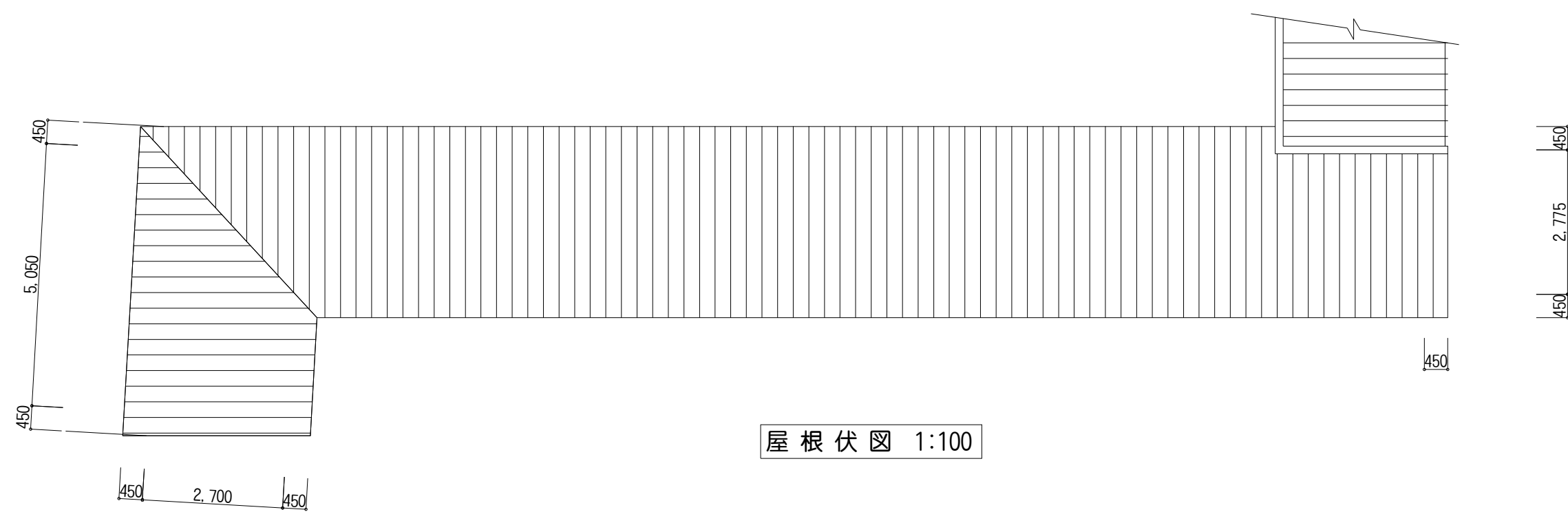


求 積 図 1:200

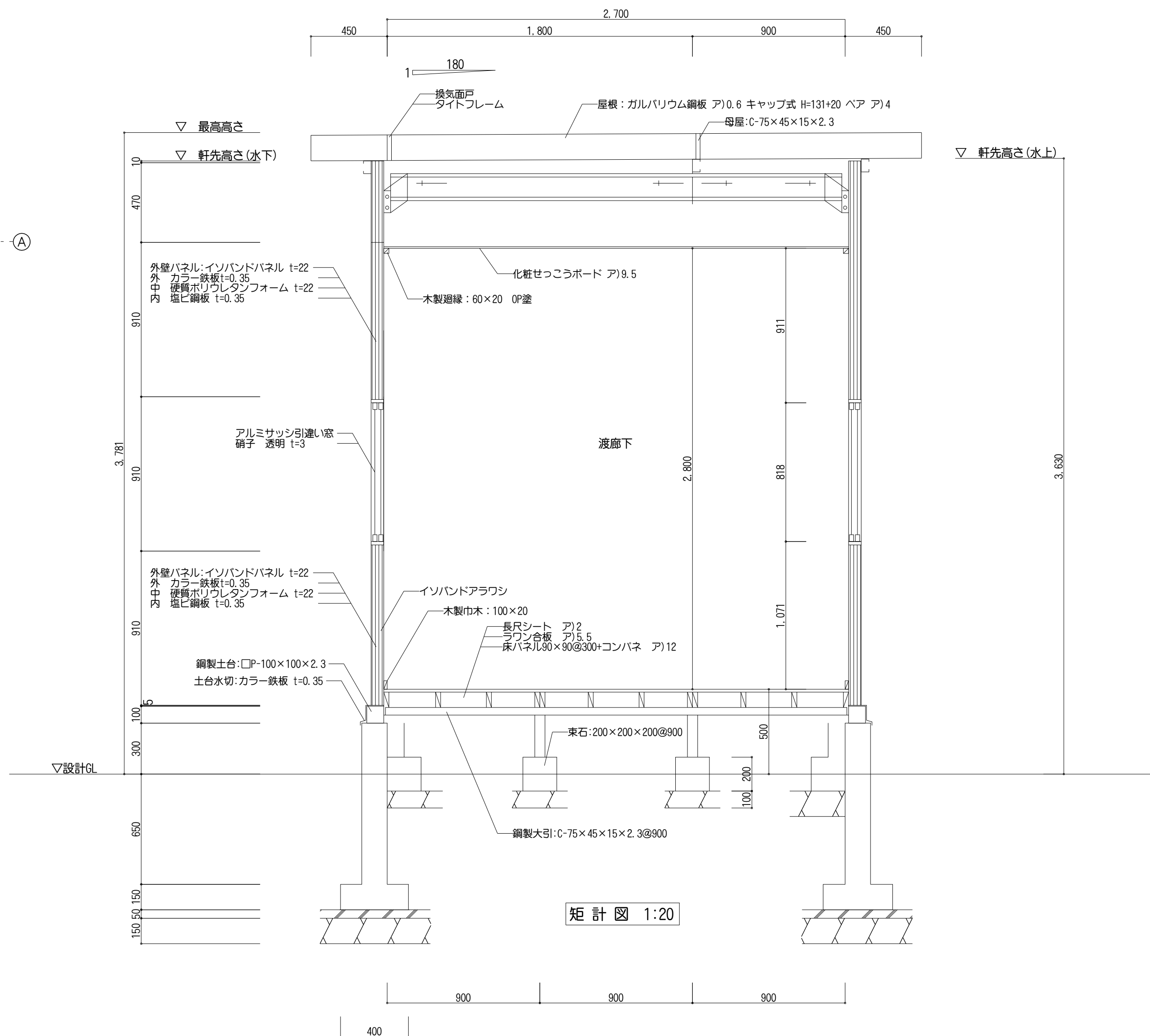
【面積算定表】					
①	21.75	×	2.775	=	60.36
②	2.775	×	5.05	=	14.01
③	2.775	×	0.163	÷ 2 =	0.23
④	2.775	×	0.163	÷ 2 =	0.23
延べ床面積計 (㎡)	① + ② + ③ - ④				74.37
建築面積計 (㎡)					74.37



平面図 1:100



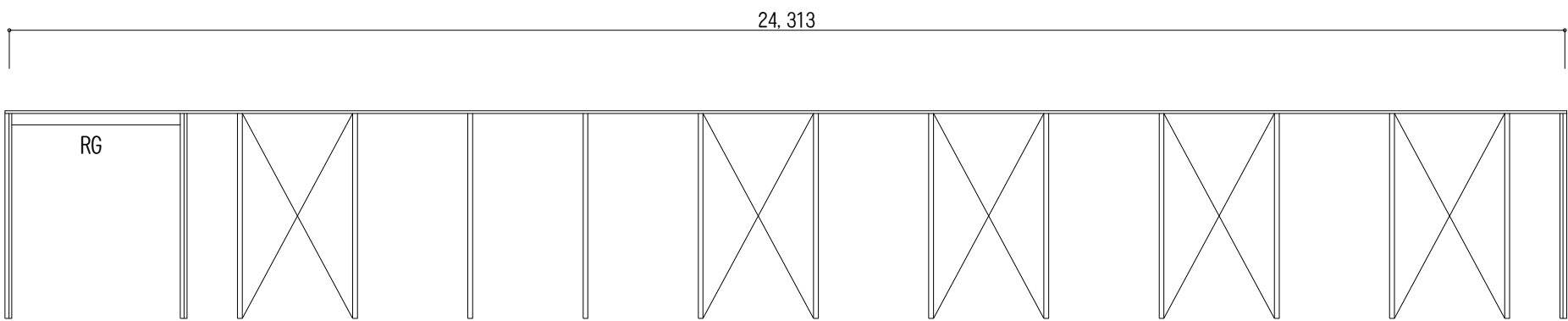
屋根伏図 1:100



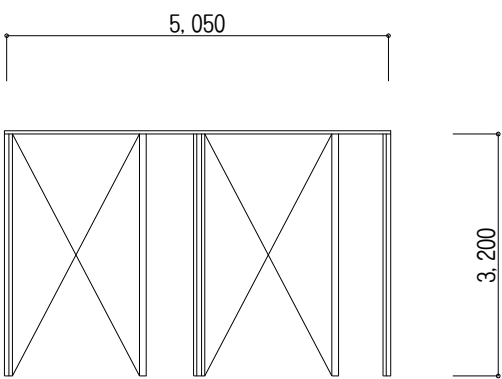
矩 計 図 1:20

符号、本数	② SU	塗装改修	1ヶ所
姿 図			
使用場所	渡り廊下		
形 式	スチール製両開き戸 (防火戸、煙感連動式、戸袋付)		
硝子・仕上	DP (両面・枠共)		
見 込	枠見込 100 ﾄﾞﾌﾞ見込 40		
金 物 その他	ﾄﾞﾌﾞﾌﾞﾗｯｸ、ﾍﾞｰｽﾄｯﾄﾞﾙ、ｽﾃｰﾙﾏｯﾁ 付属金具一式		

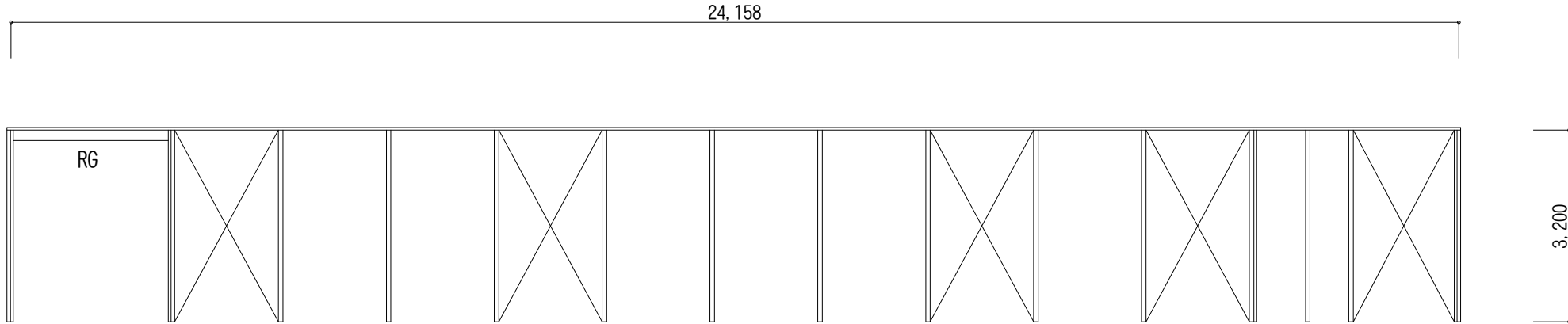
総尺  
A1 (100%)  
A3 ( 50%)



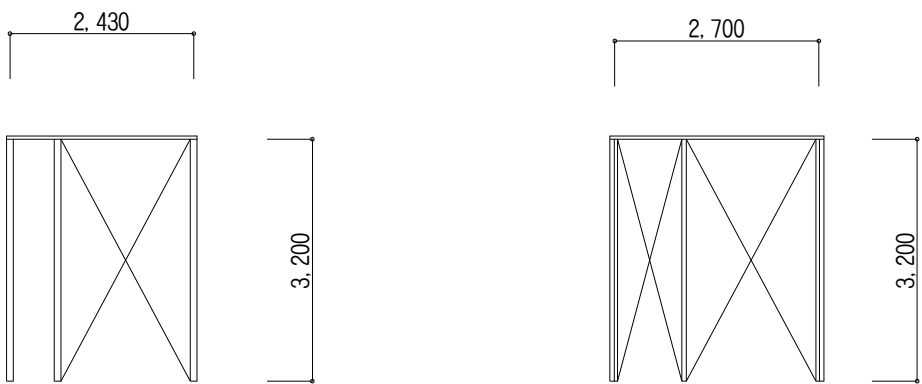
西側軸組図 1/100



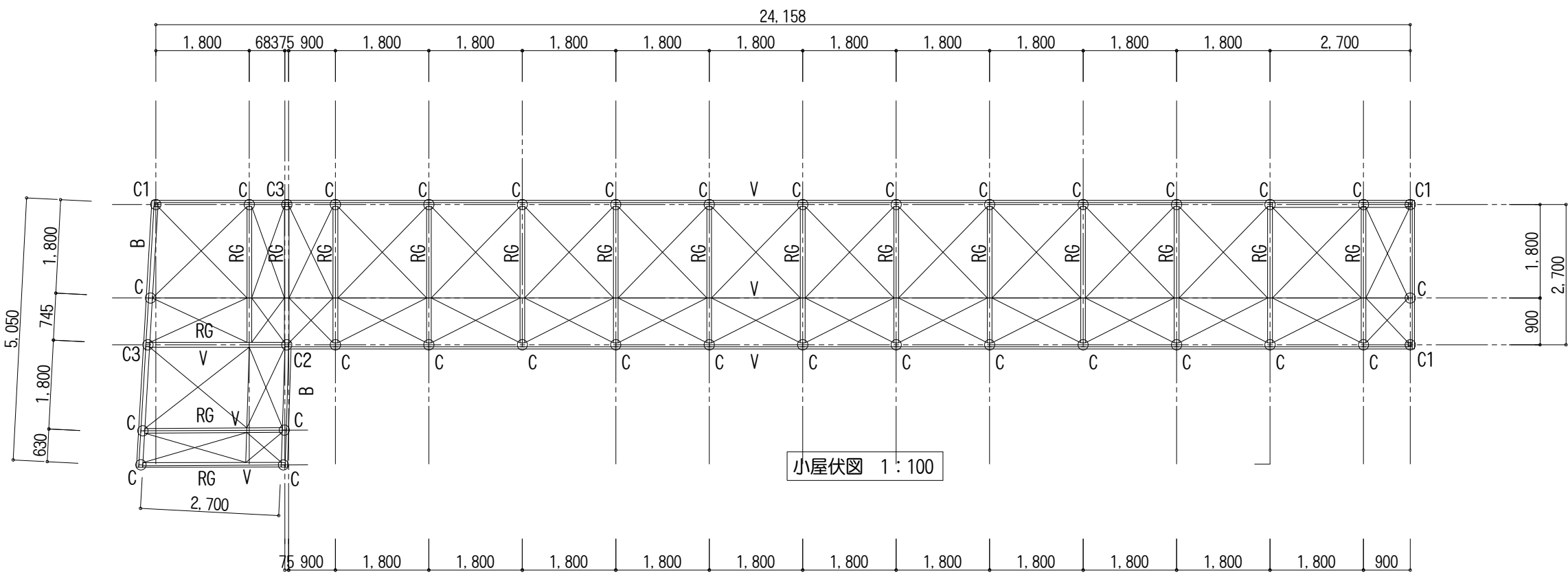
北側軸組図 1/100



東側軸組図 1/100



南側軸組図 1/100



小屋伏図 1:100

部材リスト

C	工	H-75×90×15×3.2
C1	ㄣ	□-60×60×1.6 2C-75×45×15×2.3
C2	ㄣ	□-75×75×2.3 2C-75×45×15×2.3
C3	工	□-75×75×2.3 2C-75×45×15×2.3
RG	工	LH-175×90×3.2×4.5 2-M12
土台	□	□-100×100×2.3
V、B	ㄣ	C-75×45×15×2.3
ブレース	○	小屋:M10 壁:M12・M16

符号、本数	①	3ヶ所	②	3ヶ所
姿 図				
使用場所	倉庫		倉庫	
形 式	アルミ製引違戸		アルミ製引違窓	
硝 子	フロート t=5 膜:アルミバネル		フロート t=5	
仕 上	シルバー		シルバー	
見 込	70		70	

総尺  
A1 (100%)  
A3 (50%)

年 月 日					担 当
R8. 4.					

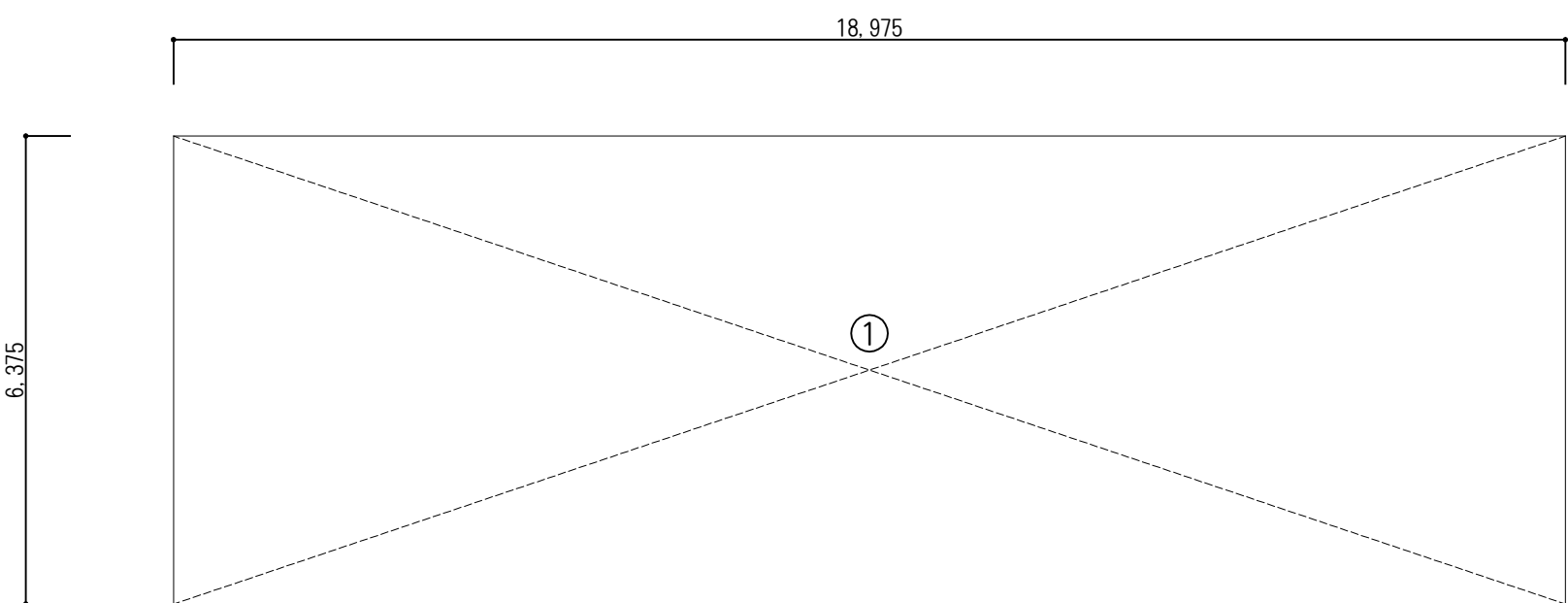
工 事 名 称	木ノ下中学校講堂解体工事
図 面 名	【渡り廊下】 軸組図・小屋伏図・部材リスト・建具表

No.	3102	建
-----	------	---

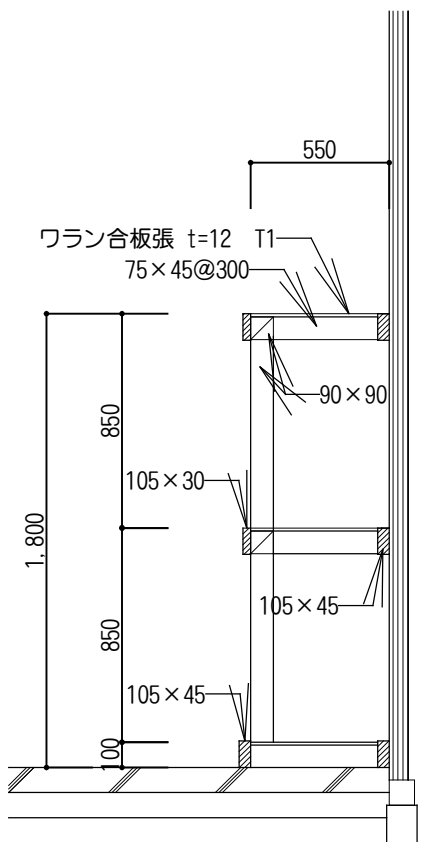


倉庫

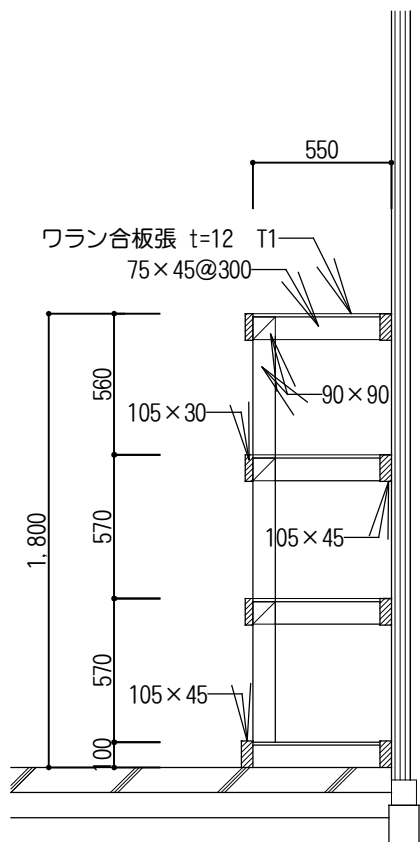
外部仕上表		内部仕上表	
屋 根	ガルバリウム鋼板 ア)0.6 キャップ式 H=151	床	土間コンクリート金ゴテ仕上 t=100
外 壁	イソバンドパネル t=22	壁	内壁表し 外部パネル内側 カラー鉄板 t=0.35
	外側・内側：カラー鉄板 t=0.35 内部：硬質発砲ポリウレタンフォーム t=22	天 井	折折表し（裏打ち有）
建 具	アルミサッシ 引違い戸・引違い窓 硝子：透明 ア)3.0 下部：すじパネル	① AW	W1,680×H818×3
水切り	カラー鉄板 t=0.35	① AD	W1,680×H1,992×3
		① SS	W1,680×H2,680×1



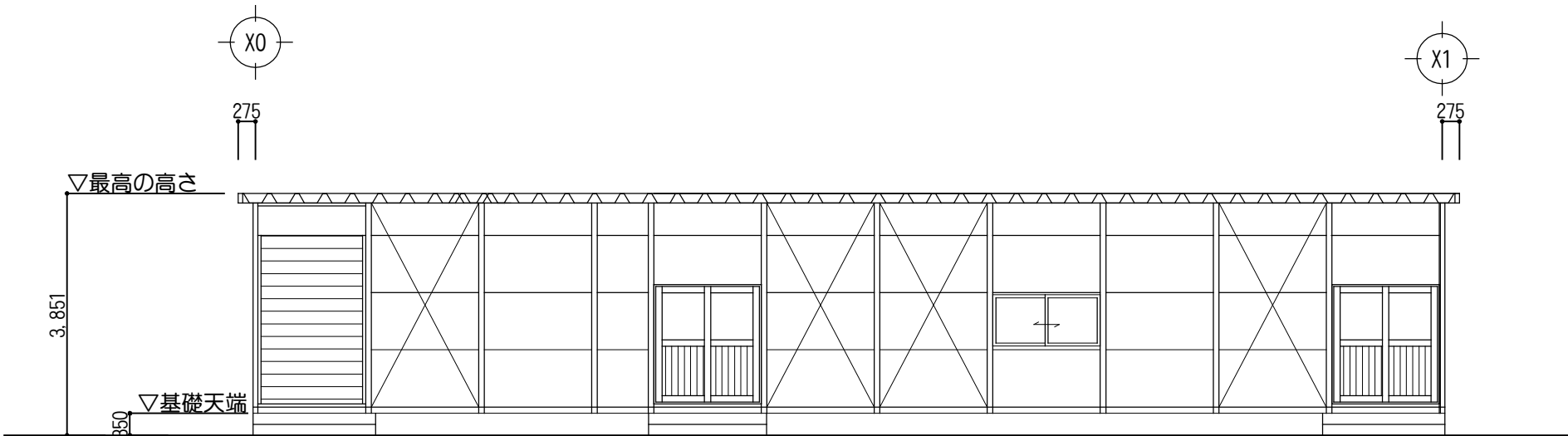
【面積算定表】					求 積 図 1:100
①	18,975	×	2,80	=	120,97
延べ床面積計 (㎡)					120,97
建築面積計 (㎡)					120,97



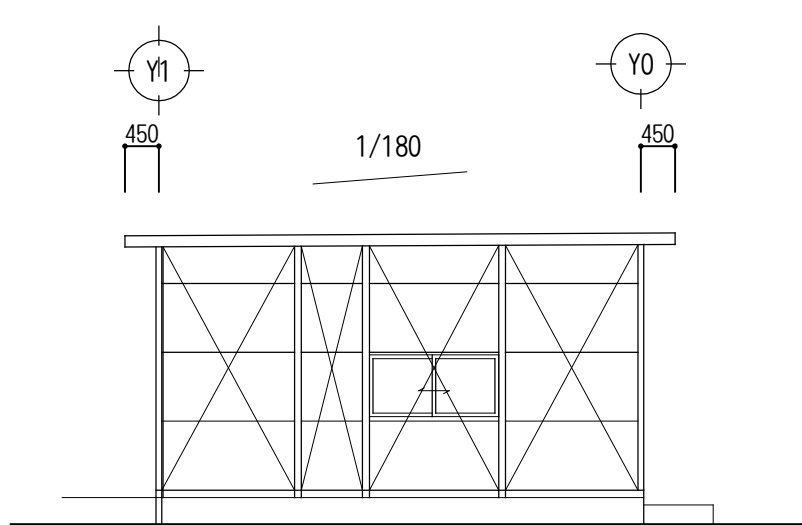
木製棚 (2段) 断面図 1:30



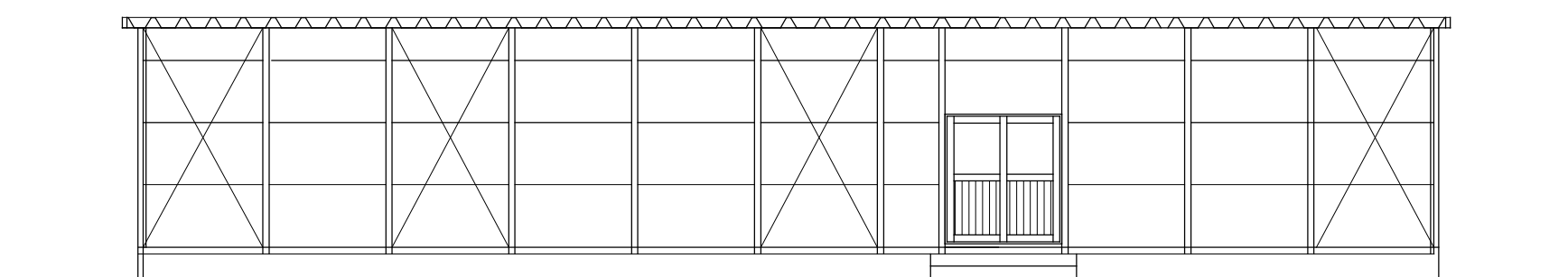
木製棚 (3段) 断面図 1:30



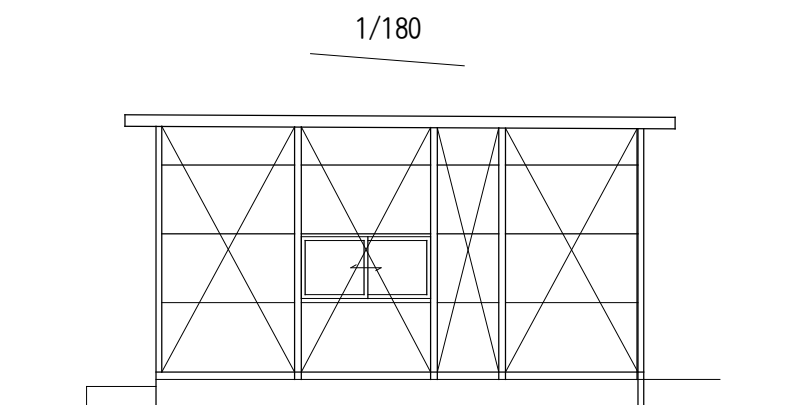
Y0通り 立面図 1:100



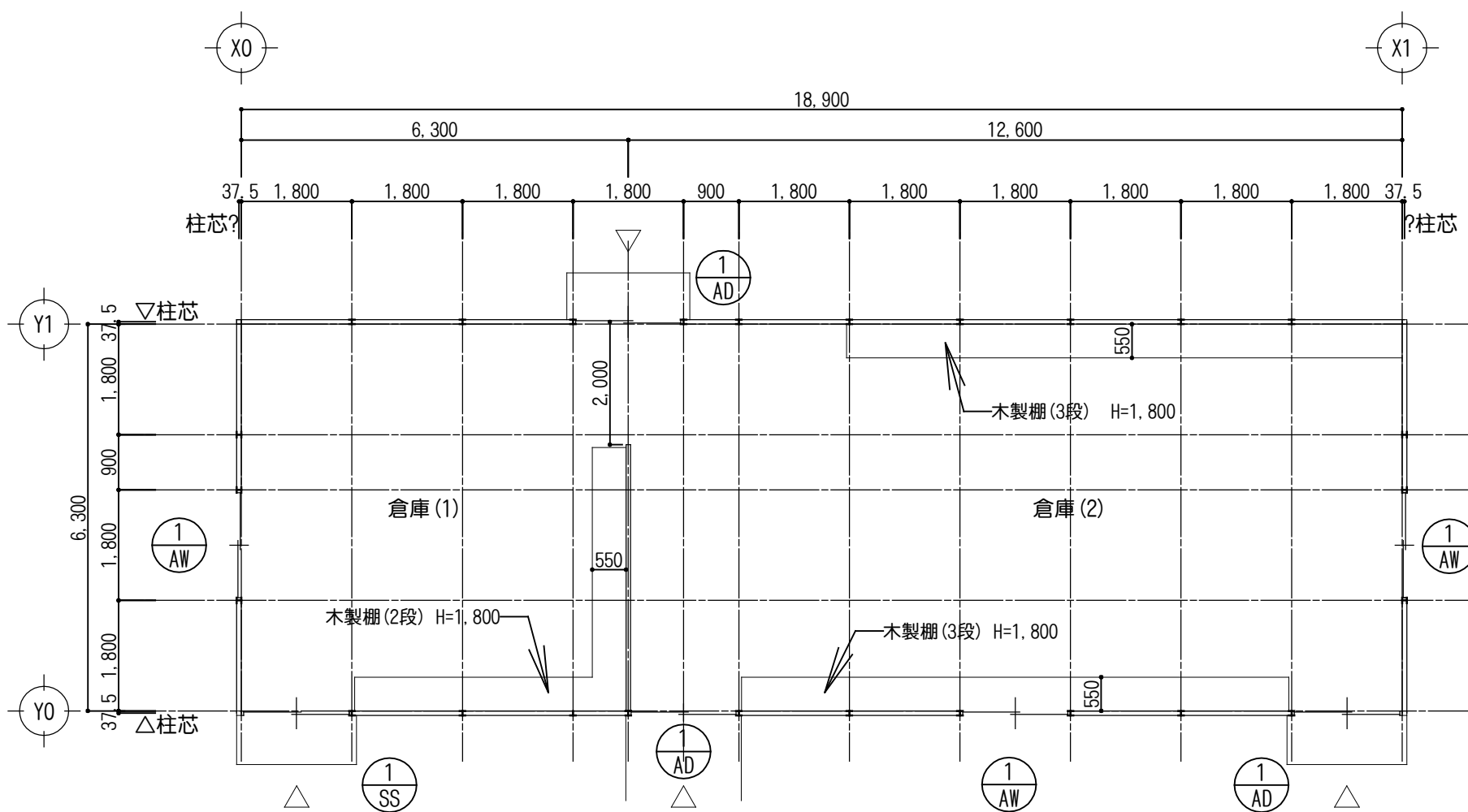
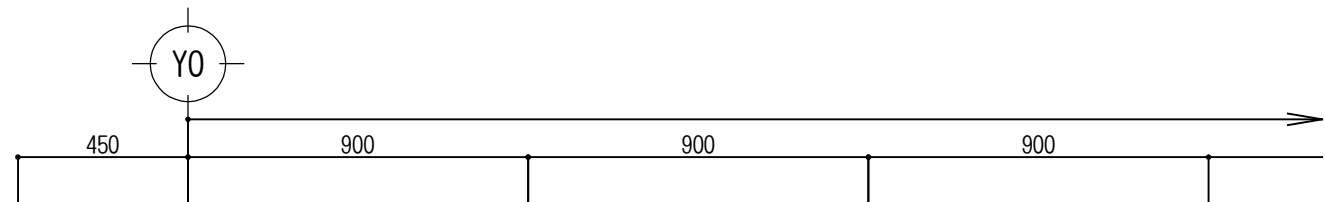
X0通り 立面図 1:100



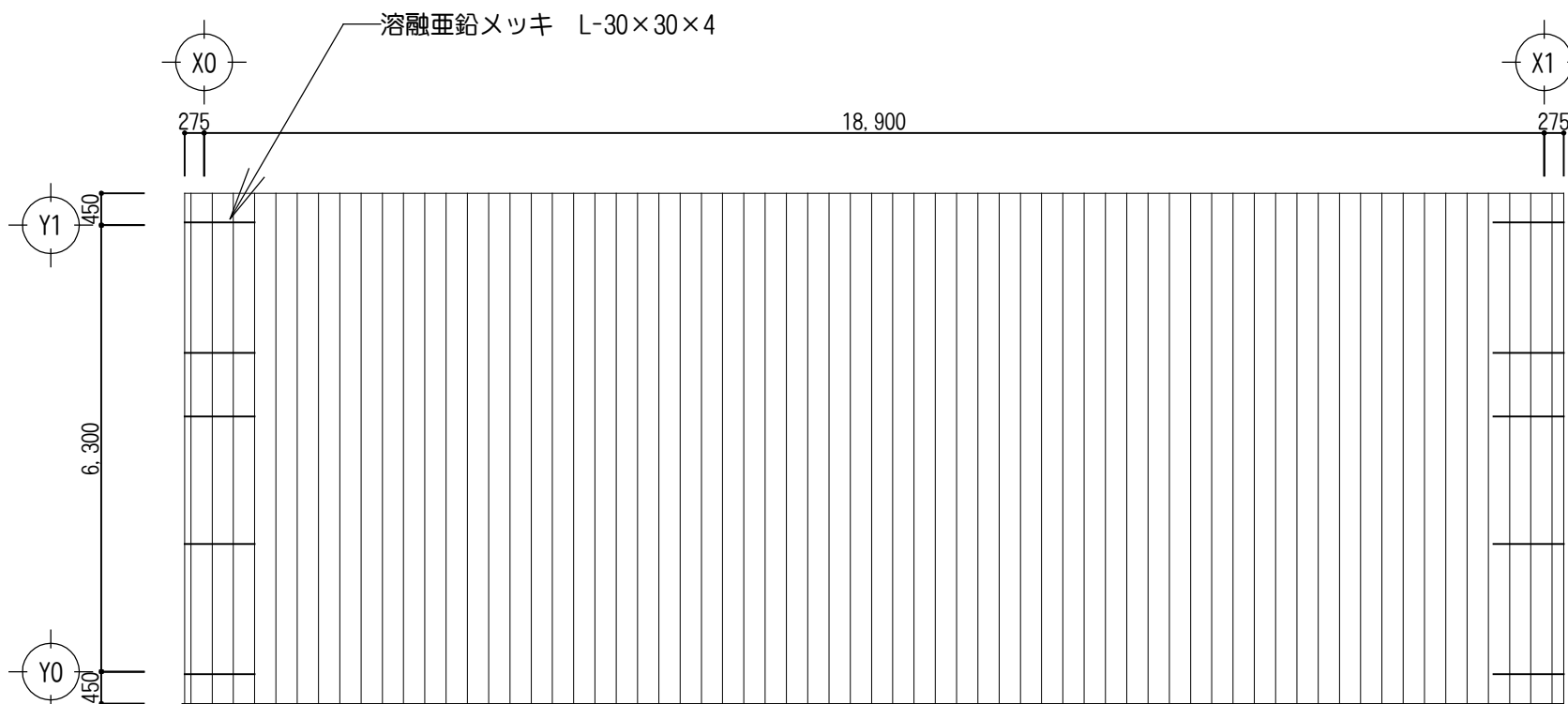
Y2通り 立面図 1:100



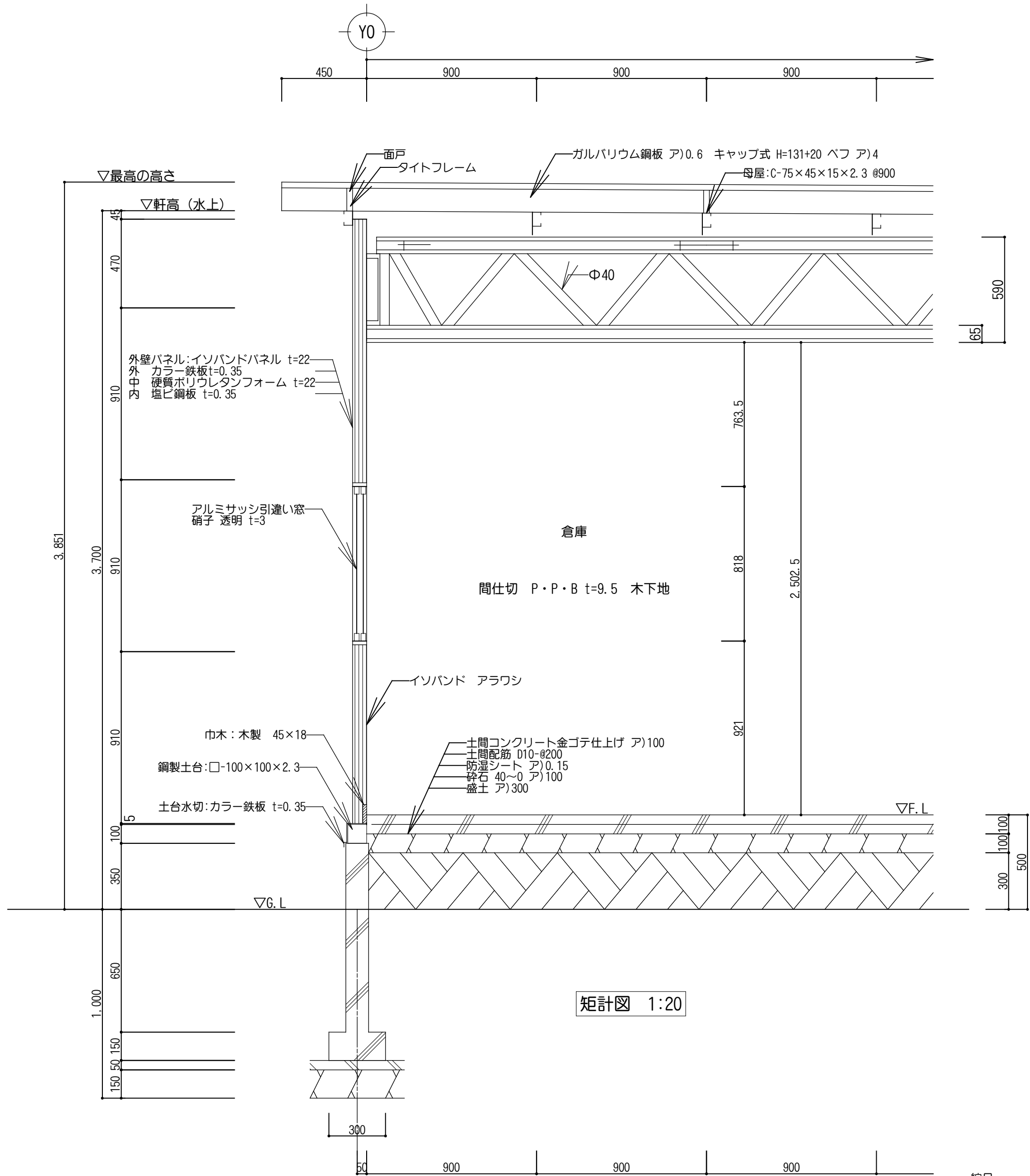
X1通り 立面図 1:100



平面図 1:100



屋根伏図 1:100



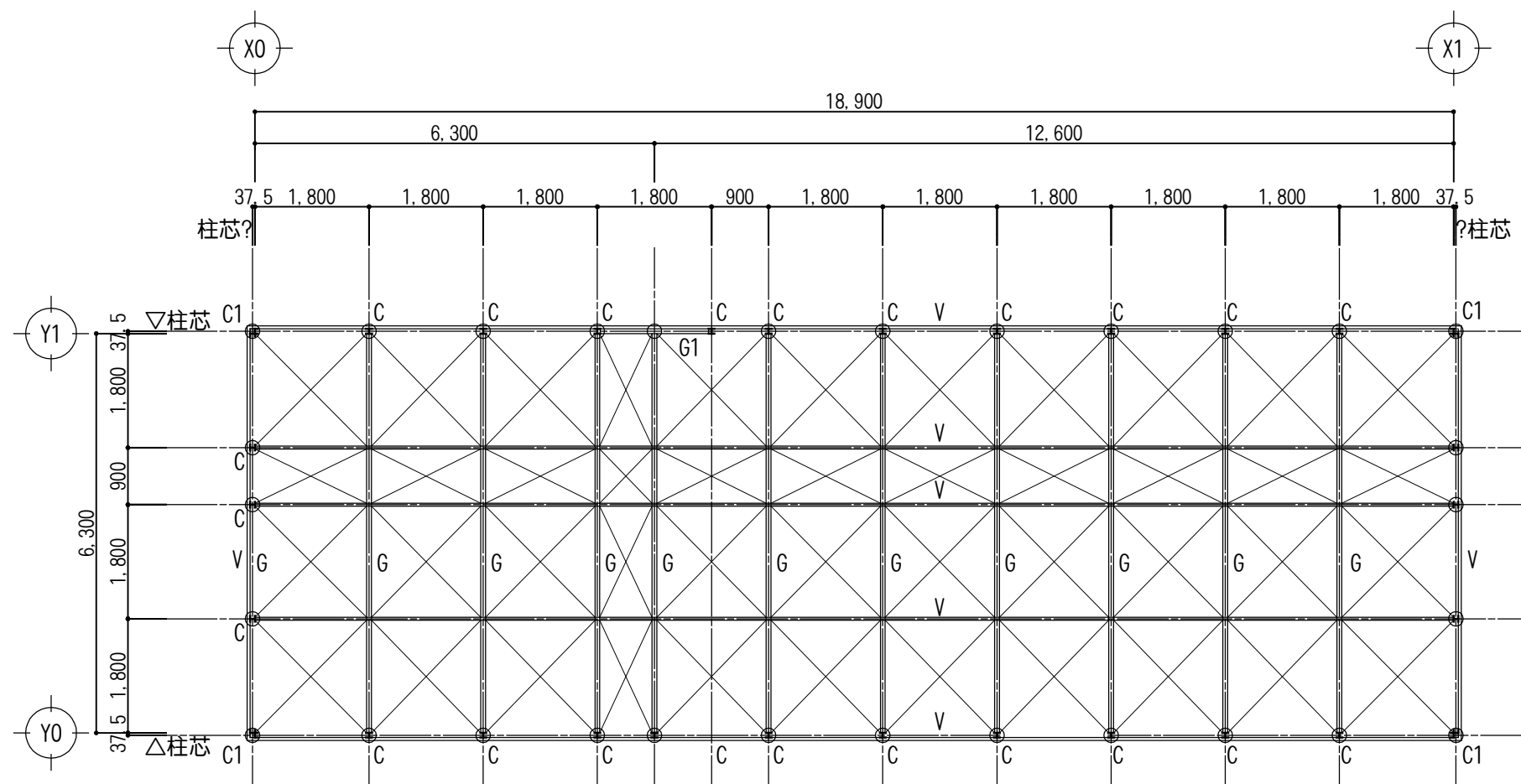
矩計図 1:20

縮尺  
A1: 100%  
A3: 50%

年 月 日	部 長	課 長	担 当
R 8 . 4 .			

工 事 名 称	木ノ下中学校講堂解体工事
図 面 名	倉庫 (仕上表・面積表・平面図・立面図・矩計図・屋根伏図・部分詳細図)

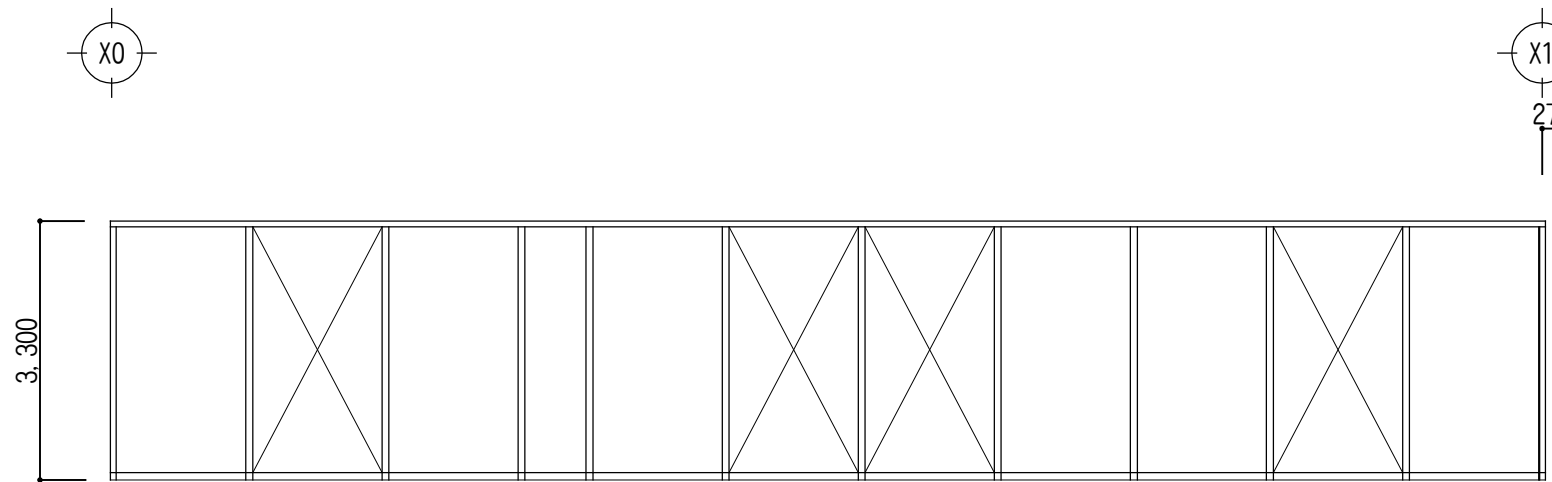
No. 4101 建



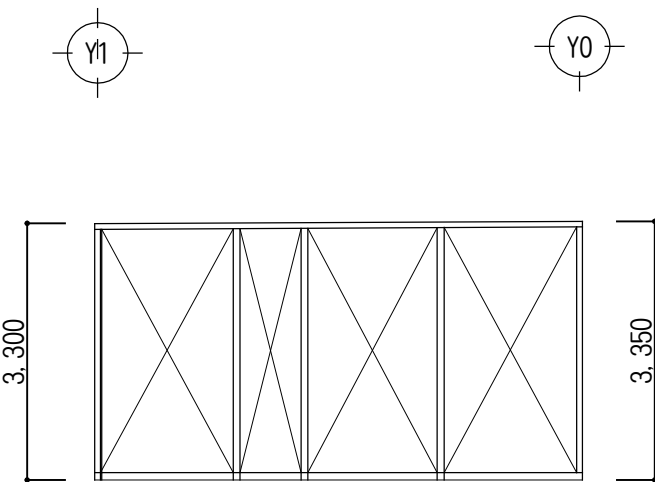
平面図 1:100

部材リスト

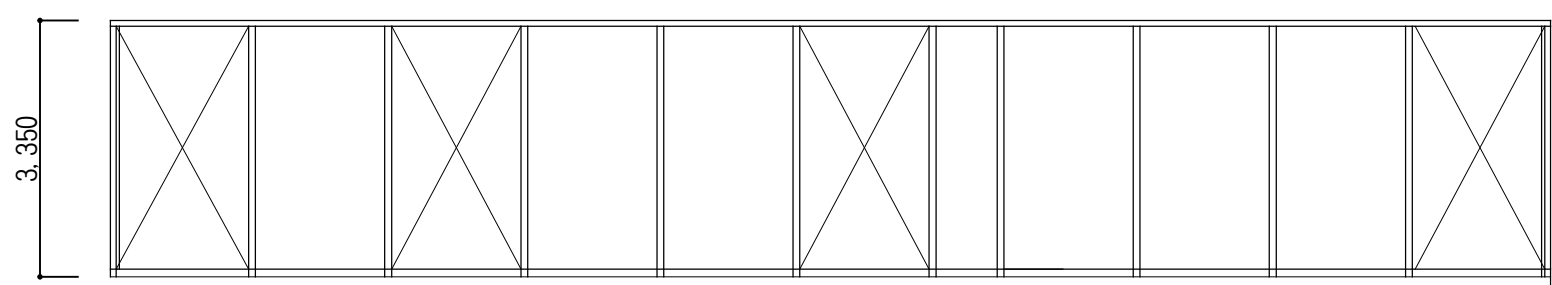
C		H-75×90×15×3.2
C1		□-75×75×2.3 2C-75×45×15×2.3
G		上・下弦材：2C-75×45×15×2.3 繋ぎ材・斜材：40Φ
G1		上・下弦材、繋ぎ材：□-65×65×2.3 斜材：40Φ
土台		□-100×100×2.3
V、B		C-75×45×15×2.3
ブレース		小屋:M10 壁:M12・M16



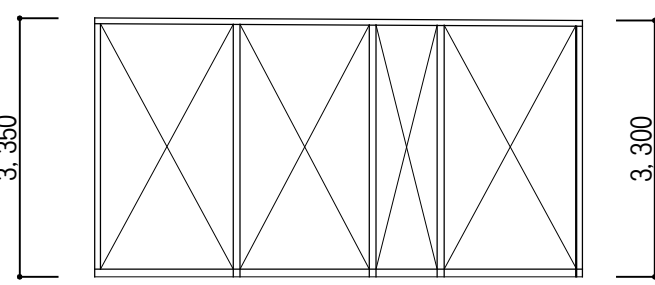
Y0通り 軸組図 1:100



X0通り 軸組図 1:100



Y2通り 軸組図 1:100



X1通り 軸組図 1:100

符号、本数	(A1) 3ヶ所	(B1) 3ヶ所	(A2) 各戸1ヶ所 計24ヶ所
家図			
使用場所	倉庫	倉庫	倉庫
形 式	アルミ製引違い戸	アルミ製引違い窓	スチール製シャッター
箇 子	フロート t=5 膜:アルミ/パネル	フロート t=5	
仕 上	シルバー	シルバー	カラー鋼板
見 込	70	70	

縮尺  
A1: 100%  
A3: 50%

木ノ下中学校講堂解体工事

特記仕様書（電気設備）

I. 工事概要

1. 工事場所

特記仕様書（建築工事）による。
2. 敷地面積

特記仕様書（建築工事）による。
3. 工事種目

1）講堂

電気設備

取りこわし一式

2）附属棟（渡り廊下、機械室、倉庫）

電気設備

取りこわし一式

3）外構

電気設備

取りこわし一式

II. 工事仕様

1. 共通仕様
- 特記仕様書（建築工事）による。
2. 特記仕様（●印のものを適用し、○印のものは適用しない）
- （1）一般共通事項

● 発生材の種類、処理等は工事補足説明事項による。

● 分析調査

○ 有り

○ 微量PCB含有調査（

）

○ アスベスト含有調査（

）

○

● 無し（解体共通仕様書による「施工調査」の結果、分析調査の必要が生じた場合は監督職員と協議すること。）

（2）取りこわし内容

● 図示された機器類、配管配線、ケーブルの解体を行う。（地下埋設物、埋設配管を含む）

● 下記の廃棄物等及び機器類は内外装材の解体前に取外し又は回収する。

これ以外の配管配線、機器類はコンクリート及び内外装材と同時に解体してよい。

1）廃棄物等（「施工調査」の結果、●印以外の廃棄物等が確認された場合は監督職員と協議すること。）

再資源化を図るもの

○ 小型二次電池

● 蛍光灯及びH I ドランプ（水銀リサイクル共）

○

特別管理産業廃棄物

○ アスベスト含有材（○

）

○ PCB含有機器（○蛍光灯安定器○変圧器○

）

○ 廃油（○

）

○ 廃アルカリ（○アルカリ蓄電池○

）

特殊な建設副産物

○ イオン化式感知器

○ 六ふっ化硫黄（SF6）ガス（○ガス絶縁開閉器○

）

2）機器類

○ 変変電盤

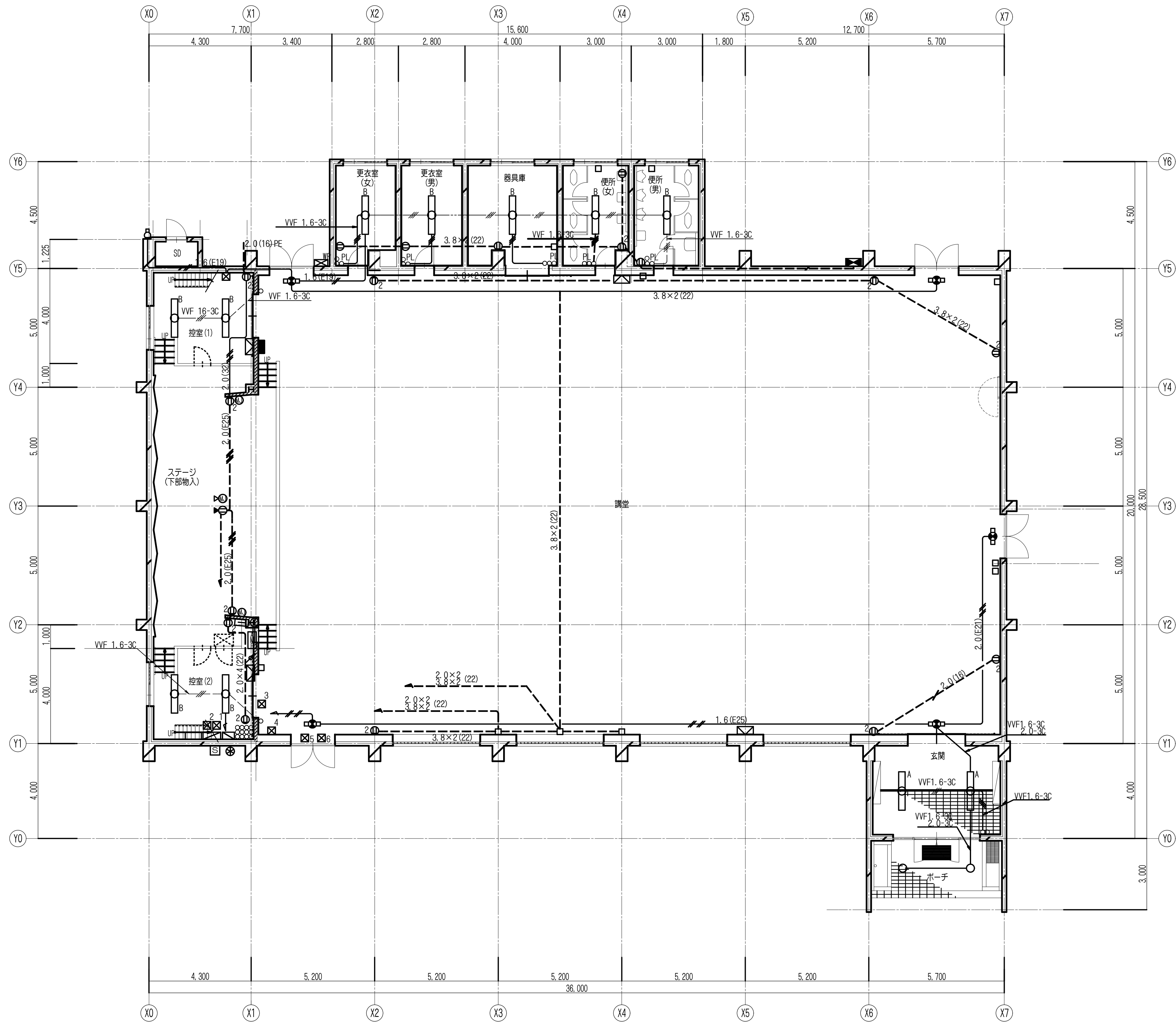
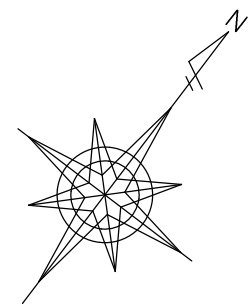
○ 直流電源装置

○ 発電装置

縮尺  
A1：100%  
A3：50%

		年	月	日	部 長	課 長	担 当	工 事 名 称	木ノ下中学校講堂解体工事	No. 0201 / 電
		R 8 .	4 .					図 面 名	特記仕様書（電気設備）	





1階電灯・幹線・コンセント設備図 1:100

凡 例	
記 号	仕 上
	蛍光灯 FL40W×1
	蛍光灯 FL40W×1
	蛍光灯 FL40W×2 V型
	蛍光灯 FL40W×2 両反射笠付
	蛍光灯 FL20W×1 防雨型
	ダクトライト IL60W
	非常口灯 FL20W×1 壁付
	埋込コンセント 2P15A
	埋込コンセント 2P15A×2
	707-コンセント 2P15A
	コンセント 2P20A
	埋込スイッチ 1P10A
	バ イオト ラフ
	ゾ イト ル ヴァス
	プ ル ヴァス
	プ ル ヴァス 300×200
	プ ル ヴァス 200×150
	プ ル ヴァス 200×150
	プ ル ヴァス 200×200
	プ ル ヴァス 250×300
	プ ル ヴァス 250×200
	電灯分電盤 L-1 1Φ3W 225/175 MCB×(18×6) Ht. 550×W650×D180
	スィッチ 壁掛型 120W
	スィッチ 壁掛型 3W
	スイッチ 707-2475 ヴァグ
	端子盤 20P H400×W290×D110
	放送装置 60W
	制御盤
	配電盤
	時計 500Φ
	アテネター
	インバータ
	3W
	リモコン 5W×12
	電源切替開閉器 1LG-2 Ht. 1,000×W800×D200 1Φ3W 100/75 MCB×8回路 1L-MCB×4回路
	遠方操作盤 6回路 H500×W400×D150
	60/60 W330×H280×D220
	露出 管内
	隠ぺい 管内
	ころがし

縮尺  
A1: 100%  
A3: 50%

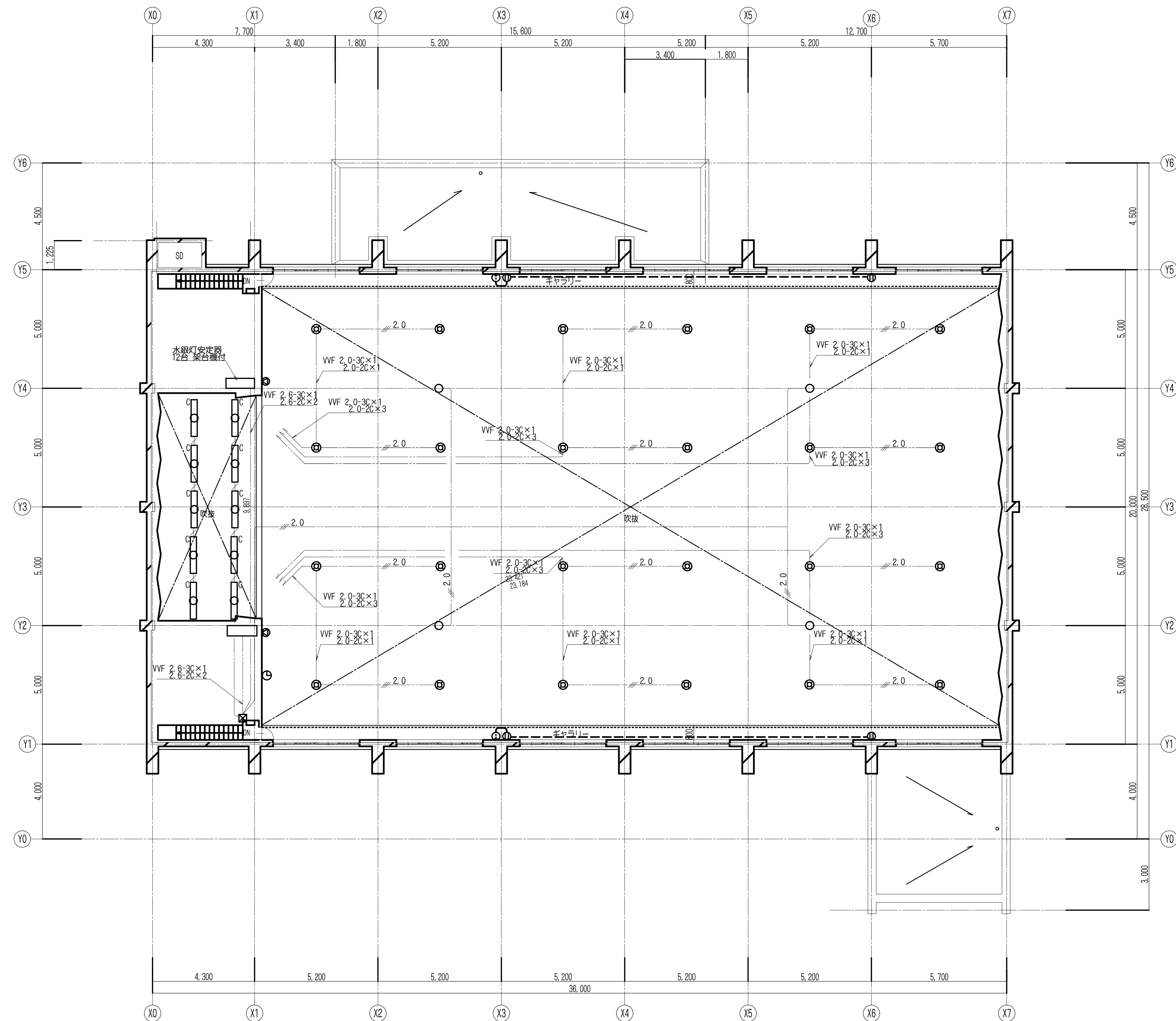
年 月 日  
R 8 . 4 .

部 長 課 長 担 当

工 事 名 称  
図 面 名

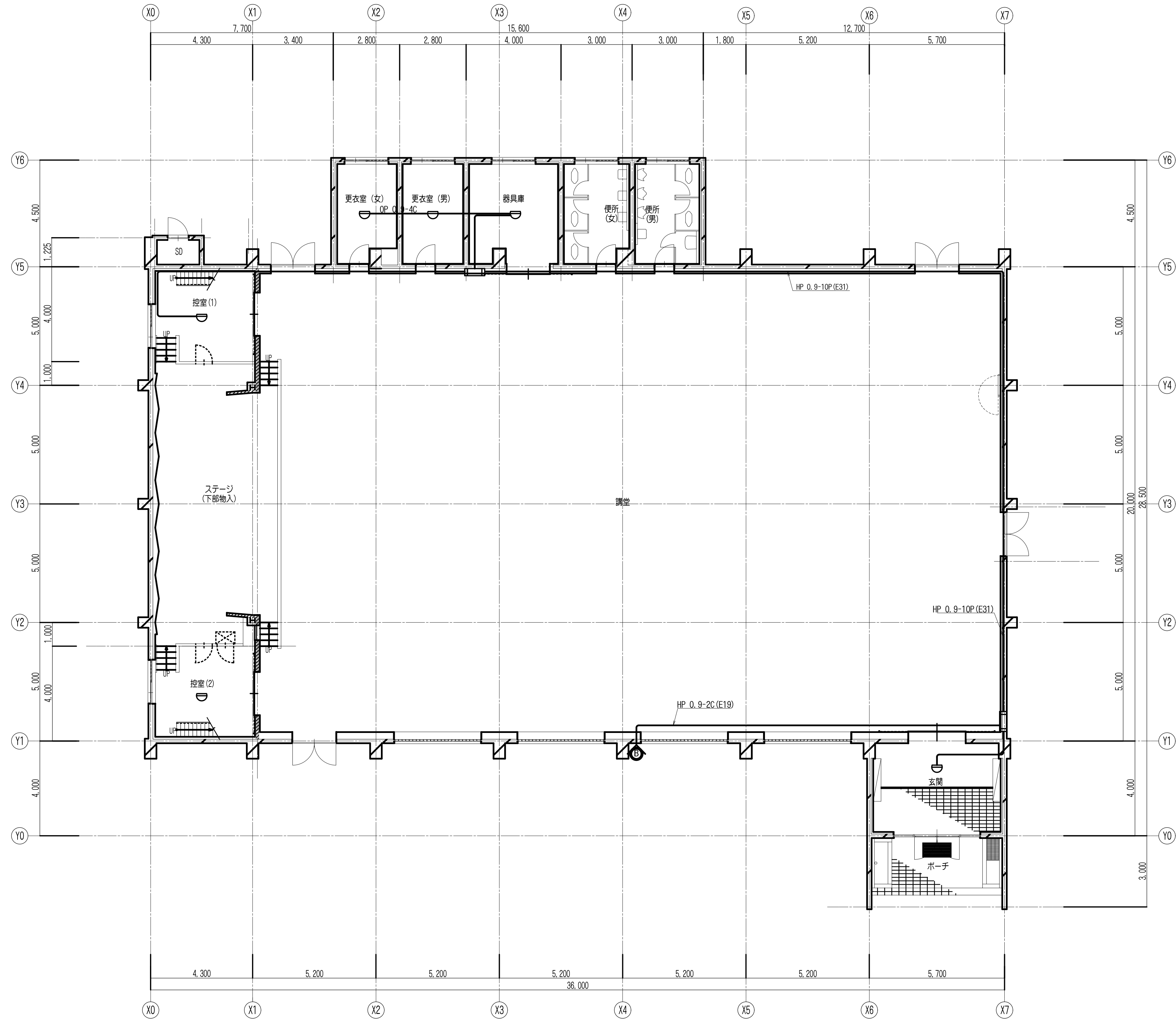
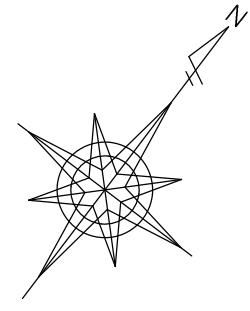
木ノ下中学校講堂解体工事  
【講堂】 1階電灯・幹線・コンセント設備撤去図

N o . 1201 / 電



ギャラリー・電灯・幹線・コンセント設備図 1:100



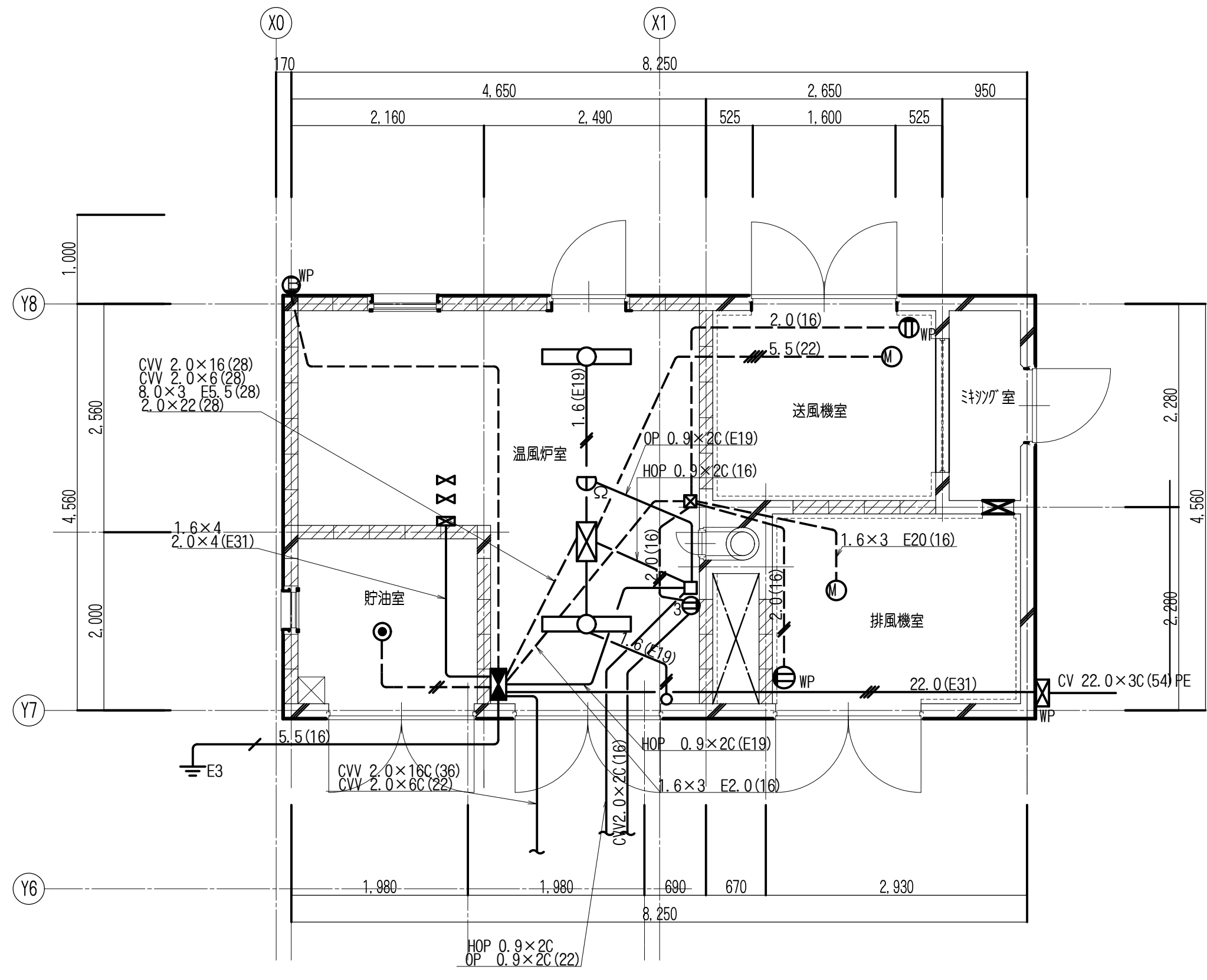
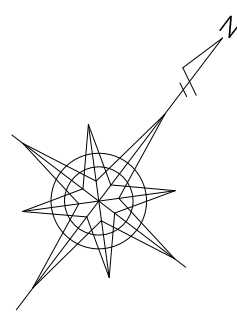


1階火災報知設備図 1:100

凡 例	
記 号	仕 上
	差動式感知器 ｽｽﾞ 外型 2種
	機器収容箱 消火栓組込型
	非常VⅡ D124 150Φ 防水型

縮尺  
A1: 100%  
A3: 50%

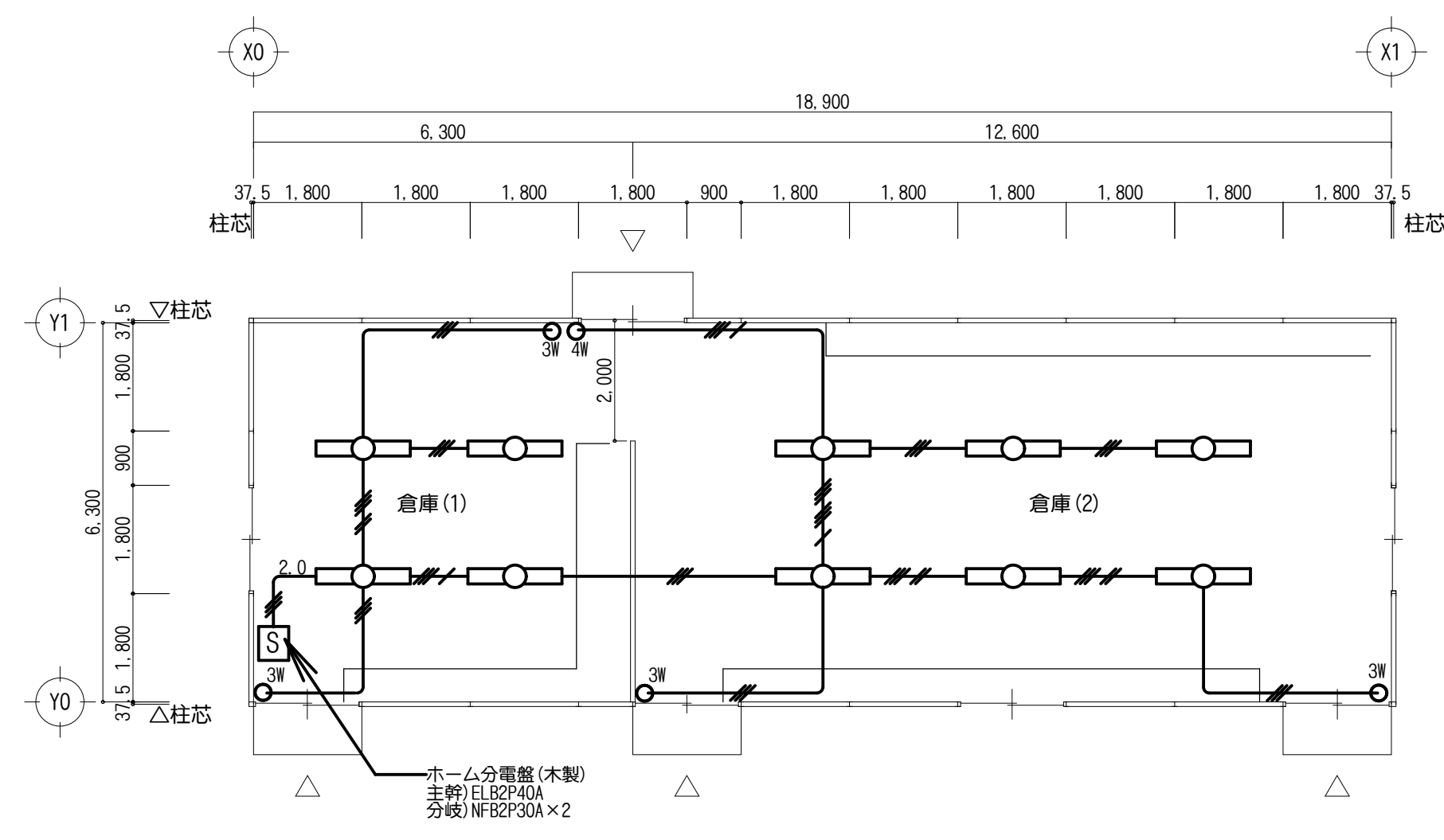
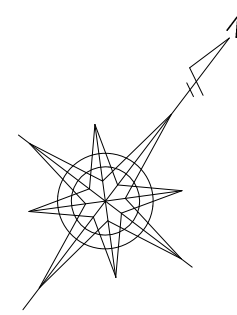
機 械 室



電気設備平面図 1:50

凡 例	
	蛍光灯 FL40W×1 露出 笠付
	露出コンセント 2P15A
	防水型露出コンセント 2P15A
	漏電警報用ブザー
	埋込スイッチ 1P10A
	ジャンパボックス
	アースボックス
	動力操作盤
	配電盤
	電動機
	電極
	熱式感知器

倉 庫

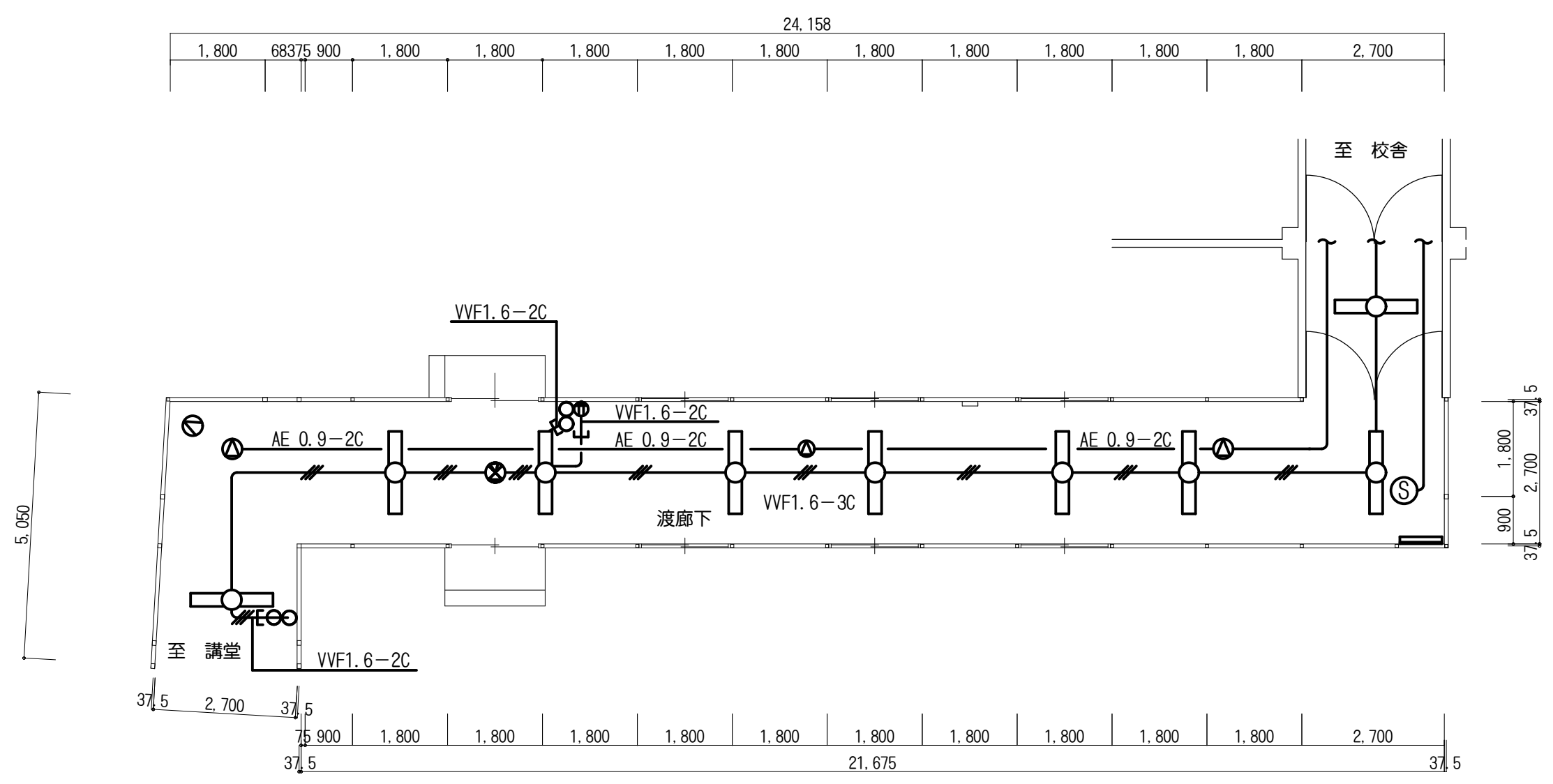
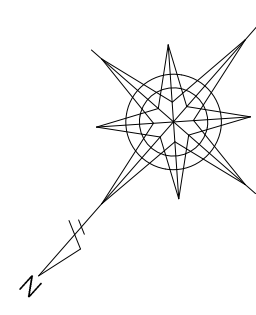


電気設備図 1:100

凡 例				
記 号	名 称	備 考	台 数	部 屋 名
	照明器具	蛍光灯 32W 1灯 露出 笠付	4台	倉庫(1)
	照明器具	蛍光灯 32W 1灯 露出 笠付	6台	倉庫(2)
	スイッチ	3W15A×1、4W15A×1		
	開閉器			

	WF 2.0-3C
	WF 1.6-3C
	WF 1.6-2C×2
	WF 1.6-2C×3C
	WF 1.6-2C×2×3C

渡廊下



電気設備図 1:100

凡 例		
記 号	名 称	備 考
	照明器具	蛍光灯 32W 1灯 埋込型
	コンセント	2P15A×1
	露出スイッチ	1P15A×1
	煙感知器	3種 (防火戸用)
	誘導灯	B級B型
	スピーカー	天井埋込
	屋内消火栓	⑧(P)○
	パッシブセンサー	空間センサー
	立上り (立下り) MM	

縮尺  
A1: 100%  
A3: 50%

年 月 日  
R 8 . 4 .

部 長 課 長 担 当

工 事 名 称  
図 面 名

木ノ下中学校講堂解体工事  
【機械室・倉庫・渡り廊下】

電気設備撤去平面図

N o . 2201 電

## 木ノ下中学校講堂解体工事 特記仕様書（機械設備）

## I、工事概要

- |         |      |           |
|---------|------|-----------|
| 1. 工事場所 | 建築工事 | 特記仕様書による。 |
| 2. 敷地面積 | 建築工事 | 特記仕様書による。 |
| 3. 建物概要 |      |           |

建物名称	構 造	階 数	建築基準法による 延べ面積 (㎡)	区 分	備 考
講堂	R C造	平屋	816		
機械室	R C造	平屋	38		

- |         |        |      |         |
|---------|--------|------|---------|
| 4, 工事種目 | 講堂・機械室 | 機械設備 | 取りこわし一式 |
|         | 屋外     | 機械設備 | 取りこわし一式 |

## Ⅱ、工事仕様

1. 共通仕様  
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版）」（以下「改修工事標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課制定の「公共建築設備標準図（機械設備工事編）令和4年版）」（以下「標準図」という。）による

- ## 2. 特記仕様

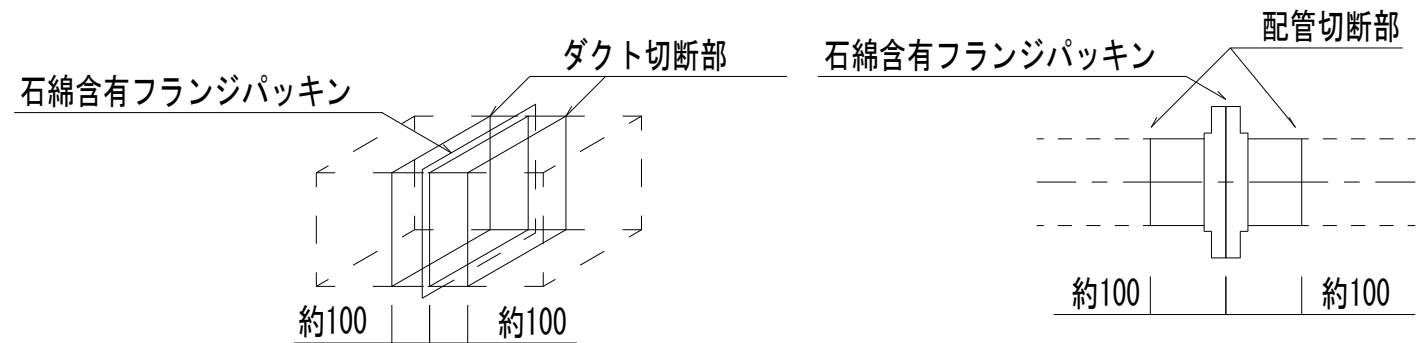
- (1) 一般共通事項 (●印のものを適用する。)

- 官公署への手続き等 工事の着手、施工にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な手続き等を遅延なく行う。

- |          |          |        |          |
|----------|----------|--------|----------|
| ● 貯油槽    | 廃止届けとする。 | ○ ボイラー | 廃止届けとする。 |
| ○ 給水装置   | 廃止届けとする。 | ● 浄化槽  | 廃止届けとする。 |
| ○ 排水設備   | 廃止届けとする。 | ○ 昇降機  | 廃止届けとする。 |
| ○ 都市ガス設備 | 廃止届けとする。 |        |          |

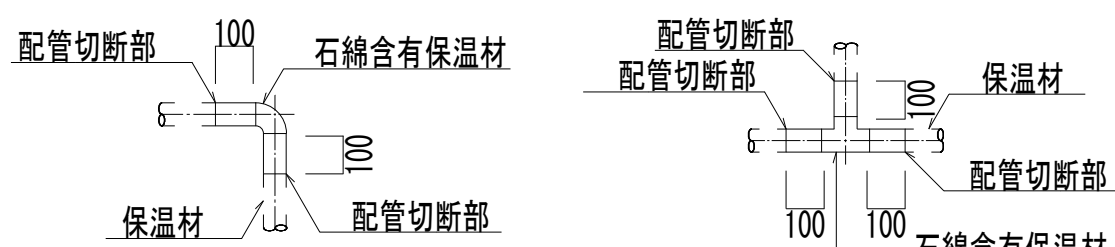
- |              |  |
|--------------|--|
| ○酸液・廃アルカリ処理  | 吸収冷凍機、吸収冷水機等の撤去前に臭化リチウム水溶液の抜き取りを行う。ただし、抜き取り費用は（○本工事 ○別途）とする。   |
| ○ダイオキシソ類調査   | 焼却炉等の撤去に残灰よりサンプリソ調査を行い、監督職員に報告する。ただし、サンプリソ費用は（○本工事 ○別途）とする。  |
| ●廃油処理        | オイルタンク、サービスタンク、油配管等は撤去前に内部清掃を行う。ただし、内部清掃、洗浄油の回収費用は（●本工事 ○別途）とする。   |
| ○冷媒（フロン類）の回収 | 冷凍機、パッケージ形空調機等の撤去に伴う冷媒回収方法は、改修標準仕様書第3編2．4．3により適切に行うこと。<br>ただし、家電リサイクル対象機器は除く。冷媒回収の費用は（○本工事 ○別途）とする。                              |
| ○家電リサイクル     | 対象機器は、<br>とする。なお、冷媒回収はポンプダウン方式とする。（リサイクル料金は本工事とする。）  |
| ●汚泥・汚水処理     | 浄化槽及び排水槽内は汚泥・汚水を汲み取り、内部清掃を行う。ただし、汚泥・汚水・清掃洗浄水の回収費は（●本工事 ○別途）とする。  |
| ●アスベスト含有製品処理 | ● 本工事<br>ダクト及び配管のフランジバックソ及び配管エルボ・チーズ部の保温材の処理方法は以下による。<br>撤去するフランジ部、エルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するため、フランジ、エルボ・チーズの前後を切断し、他のダクト・配管とは別に廃棄を行う。 |

### フランジ部撤去参考詳細図



1. 切断にあたり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼りを行う。
2. フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. 片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。
4. 切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

配管エルボ・チーズ部撤去参考詳細図



1. 切断にあたり飛散防止処置として、保温材部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
2. 保温材部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. 切断した保温付配管は、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。

○ 配管種別（既設配管）

	配管種別	配 管 材 料
空気調和	○ 冷水水、冷却水	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）
	● ドレン管	○ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ）      ● 配管用炭素鋼鋼管（白）
	● 油	● 配管用炭素鋼鋼管（黒）
	○ 蒸気	○ 配管用炭素鋼鋼管（黒）    ○ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）
	○ 冷媒管	○ 冷媒用被覆鋼管
給水	● 屋内給水管	● 塩ビラインニング鋼管（ＶＡ）    ○ ポリエチレン粉体ライニング鋼管
	● 屋外給水管	○ 水道用硬質塩化ビニル管（ＶＷ）    ○ ポリエチレン管    ● 塩ビラインニング鋼管（ＶＤ）
給湯	○ 給湯管	○ 配管用炭素鋼鋼管（白）    ○ 銅管
排水	● 汚水管	● 排水用鉄管    ○ 塩ビラインニング鋼管    ○ 鉛管    ○ ビニル管（ＶＰ）
	● 雑排水管	● 配管用炭素鋼鋼管（白）    ○ ビニル管（ＶＰ）
	● 通気管	● 配管用炭素鋼鋼管（白）    ○ ビニル管（ＶＰ）
	● 屋外排水管	● コンクリート管    ○ ビニル管（ＶＰ）
	● 屋内消火栓管	● 配管用炭素鋼鋼管（白）
消火		

- ダクト種別 ● 亜鉛鉄板 ○ 鋼板製  
● 保温種別 ○ ロックウール保温材 ● グラスウール保温材 ○ ポリスチレンフォーム保温材 ○ 化粧ケース（樹脂製）  
● 衛生器具 ● 陶器製 ○ SUS製

### Ⅲ. 取りこわし内容

- (1) 共通

- 図示された、機器・ダクト・配管の取りこわしを行う。
- コンクリート埋設部及び土間部の配管は建物と一体に取りこわしてもよい。
- ダクト付属品・配管付属品は、ダクト・配管と一体で取りこわしてよい。
- オイルタンク ○ オイルタンク本体は、掘り起こし撤去とする。

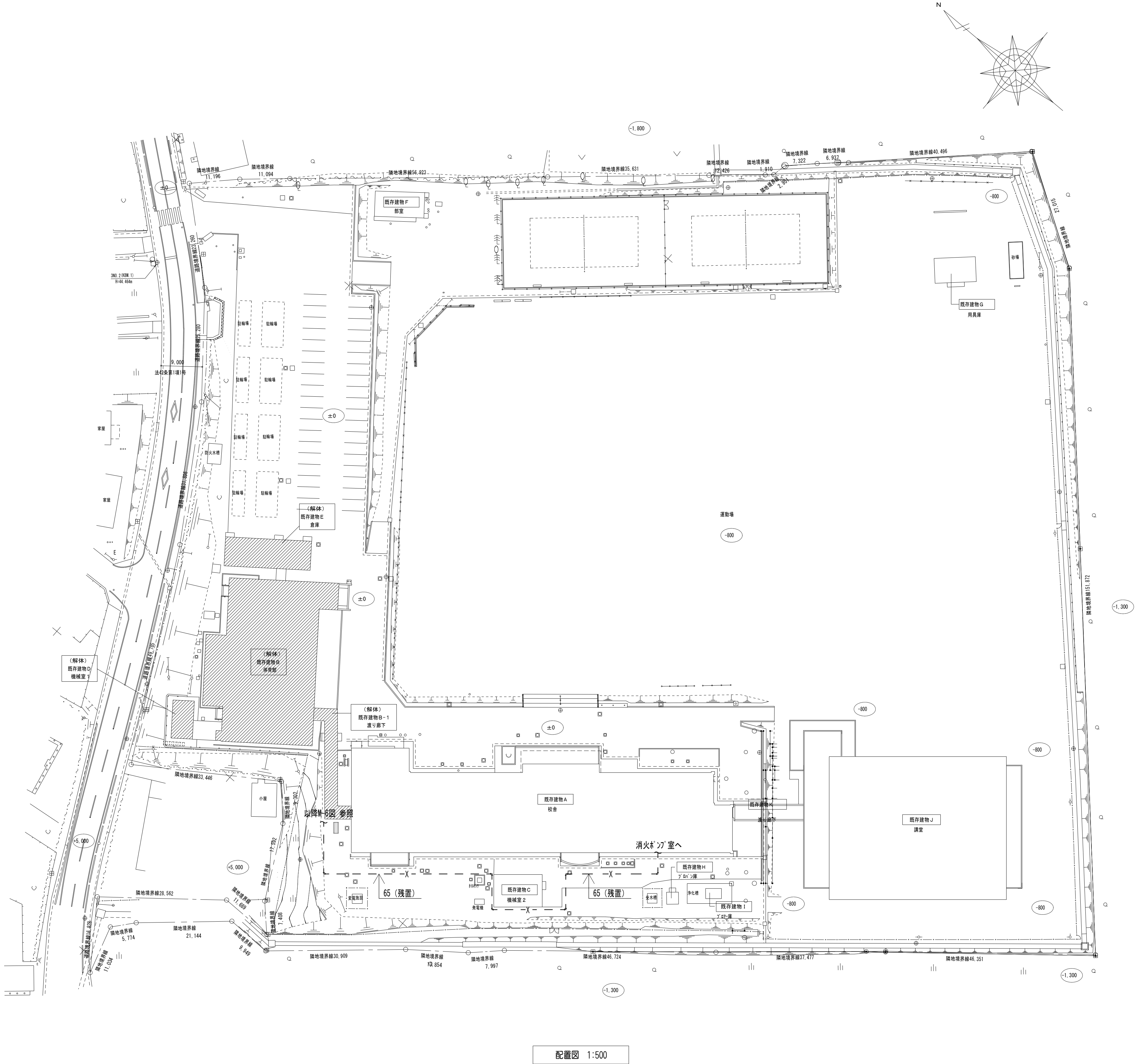
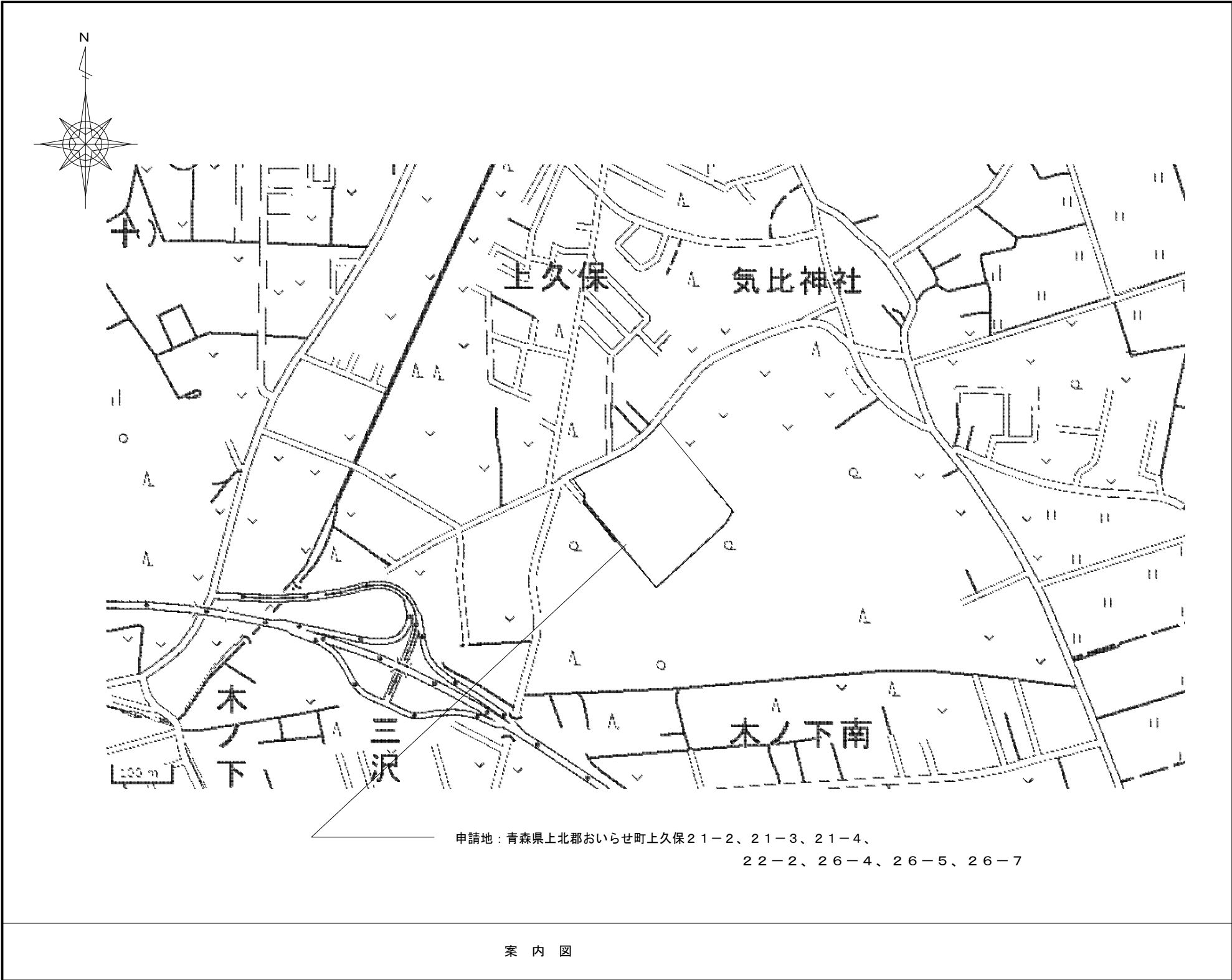
- オイルタンク
  - オイルタンク本体は、掘り起こし撤去とする。
  - オイルタンクの用途廃止に係る安全管理指針に基づき撤去する。
  - オイルタンク掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。
- 浄化槽
  - 浄化槽掘り起こしに伴う掘削工法は、法付け工法とする。
  - 浄化槽掘り起こし後は、現場発生土にて埋め戻しとする。
- 屋外設備
  - 配管工事は本工事とし、掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。
  - 屋外給水配管の埋設深さは600Hとする。
  - 屋外ガス配管の埋設深さは600Hとする。
  - 樹掘り起こし後は現場発生土で埋め戻しとする。
  - 給水装置                      ○ 本管にて閉栓とする。                      ○ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。
  - 排水設備                      ○ 本管にて閉止とする。                      ○ 公設樹にてキャップ止めとする。
  - 都市ガス設備                      ○ 本管にて閉栓とする。                      ○ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

## 石綿含有設備資材撤去リスト

種 類	寸 法	箇所	備 考 (ダクト板厚)
ダクトフランジ部	850×500	3	(0.8)
	700×500	3	(0.6)
	700×400	3	(0.6)
	550×400	3	(0.6)
	400×350	3	(0.5)
	150×150	25	(0.5)
配管フランジ部	25 A	2	
	32 A	2	
配管エルボ部	20 A	29	
	25 A	10	
配管チーz部	20 A	2	
	25 A	2	
	32 A	2	
	40 A	2	
	50 A	2	

※ ダクト及び配管フランジ部、配管エルボ部の撤去に先立ち、  
フランジ部は1箇所につき2箇所、エルボ部は1箇所につき3箇所切断する。

		年 月 日				担 当	工 事 名 称	木ノ下中学校講堂解体工事	No. 0301 / 機
		R8. 4.					図 面 名	特記仕様書	



										縮尺 A1 (100%) A3 ( 50%)	
		年 月 日				担 当	工 事 名 称	木ノ下中学校講堂解体工事	No .	0302	機
		R8. 4.					図 面 名	案内図・配置図			

機械室 機器表 撤去

機器番号	名称	機器仕様	消費電力			台数	設置場所	参考品番
			相	電圧	電力			
			Φ	V	k W			
B	温風暖房機	送風機別置型 定格出力：116kW 風 量：15,200 m <sup>3</sup> /h 機内抵抗：10mmAq 燃料消費：13.7L/h( A重油) バーナー用電動機 重油予熱器 排気用電動機 外径寸法：1692x1244x1056 重量：530kg				1	温風炉室	MTP-1000AH
OT	オイルタンク	鋼板製 1,000×800×950H( 4.5t) 架台 1,000×800×600H 有効容量 650L 溶融亜鉛メッキ仕上げ 外径寸法：1,000x800x1,450 重量：190kg				1	貯油室	
H	加湿器	超微粒子スプレー加湿器 有効加湿量 8kg/h×5kg/cm <sup>2</sup> 外径寸法：150x800x150 重量：20kg	1	200	30w	2	温風炉室	
FS-1	送風機	両吸込リミットロード形 #3 1/2×15,200n <sup>3</sup> /h×54mmAq 防振架台 外径寸法：1425x915x1,340 重量：354kg	3	200	5.5	1	送風機室	MF-#3 1/2
FE-1	排風機	両吸込多翼形 #3 1/2×12,180n <sup>3</sup> /h×11mmAq 防振架台 外径寸法：1330x950x1,090 重量：192kg	3	200	1.5	1	排風機室	LL-#3 1/2

講堂 衛生器具表 撤去

器具名	参考品番	器具寸法	器具重量	合	便	便											備 考
				計	所	所											
					(男)	(女)											
和風便器	C-852B、紙巻器共	730×355×880	13.9 kg	5	2	3											
隅付きロータンク	DT-570	450×300×455	15.7 kg	5	2	3											
小便器	U29、FV	380×380×920	32.0 kg	3	3												
洗面器	L-230	500×400×225	13.5 kg	4	1	3											
掃除用流し	SK22A	560×456×635	28.0 kg	1	1												
化粧鏡	TS119ASF5	455×608×5	4.4 kg	4	1	3											

講堂 機器表 撤去

機器番号	名称	機器仕様	消費電力			台数	設置場所	参考品番
			相	電圧	電力			
			Φ	V	k W			
VF-1	排風機	軸流形( 消音ボックス内臓形) 220□×100n <sup>3</sup> /h×3mmAq 外径寸法：275x900x275 重量：11kg	1	100	0.1	2	更衣室	
VF-2	排風機	軸流形( 消音ボックス内臓形) 220□×330n <sup>3</sup> /h×2mmAq 外径寸法：275x900x275 重量：11kg	1	100	0.1	2	便所	
VF-3	排風機	軸流形( 消音ボックス内臓形) 220□×150n <sup>3</sup> /h×2mmAq 外径寸法：275x900x275 重量：11kg	1	100	0.1	1	器具庫	
EH-1	電気ヒーター	壁掛形 ステンレス製 暖房出力：1.0kW 外径寸法：680x70x500 重量：9.2kg	1	100	1.0	2	便所	NXS-1000
P-3	汚水水中ポンプ	汚水水中ポンプ( 自動交互同時運転) 50Φ × 80L/min × 5m 外径寸法：260×180×380 重量：19kg	3	200	0.75	2	排水槽	
HB-1A	屋内消火栓	屋内消火栓箱( 埋込形) 鋼板製 外径寸法：550×180×850 重量：11.6kg				3	講堂、渡り廊下	

更衣室			
E A	吸込口	HS	2
	150W×150H		
	天井用		
	100	CMH	

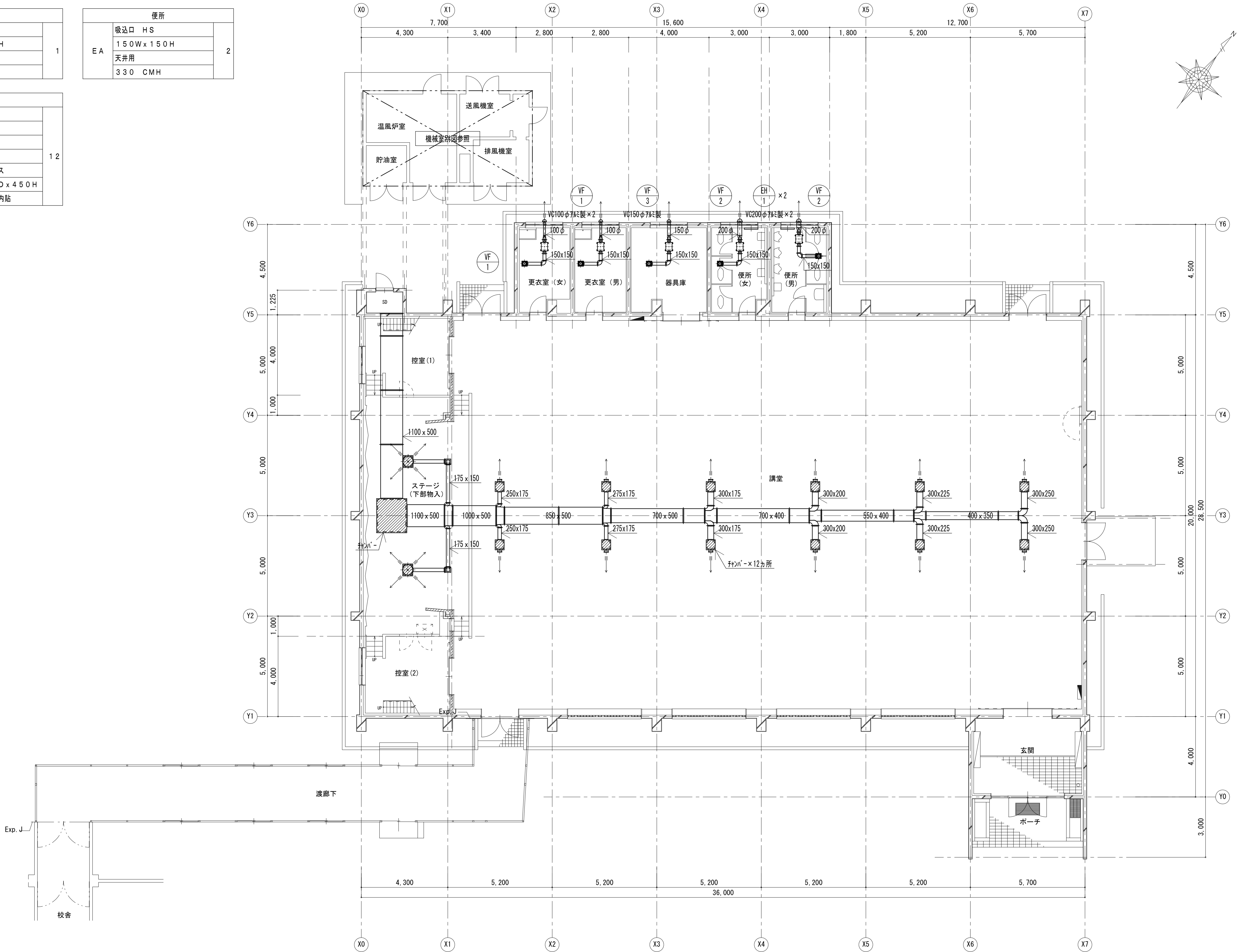
器具庫			
E A	吸込口	HS	1
	150W×150H		
	天井用		
	150	CMH	

便所			
E A	吸込口	HS	2
	150W×150H		
	天井用		
	330	CMH	

ステージ			
S A	吹出口	C 1	2
	# 2 5		
	760	CMH	
	制気口ボックス		
	450W×500D×450H		
	GW	t=50 内貼	

講 堂			
S A	吹出口	ノズル	12
	サイズ	200	
	天井用		
	1140	CMH	
	チャンパーボックス		
	450W×500D×450H		
	GW	t=50 内貼	

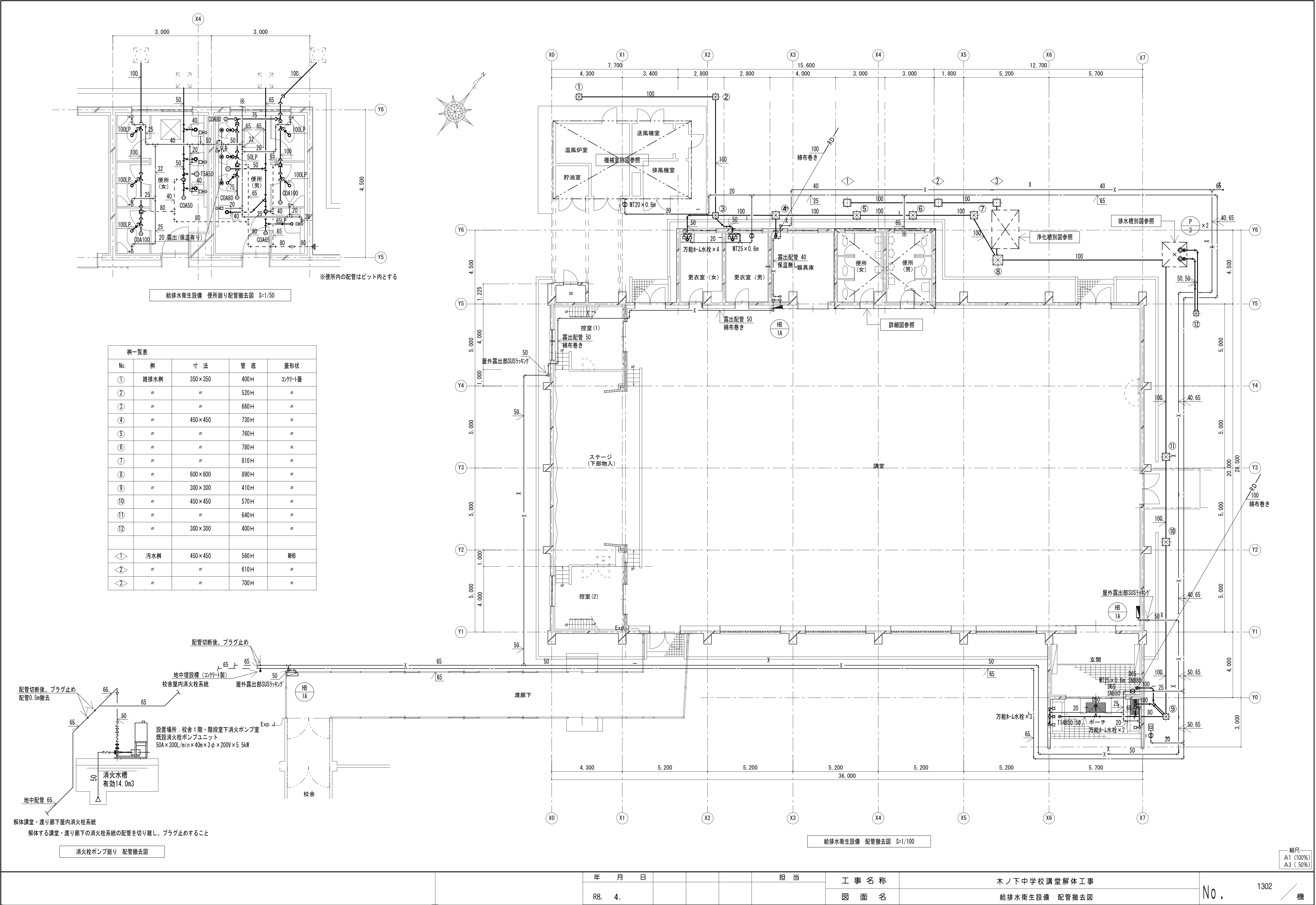
ステージ			
S A	チャンパーボックス		1
	1500W×1700D×1000H		
	GW	t=50 内貼	

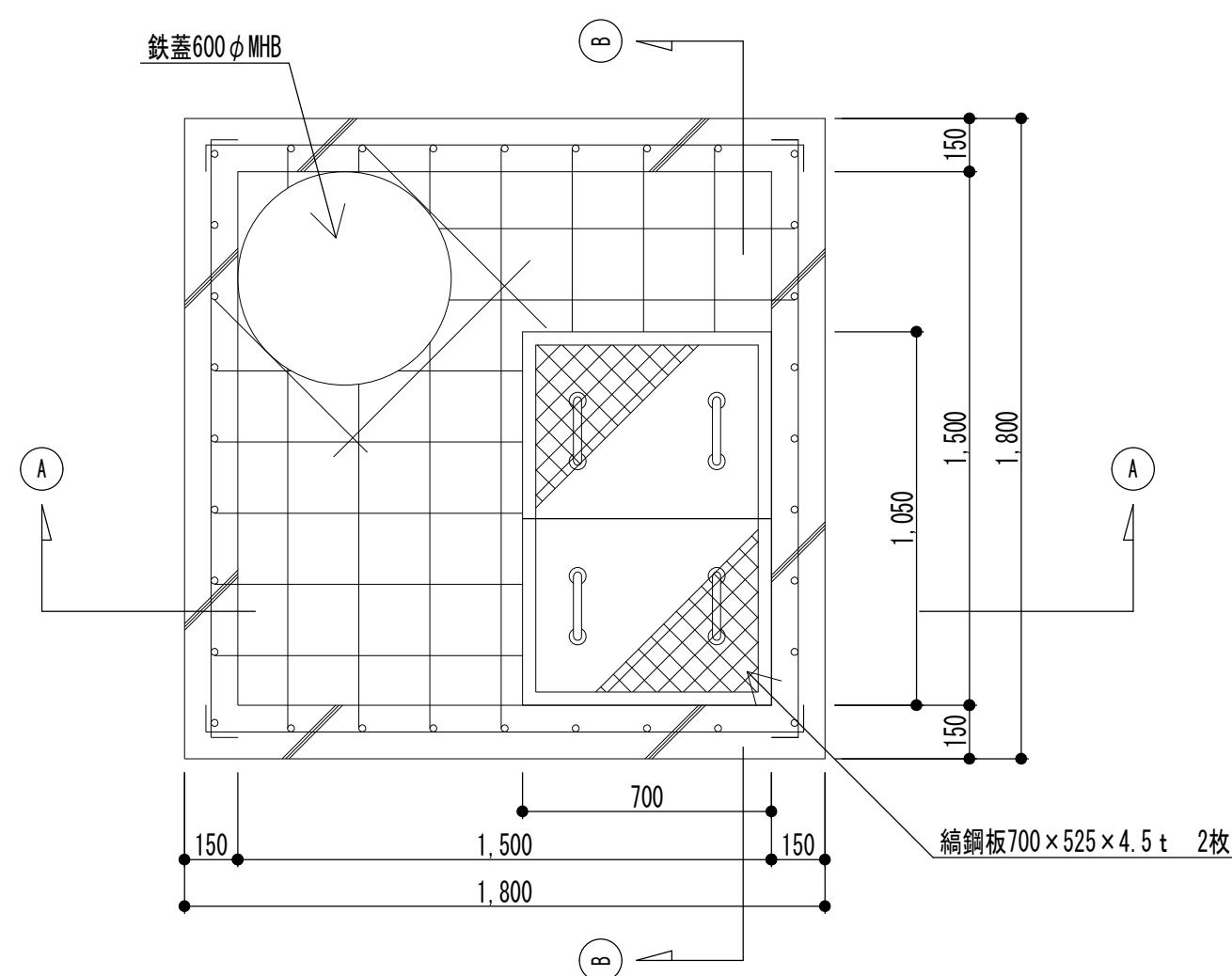


暖房・換気設備 ダクト撤去図 S=1/100

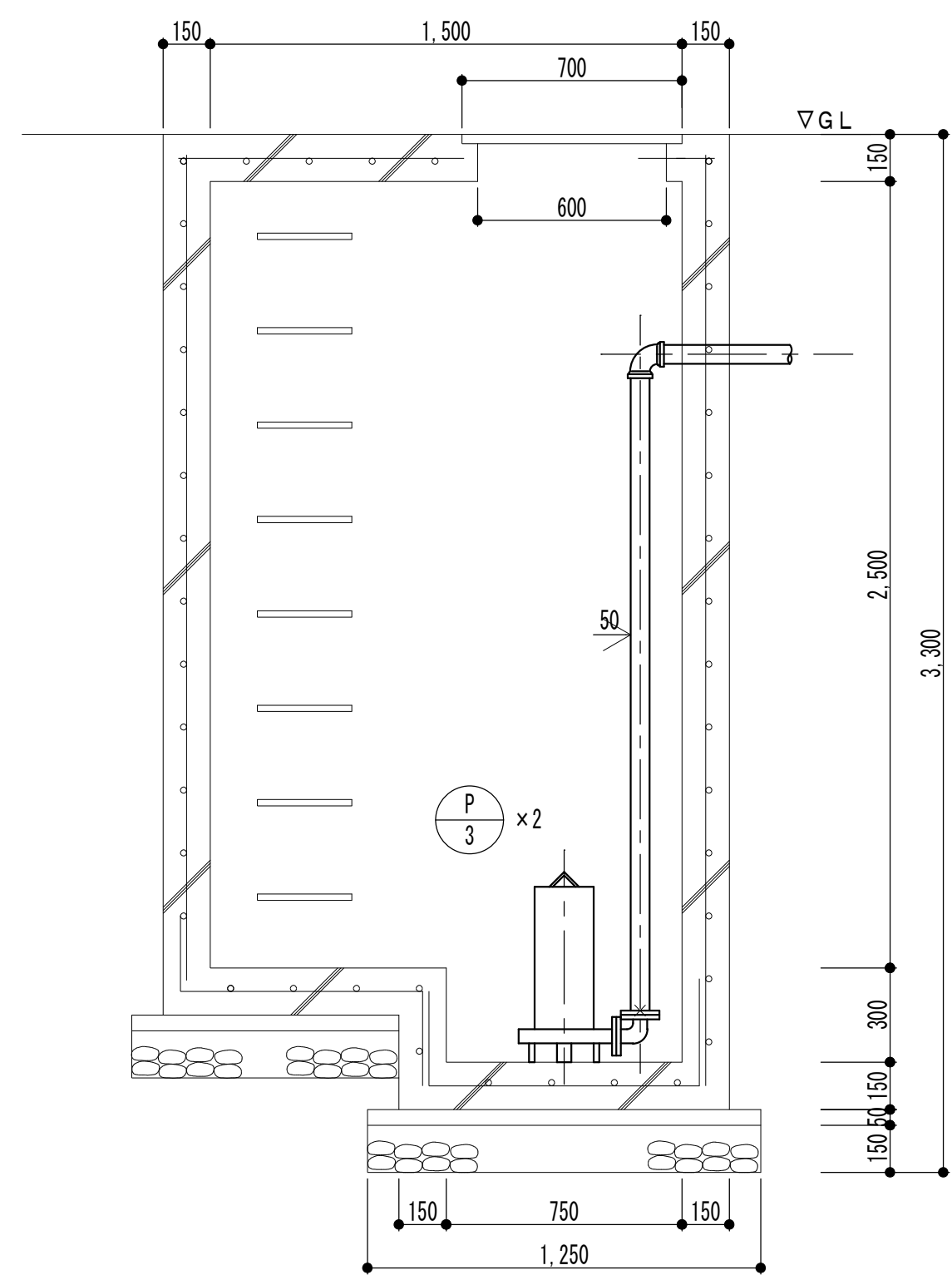
縮尺  
A1 (100%)  
A3 (50%)



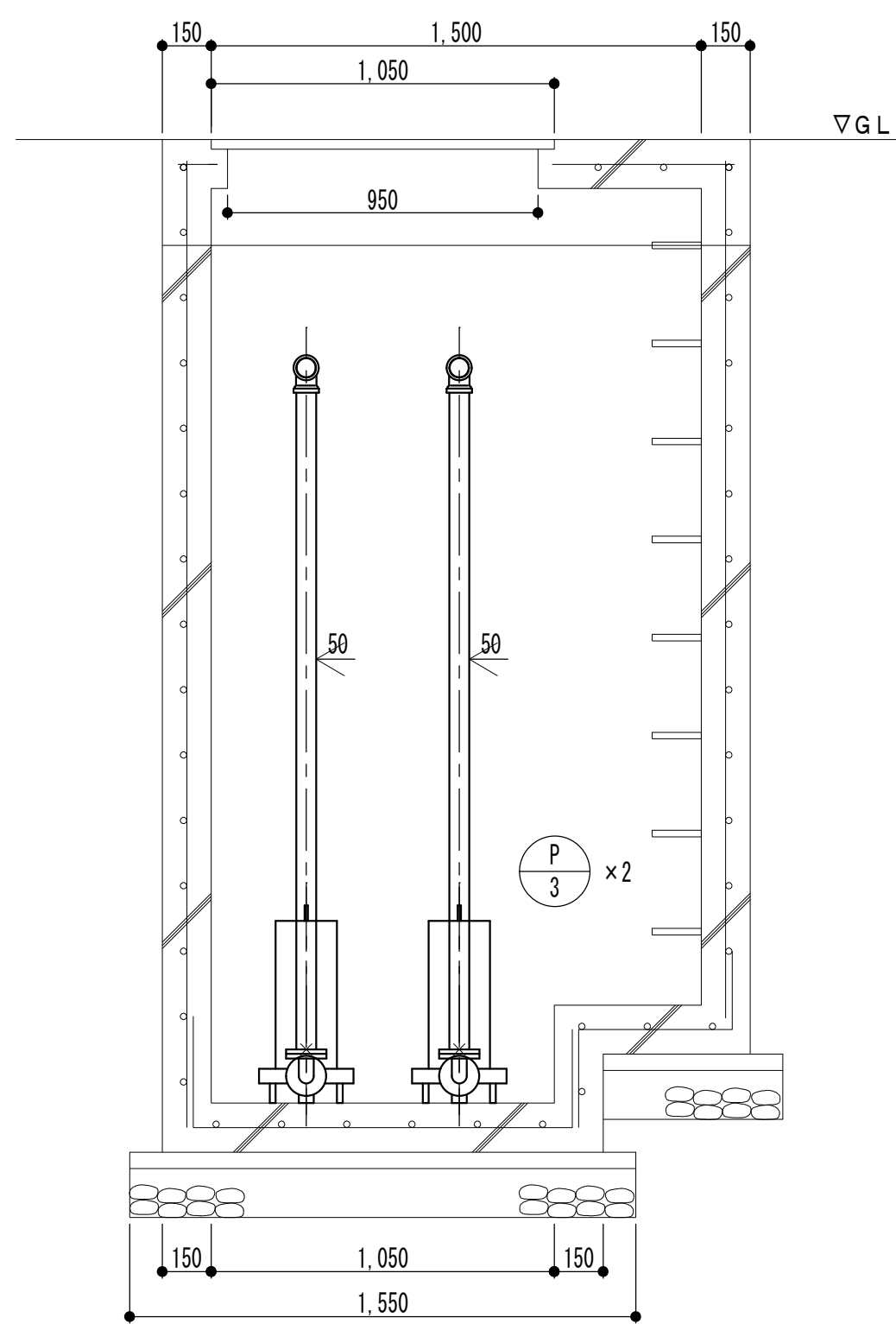




排水槽 平面図 S=1/20

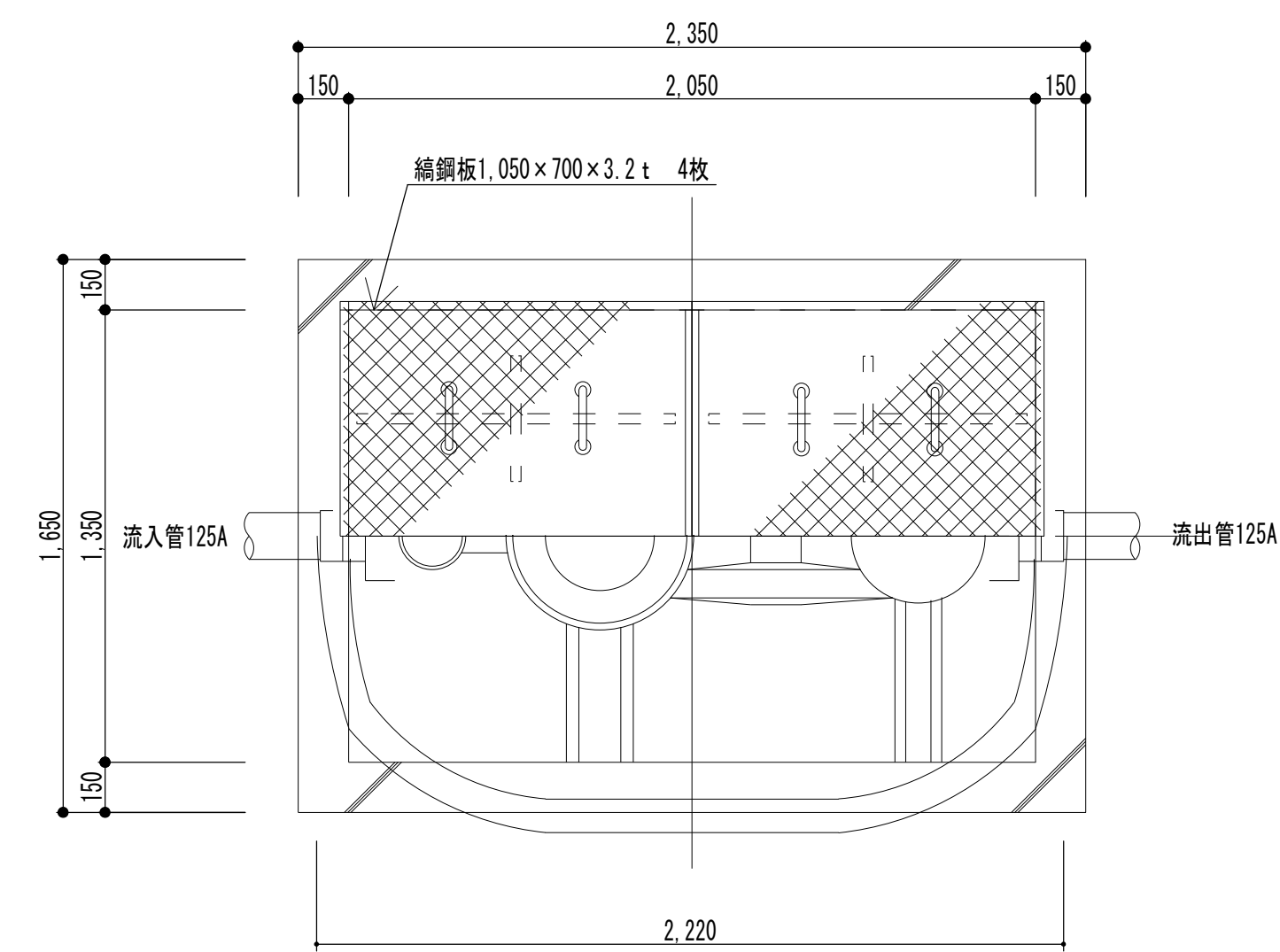


排水槽 A-A断面図 S=1/20

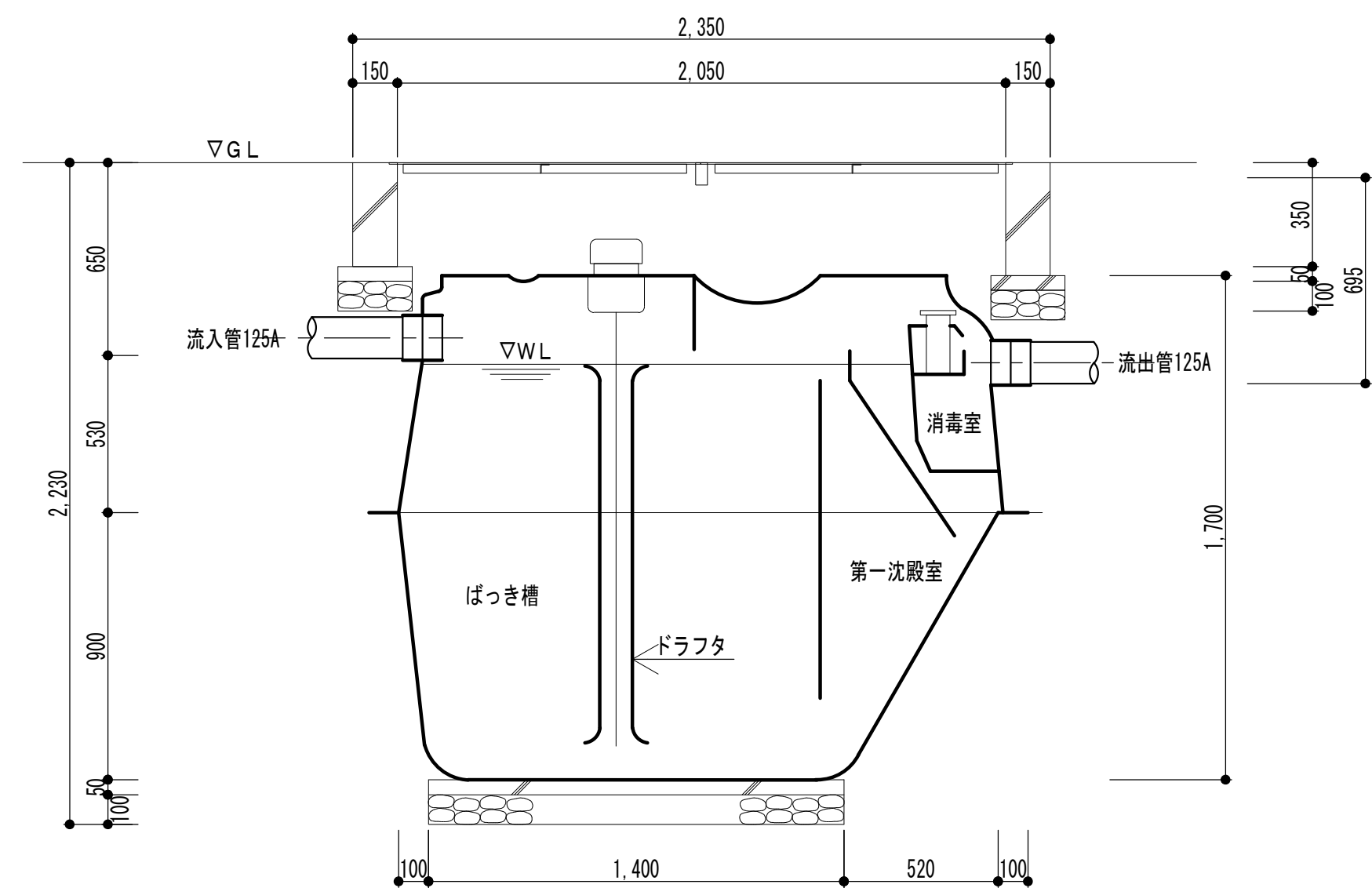


排水槽 B-B断面図 S=1/20

注記) 排水槽内の汲み取り、清掃、消毒をすること



浄化槽 上部平面図 S=1/20



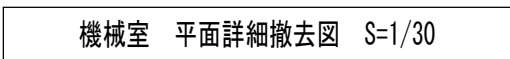
浄化槽 断面図 S=1/20

単独処理浄化槽 35人槽	
ばっ気室	2.4166 m <sup>3</sup>
沈殿室	0.5871 m <sup>3</sup>
消毒室	0.0407 m <sup>3</sup>
総容積	3.0444 m <sup>3</sup>

材 料 仕 様	
総 体	強化ポリエステル
第一セパレータ	〃
第二セパレータ	〃
消毒室	〃
流入管	硬質塩化ビニル管
流出管	〃
槽内その他部品	硬質塩化ビニル管・ポリエチレン等
モーターベース	鋳鉄
点検口蓋	〃

注記) 浄化槽内の汲み取り、清掃、消毒をすること

縮尺  
A1 (100%)  
A3 (50%)



機械室 A-A 断面詳細撤去図 S=1/30

